

知多厚生病院 | 年報

(平成29年度)

知多厚生病院 理 念

私たちは保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。

知多厚生病院 基本方針

- 1、地域住民のニーズに応える診療体制の充実に努めます。
- 1、救急医療・災害医療の充実に努めます。
- 1、医療技術と接遇向上に努めます。
- 1、患者の権利とプライバシーを尊重し、安全で快適な、患者中心の医療サービスを提供します。

● ロゴマークについて

ロゴマーク全体で、知多厚生病院（Chitakosei Hospital）の頭文字“C”と、知多半島を表しています。

また、右下の2つの四角は、篠島・日間賀島を、丸は、知多半島における当院の位置を表しています。

全体として、知多半島をイメージさせる海・空の色である明るい青を基調に、開放感・希望を、知多半島全域で盛んな農業（JA）をイメージさせる明るい緑は安心・安全・癒しを、美浜町を中心に栽培が盛んなみかんや、太陽をイメージさせる明るいオレンジは、躍動感・歓喜・溢れる生命感を表しています。



発刊にあたり

知多厚生病院 院長 水 野 志 朗



知多厚生病院は、1964年（昭和39年）6月に愛知県厚生連9番目（当時）の病院として開設され、以後知多半島南部における急性期医療と救急医療の拠点病院として診療に携わってまいりました。平成11年からは知多半島医療圏の第二種感染症指定医療機関、平成14年からは篠島や日間賀島など離島医療を支援するへき地医療拠点病院、平成16年からは臨床研修指定病院、平成19年からは災害拠点病院に指定されるなど、知多半島南部の公的医療機関として重要な責務を果たしております。

当院の主な診療圏である美浜町・南知多町では、愛知県の平均よりも人口減少・少子高齢化が大きく進行しております。また、この地域の各医療機関では医師の高齢化も進み、医療の確保が難しくなってくることが予想されています。

そうした地域情勢を踏まえ、平成30年2月に回復期リハビリテーション病棟を地域包括ケア病棟へ転換いたしました。これにより、急性期からの転院だけでなく、短期入院や在宅からの入院などより幅広く利用しやすい病棟となり、地域ニーズに対応し地域医療を担っていく所存です。

また、「特定健診・特定保健指導」が導入され10年あまりが経過し、健康に対する意識も年々高まっています。当院の健康管理支援センターは、平成29年4月に日本人間ドック学会の健診施設機能評価を受審し、同年7月に認定施設として登録されました。健診施設機能評価の認定施設として、健診のさらなる質向上や内容の充実に努めてまいります。

この他にも、平成29年5月には医療被ばく低減施設にも認定されました。診療放射線技師スタッフ全員の医療被ばくに対する知識と意識の向上を図り、多くの審査項目

をクリアし認定施設となりました。これにより、患者さんや医療スタッフに「安心」「安全」「信頼」を目に見える形で証明することができ、これまで以上に良質な医療を提供できるものと考えております。

知多厚生病院は『保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献する』という病院理念に基づき、地域とともに地域を考え、『Aging in Place 知多半島モデル』を構築し、さらにこの地域の一員として『街づくりの拠点』としてもお役に立てますよう、職員一同全力を尽くし取り組んでまいります。今後とも皆様のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成 31 年 2 月

目 次

病院概要	1
病院沿革	3
機構図	5
会議・委員会組織図	7
平成 29 年度 事業計画	8
統計資料	10
診療科別医療実績	18
部署別業務実績	38
各委員会活動	88

知多厚生病院 概要

平成30年3月31日 現在

名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院

所在地

〒470-2404

愛知県知多郡美浜町大字河和字西谷81番地6

TEL 0569-82-0395

FAX 0569-82-4333

E-MAIL c-hospital@chita.jaaikosei.or.jp

ホームページ <http://www.jaaikosei.or.jp/chitakosei/>

設立年月日

昭和39年6月1日

病床数

259床（一般199床（地域包括ケア病棟50床含む） 療養54床（医療15床・介護39床） 感染症6床）

診療科（25科）

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・神経内科・血液内科・小児科・外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・内視鏡外科・血管外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

各種指定

救急告示病院、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院、臨床研修指定病院、
労災指定医療機関、母体保護法指定医療機関、生活保護法指定医療機関、
指定自立支援医療機関、更生・育成医療指定医療機関、養育医療指定医療機関、
性病予防法指定医療機関、被爆者一般疾病指定医療機関、健康保険法指定医療機関、
国民健康保険指定医療機関、第2種感染症指定医療機関、指定介護療養型医療施設、
肝疾患専門医療機関、病院群輪番制病院、特定疾病治療研究医療機関、
小児慢性特定疾病治療研究医療機関、愛知DMAT指定医療機関、
人間ドック健診施設機能評価認定、医療被ばく低減施設認定

関連施設

知多厚生病院健康管理支援センター・知多厚生病院介護保険センター・
南部知多訪問看護ステーション・知多厚生病院附属篠島診療所

管理者

病 院 長： 水野 志朗

副 院 長： 脇田 郷、高橋 佳嗣、丹村 敏則、村元 雅之

第1診療部長： 村元 雅之

第2診療部長： 冨本 茂裕

診療協同部長： 福島 庸行

医療情報部長： 冨本 茂裕

地域医療福祉連携部長： 保里 恵一

薬剤部長： 齋藤 宏明

看護部長： 田上 ホナミ

事務部長： 池田 智志

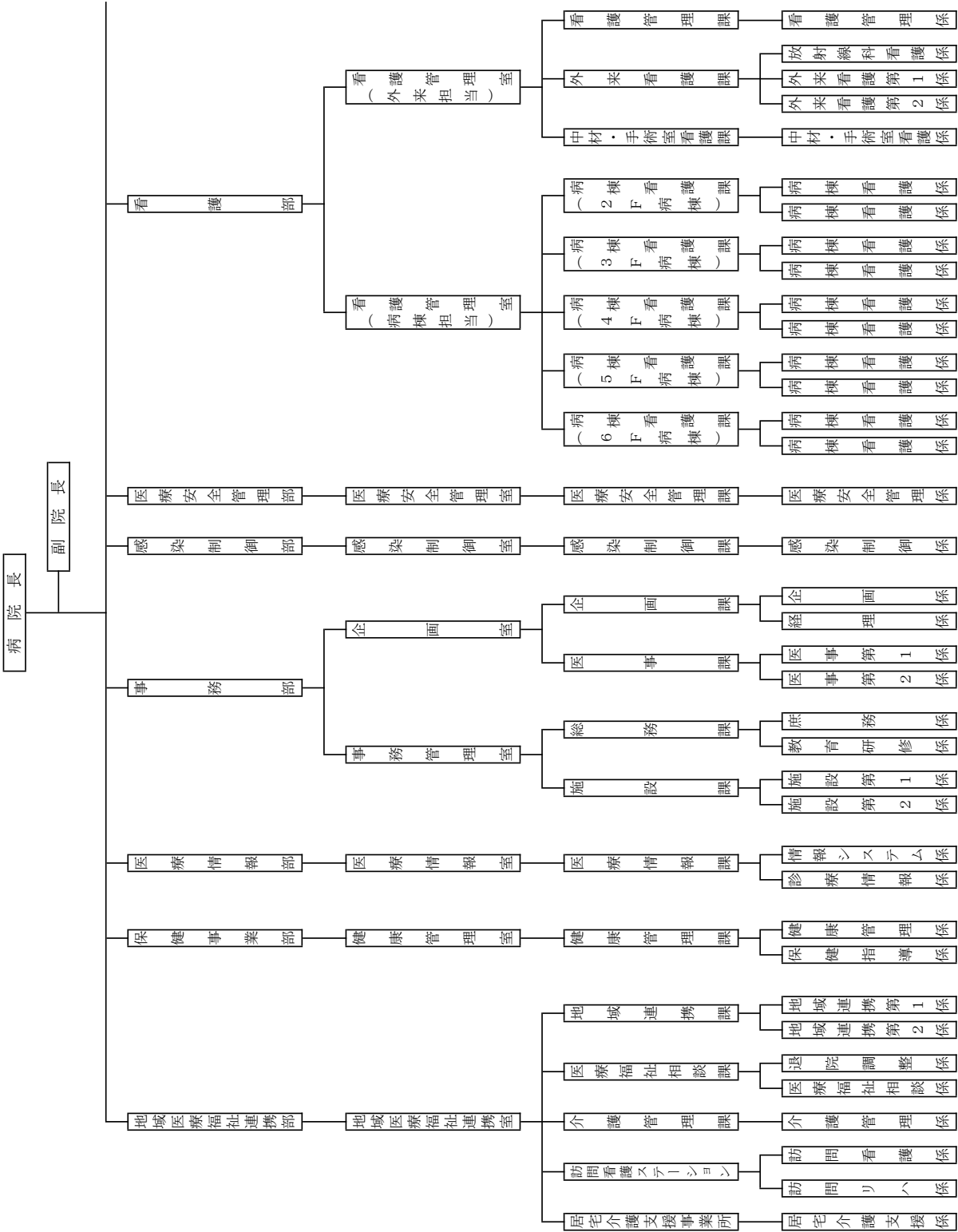
知多厚生病院 沿革

平成30年3月1日 現在

昭和38年	3月	知多郡美浜町河和に厚生連病院建設決定
昭和39年	6月	知多厚生病院診療開始 内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科 病床数 113床
昭和42年	3月	美浜町・南知多町伝染病組合伝染病舎24床併設 (病床数 137床)
昭和43年	10月	病棟増築(病床数 179床)
昭和49年	7月	救急医療施設開設 整形外科開設 病棟・リハビリ棟増築(病床数 217床)
昭和54年	2月	総合病院として認可
昭和55年	6月	厨房の整備 病棟増築(病床数 222床)
昭和57年	3月	診療棟増改築
	4月	小児科開設
	6月	皮膚科開設
昭和58年	1月	放射線科開設
	2月	病棟増改築・伝染病舎改築(病床数 277床)
平成3年	10月	知多厚生病院附属篠島診療所開設
平成6年	4月	脳神経外科開設
平成8年	4月	泌尿器科開設
平成9年	10月	南部知多訪問看護ステーション開設
平成10年	3月	病棟改築(病床数 一般260床・伝染8床)
平成11年	4月	第2種感染症指定医療機関指定 (病床数 一般260床・感染6床)
平成11年	10月	居宅介護支援事業所 知多厚生病院介護保険センター開設
平成14年	2月	療養型病床開設(病床数 一般212床・療養48床・感染6床)
	4月	へき地医療拠点病院指定
平成15年	5月	病床区分変更(病床数 一般206床・療養54床・感染6床)
	10月	臨床研修病院指定
平成16年	5月	オーダーリングシステム稼働

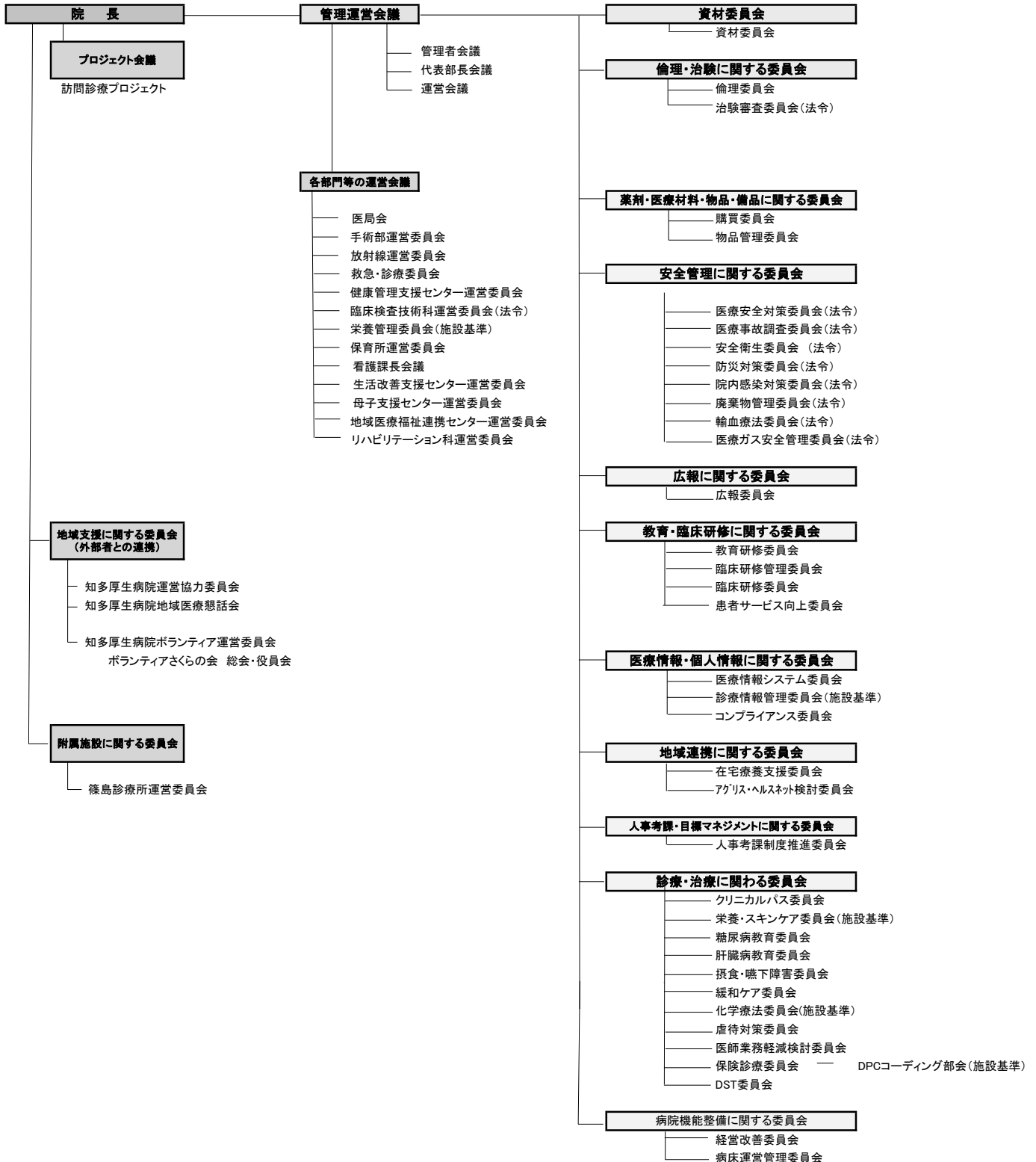
平成19年	3月	災害拠点病院指定
	7月	病院機能評価認定（V e r . 5 . 0）
平成21年	8月	診療棟改築
		電子カルテシステム稼働
		I D - L i n k 導入
平成22年	9月	病床区分変更（病床数 一般199床・療養54床・感染6床）
平成23年	7月	病院機能評価認定（V e r . 6 . 0）
平成23年	9月	7対1入院基本料取得
平成25年	12月	DMA T（災害派遣医療チーム）結成
平成26年	4月	D P C（診断群分類）対象病院
	6月	回復期リハビリテーション病棟開設
		（一般〔7対1看護基準〕149床、回復期リハ50床、療養54床、感染6床）
	9月	開院50周年記念式典・病院祭開催
	11月	美浜町産業まつりのほか、武豊町産業まつりへも新規出展
平成27年	7月	認知症対応力向上事業実施病院
平成28年	4月	DMA Tを派遣（熊本地震）
平成29年	1月	厨房改修工事完工
	3月	電子カルテシステム更新
平成29年	5月	医療被ばく低減施設認定
	7月	人間ドック健診施設機能評価認定
平成30年	2月	地域包括ケア病棟開設
		（回復期リハビリテーション病棟より転換）
		（一般〔7対1看護基準〕149床、地域包括ケア50床、療養54床、感染6床）





知多厚生病院 会議・委員会組織図

平成21年 8月 1日制定	平成23年11月 1日改正
平成21年10月 1日改正	平成24年 3月 1日改正
平成22年 4月 1日改正	平成24年 4月 1日改正
平成22年 6月 1日改正	平成24年 9月21日改正
平成22年 7月 1日改正	平成25年 6月14日改正
平成22年 9月 1日改正	平成26年 4月 1日改正
平成22年10月 1日改正	平成26年 7月 1日改正
平成22年12月 1日改正	平成27年 1月 1日改正
平成23年 4月 1日改正	平成28年 4月 1日改正
平成23年 7月 1日改正	平成29年 4月 1日改正
平成23年10月 1日改正	



平成29年度 事業計画

環境認識	知多半島医療圏においても県全体とほぼ同様に総人口が減少していますが、当院の主な診療圏である美浜町、南知多町については年少人口の減少、老年人口の増加により、人口の高齢化が進んでいる地域であります。知多半島医療圏北部の西知多総合病院、中部の半田市立半田病院、常滑市民病院との連携強化が求められる一方、南部の美浜町・南知多町では医師の高齢化により診療所が減少し、医療の確保が難しくなってきました。特に救急機能、周産期医療での連携強化が求められる半田病院においては、平成28年4月に新病院構想が示されており、その動向については注視していく必要があります。今後地域医療構想が策定され、平成37年(2025年)における地域の医療提供体制の姿が明らかにされ、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保として、機能分化、集約化が進められる中で、周産期医療をはじめとした地域医療をどのように守り、発展させるかが喫緊の課題であります。今後安全で良質な医療を提供しつづけるためには経営の安定化が重要ですが、当院の経営状況は厳しく経営改善が必要な状況であります。こうした中で、知多半島南部地域における唯一の中核病院かつ公的医療機関として、救急医療、急性期医療・回復期医療・在宅医療にいたるまでのシームレスな医療機能を保持し、地域住民が住み慣れた地域で豊かに生活できる社会を目指すことが求められています。
基本方針	知多半島南部地域における唯一の中核病院かつ公的医療機関として住民にとって欠かすことのできない医療を提供する使命から、救急医療、急性期医療・回復期医療・在宅医療にいたるまでのシームレスな医療サービスを提供します。さらに医療資源を有効活用する視点から医療と介護の連携を中心とした地域包括ケアシステムの構築に取り組み、この地域で完結できない機能を補完し、さまざまな世代が安心して生活できるコミュニティホスピタルを目指します。又、これまで培ってきた災害医療の分野、へき地医療の分野、及び感染症医療の分野について継続して知多半島医療圏における中心的な役割を担います。保健事業の分野では当院の魅力的な医療サービスとして認知されつつある健康管理支援活動の充実に取り組みます。今後も患者に安全で良質な医療を提供することを第一とし、継続的に医療の質向上に取り組みむと同時に、業務の効率化、コスト削減に取り組み経営の安定化を図ります。又、職員の一人ひとりがやりがいをもって働ける病院づくりを目指します。

重点事項		目標達成のための具体的行動計画
実施目標		
① 診療機能の充実		
救急医療体制の維持	第二次救急医療体制の維持・院内のトリアージ機能の充実	
災害拠点病院の充実	知多半島南部地域全体の災害医療体制の充実(災害訓練や職員に対する研修)・DMATの活動が円滑にできるよう講習会参加など必要な支援提供	
へき地医療拠点病院の充実	離島医療の維持・へき地医療研修の継続、研修プログラムの充実	
第二種感染症指定医療機関として感染症医療の充実	関係機関・地域の医療機関との連携を強化し、患者搬送訓練、感染防止対策の情報提供、研修会開催、患者や市民への啓発活動の実施	
小児医療・周産期医療の確保	知多半島南部地域の周産期医療の維持、助産師業務の拡大、小児医療提供体制の維持	
診療体制の整備	各科診療体制の検討、初期研修医・後期研修医の確保、総合性を持つ医師確保、最適な看護体制維持	
電子カルテの安定稼働	電子カルテ、部門システムの安定稼働	
チーム医療の推進	多職種が協同した専門的ケアチームの充実、病棟配置した職種の活用・治験業務の充実、医師業務軽減の充実	
リハビリテーションの充実	急性期・回復期・維持期リハビリテーションの充実	
認知症患者への対応	認知症サポートチームの活用、院内研修会の開催	
相談支援機能の強化	効率的な薬剤管理指導、栄養指導の実施、コメディカル外来の充実	
在宅医療への支援	往診・訪問診療の実施、訪問看護ステーションの充実、在宅医療サポートセンターとの連携、訪問薬剤管理の拡大	
② 医療の質、安全強化		
医療安全の充実	医療安全教育・研修の積極的な実施、ICTチーム活動の充実、感染管理システムの活用、薬品の在庫管理の強化、臨床工学技師による医療機器の保守点検の充実、セーフティレポートシステムの活用、	
医療の質向上	クリニカルパス使用の推進・見直し・改善、クリニカルインディケーターの活用、DWHの活用	
③ 地域との連携強化		
地域連携の強化	地域の医療機関・福祉施設と顔の見える関係の構築と連携強化を図るために医師・地域医療福祉連携部を中心とした定期的な訪問、退院支援、在宅復帰支援体制の充実、地域連携システム(ID-LINK)の活用、	
行政・医師会・JA・住民との連携	美浜町・南知多町との定期協議の継続、地元医師会との連携強化、JAとの連携強化、住民公開講座や多職種による講座等を開催し地域住民への情報発信	
④ 保健事業		
JA組合員への健康管理活動の充実	JAポイントカードを活用したJA組合員への健康管理活動の拡大	
健診事業の充実	美浜町・南知多町・武豊町との連携強化による受託拡大、オプション項目の充実、人間ドック機能評価受審結果による質改善	
保健事業活動の充実	健康講話・生活改善支援・母子支援活動の充実	
⑤ 福祉・介護事業		
福祉・介護事業の充実	平成29年度末廃止予定の介護療養型病床の方向性検討、地域包括ケアシステムへの取り組み	
⑥ 経営管理		
経営の安定化に向けた取り組み強化	予算進捗管理の強化、診療圏拡大(武豊町)に向けた取り組み、各部署の必要人員の精査及び要員管理の徹底、経費削減などコスト管理及び職員個々のコスト意識の醸成、DPCデータの経営管理への活用、効率的な病床運営、外部委託検査コスト削減、放射線機器の保守内容見直し、不動在庫の見直し	
職場環境の向上	職員のニーズを把握し職員にとって魅力ある職場づくり、仕事と生活の調和を支援し離職防止・人材確保に取り組む	
⑦ その他		
教育研修機能の充実	離島医療など独自の臨床研修プログラムの充実、学生実習(医師・看護・コメディカル)の受け入れによる地域医療を担う人材の育成	
患者サービス向上	職員の接遇の向上や患者・家族から意見などの迅速な把握と、改善につなげるシステム(ご意見箱、患者アンケート)の充実	
広報活動の拡大	当院の魅力をアピールする広報機能の充実	

統計資料

診療科別延患者数	12
時間外患者取扱数	13
診療科別在院延患者数 及び新入院患者数	14
診療科別退院患者数 及び平均在院日数	15
一般公開講座まとめ	16

■ 過去3か年の推移

1. 診療科別延患者数（医療＋介護）

単位：人

年 度	27 年 度		28 年 度				29 年 度			
外来/入院	外来	入院	外 来		入 院		外 来		入 院	
科	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
内科	48,229	25,318	47,502	98.5	26,562	104.9	46,851	98.6	25,855	97.3
小児科	10,939	502	10,625	97.1	275	54.8	10,363	97.5	282	102.5
外科	8,076	5,442	7,952	98.5	6,213	114.2	7,743	97.4	5,004	80.5
整形外科	30,879	10,911	28,327	91.7	10,371	95.1	27,816	98.2	11,378	109.7
脳神経外科	20,154	17,862	19,821	98.3	17,438	97.6	19,049	96.1	17,533	100.5
皮膚科	15,967	277	12,356	77.4	98	35.4	14,071	113.9	165	168.4
泌尿器科	8,169	721	8,253	101.0	680	94.3	8,049	97.5	758	111.5
産婦人科	5,075	615	4,919	96.9	808	131.4	4,824	98.1	632	78.2
眼科	13,044	1,318	10,980	84.2	1,281	97.2	10,237	93.2	1,029	80.3
耳鼻 いんこう科	14,626	290	14,432	98.7	896	309.0	14,555	100.0	799	89.2
篠島/ 療養介護	4,551	10,597	4,420	97.1	11,090	104.7	4,164	100.0%	11,502	103.7
合 計	179,709	73,853	169,587	94.4	75,712	102.5	167,722	98.9	74,937	99.0
平均患者数 (病院のみ)	658.5	201.8	618.6	93.9	207.4	102.8	610.3	98.7	205.3	99.0
※診療日数 (病 院)	266	366	267		365		268		365	

2. 科別時間外患者取扱数

年 度	27 年 度		28 年 度				29 年 度			
診療科	外来	入院	外来	前年比	入院	前年比	外来	前年比	入院	前年比
内科	2,446	468	2,403	98.2	380	81.2	2,291	95.3	375	98.7
小児科	1,359	2	1,194	87.9	7	350.0	1,082	90.6	5	71.4
外科	164	40	163	99.4	36	90.0	106	65.0	33	91.7
整形外科	924	75	843	91.2	65	86.7	808	95.8	83	127.7
脳神経外科	466	126	426	91.4	104	82.5	436	102.3	126	121.2
皮膚科	482	1	439	91.1	2	200.0	365	83.1	1	50.0
泌尿器科	196	6	214	109.2	3	50.0	198	92.5	1	33.3
産婦人科	71	42	70	98.6	42	100.0	49	70.0	36	85.7
眼科	119	0	77	64.7	0	—	81	105.2	0	—
耳鼻 いんこう科	521	2	452	86.8	9	450.0	362	80.1	14	155.6
合 計	6,748	762	6,281	93.1	648	85.0	5,778	92.0	674	104.0

3. 市町村別時間外患者取扱数

年 度	27 年 度		28 年 度				29 年 度			
市町村名	外来	入院	外来	前年比	入院	前年比	外来	前年比	入院	前年比
美浜町	3,213	287	2,990	93.1	257	89.9	2,714	90.8	253	98.4
南知多町	2,287	356	2,126	93.0	295	82.9	1,994	93.8	332	112.5
武豊町	411	40	394	95.9	28	70.0	353	89.6	37	132.1
半田市	107	14	98	91.6	7	50.0	89	90.8	5	71.4
常滑市	112	7	96	85.7	6	85.7	94	97.9	6	100.0
その他	618	58	577	93.4	55	94.8	534	92.5	41	74.5
合 計	6,748	762	6,281	93.1	648	85.2	5,778	92.0	674	104.0

4. 市町村別時間外患者（救急車搬入件数）

年 度	27 年 度		28 年 度				29 年 度			
市町村名	外来	入院	外来	前年比	入院	前年比	外来	前年比	入院	前年比
美浜町	206	139	222	107.8	132	95.0	211	95.0	130	98.5
南知多町	242	207	237	97.9	150	72.5	243	102.5	186	124.0
その他	204	73	225	110.3	52	71.2	194	86.2	41	78.8
合 計	652	419	684	104.9	334	79.7	648	94.7	357	106.9

5. 診療科別在院延患者数及び新入院患者数

診療科	在院延患者数			新入院患者数		
	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度
内科	22,407	23,476	22,514	1,599	1,557	1,414
小児科	399	205	198	102	69	82
外科	4,881	5,728	4,381	368	382	341
整形外科	10,613	10,095	10,988	292	286	306
脳神経外科	15,158	15,134	15,379	343	300	370
皮膚科	243	91	153	35	6	12
泌尿器科	679	645	681	40	35	27
産婦人科	516	704	550	100	101	80
眼科	1,059	1,041	823	260	238	206
耳鼻 いんこう科	265	824	726	24	75	73
一般計	56,220	57,943	56,393	3,163	3,049	2,911
療養	14,433	14,713	15,459	59	53	38
感染	0	0	0	0	0	0
合計	70,653	72,656	71,852	3,222	3,102	2,949

6. 診療科別退院延患者数及び平均在院日数

診療科	退院患者数			平均在院日数		
	27 年度	28 年度	29 年度	27 年度	28 年度	29 年度
内科	1,535	1,505	1,351	14.3	15.3	16.3
小児科	103	70	84	3.9	3.0	2.4
外科	383	400	355	13.0	14.7	12.6
整形外科	294	266	284	36.2	36.6	37.3
脳神経外科	319	295	344	45.8	50.9	43.1
皮膚科	34	7	12	7.0	14.0	12.8
泌尿器科	41	33	28	16.8	19.0	24.8
産婦人科	99	103	83	5.2	6.9	6.8
眼科	259	240	206	4.1	4.4	4.0
耳鼻 いんこう科	25	72	73	10.8	11.2	10.0
一般計	3,092	2,991	2,820	18.0	19.2	19.7
療養	108	118	110	172.9	171.4	208.9
感染	0	0	0	0.0	0.0	0.0
合計	3,200	3,109	2,930	22.3	22.0	24.5

■ 一般公開講座まとめ

一般の方向けに開催された講座の一覧です。

住民公開講座・肝臓病教室・糖尿病教室・調理実習・ミニレクチャーを
記載しています。

月	講座・教室名	テーマ	参加人数
4	ミニレクチャー	漢方のお話 ～疲れがとれにくいと感じたら～	19
	調理実習	薬膳料理でおいしく健康に	12
	糖尿病教室	糖尿病について 検査について 食事療法について	37
5	ミニレクチャー	睡眠時無呼吸症候群	17
	肝臓病教室	アルコールと肝臓病	8
	調理実習	減塩でおいしく健康に	18
6	ミニレクチャー	夏をのりきろう～熱中症予防～	19
	調理実習	スタミナ料理で夏バテ予防	12
	糖尿病教室	食事会	42
7	住民公開講座	アルコールと肝疾患	31
	ミニレクチャー	動脈硬化の予防～血管の老化を防ごう～	19
	調理実習	血管の老化を防ごう	16
8	糖尿病教室	糖尿病と歯周病について 合併症について 食事療法について	26
	ミニレクチャー	サルコペニアの予防 ～筋力アップで活動的に～	17
	調理実習	しっかり食べて筋力アップ	10
9	ミニレクチャー	骨粗鬆症の予防～丈夫な骨をいつまでも～	25
	調理実習	カルシウムをしっかりとりよう	15
	肝臓病教室	慢性肝炎の治療について お薬について	12

月	講座・教室名	テーマ	参加人数
10	糖尿病教室	糖尿病について 運動療法について	36
	ミニレクチャー	肥満の予防～運動・食事編～	13
	調理実習	太らないための食事術	14
11	ミニレクチャー	冬期にむけて免疫力を高めよう ～ウイルスに負けないために～	14
	調理実習	免疫力アップで風邪予防	14
	肝臓病教室	食事療法について 肝硬変について	8
12	ミニレクチャー	腸内フローラの話～腸の乱れは体の乱れ～	14
	調理実習	増やそう善玉菌	13
	糖尿病教室	食事会	25
1	ミニレクチャー	生活習慣を予防しよう	17
	調理実習	冬野菜を食べよう	14
	肝臓病教室	血液検査結果について	18
2	ミニレクチャー	誤嚥性肺炎の予防	13
	調理実習	腎臓を守る食事	16
	糖尿病教室	糖尿病について フットケアについて 薬物療法について	25
3	住民公開講座	古典落語から、日本人の死生観を考える	45
	ミニレクチャー	認知症の予防	15
	調理実習	認知症予防のための食事	12
	肝臓病教室	肝臓について	5

診療科別医療実績

内科	20
小児科	24
外科	26
整形外科	30
脳神経外科	31
皮膚科	33
泌尿器科	34
産婦人科	35
眼科	36
耳鼻いんこう科	37
麻酔科	38

■ 内 科

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
宮本 忠壽	名誉院長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会認定専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本医師会認定産業医	昭和 5 2 年
高橋 佳嗣	副院長兼感染制御部長兼内科代表部長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医	昭和 6 2 年
丹村 敏則	副院長兼保健事業部長兼内分泌代謝科部長 日本内科学会認定総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医・指導医 東洋医学会専門医・指導医 産業衛生学会専門医・指導医 日本プライマリケア連合学会認定医 日本人間ドック学会認定医・指導医 日本病態栄養学会 NST コーディネーター 日本医師会認定産業医 労働衛生コンサルタント	昭和 5 7 年
富本 茂裕	第 2 診療部長兼循環器内科部長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本高血圧学会指導医	平成 2 年
今井 宗憲	消化器内科部長 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医・胃腸科専門医 日本消化器内視鏡学会認定専門医 日本肝臓学会認定肝臓専門医	平成 1 5 年
村瀬 和敏	消化器内科医長 ※平成 30 年 3 月末退職	平成 1 8 年

伊賀 登志峰	循環器内科医長	平成19年
藤岡 一敏	一般内科	平成23年
西崎 章浩	一般内科	平成26年
伊藤 謙	一般内科	平成27年

◎ 専門外来とその診察日

1. 神経内科（月曜日、金曜日）
2. 呼吸器内科（月曜日、木曜日）
3. 循環器内科（火曜日）
4. 膠原病内科（水曜日）
5. 血液内科（火曜日）
6. 消化器・肝臓病（第1・3土曜日）
7. ペースメーカークリニック（第1・3土曜日）

◎ 主な取り組み

保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するという病院理念に基づき、一般内科医および各種専門医が急性期および慢性期診療に従事しています。

日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本肝臓病学会・日本糖尿病学会の認定施設として、診断や治療において最先端の医療を提供できるように努力しています。

1. 糖尿病教室
2. 肝臓病教室
3. 独自の人間ドック（脈管エコー・生活習慣病に対する栄養指導）
4. 各種専門外来

【平成29年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例件数1394件＞

傷病名	症例数
小腸大腸の良性腫瘍	195
肺炎	102
誤嚥性肺炎	78

手術トップ3

手術名	症例数
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2センチ未満）	202
内視鏡的胆道ステント留置術	27
内視鏡的消化管止血術	23

■ 小 児 科

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
神田 恵介	小児科部長 日本小児科学会専門医 医学博士（名古屋市立大学大学院医学研究科） 臨床研修指導医養成講習会修了 小児科全般・内分泌疾患・糖尿病・夜尿症 ※平成 29 年 8 月末退職	平成 13 年
森 麻里	小児科医長 日本小児科学会専門医 臨床研修指導医養成講習会修了 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法 「専門」コース（A コース）修了 小児科全般・内分泌疾患・糖尿病 ※平成 30 年 3 月末退職	平成 19 年
安井 奈津子	小児アレルギー科医長 日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法 「専門」コース（A コース）修了 小児科全般・アレルギー疾患	平成 20 年

◎ 専門外来とその診察日

1. 一般外来 月～金曜午前、第 1・3 土曜午前
2. 慢性疾患（喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、低身長、甲状腺疾患、糖尿病、夜尿症、てんかんなど） 月曜午後、木曜午後
3. 乳児健診 水曜午後
4. 1 ヶ月健診 水曜午後
5. 予防接種 火曜午後・金曜午後

【平成 29 年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPC データより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 83 件 >

傷病名	症例数
食物アレルギー	17
その他の体液・電解質・酸塩基 平衡障害	12
急性気管支炎、急性細気管支 炎、下気道感染症	7

◎ 主な疾病、検査

気管支炎や肺炎などの呼吸器疾患、胃腸炎などの消化器疾患、痙攣発作などの神経疾患をはじめとした急性期疾患が主体である。近年は予防接種の適応拡大や気管支喘息への予防治療の進歩により、当院に限らず急性期疾患による入院数は減少傾向となっている。その一方で平成 27 年度より対応を開始した食物アレルギー経口負荷試験および低身長負荷試験の施行数は徐々に増加している。新生児疾患は黄疸、軽度呼吸障害、低出生体重児への対応は可能であるが、集中治療を要する重大疾患は半田病院、大同病院、あいち小児保健医療総合センター、安城更生病院などへの搬送が必要となっている。

◎ 主な取り組み

平成 29 年度は夜間・休日の小児科対応は困難であるが、二次救急レベルの症例に関しては周辺環境の十分な協力もあり、微力ながらも入院対応を行った。

おおむね例年通りの入院患者数、疾患割合であったが、平成 27 年度から開始した食物アレルギー経口負荷試験の施行数は増加しており、外来における通院患者も増加している。

現在は常勤医が 1 人に減少し入院対応が難しい状況であるが、非常勤医と協力して外来診療において内分泌疾患、アレルギー疾患、腎疾患など幅広く専門性をもった領域に対応している。一部の強い専門性を必要とされる疾患(先天性心疾患、血液疾患、膠原病、腎生検を必要とする腎疾患など)を除けばおおそ対応可能である。自閉症などの小児精神疾患の相談は増えており、当院では専門医による診断は難しいが、リハビリの受入れは行っている。

予防接種は平成 28 年度から B 型肝炎ワクチンの定期接種が開始となり、予防接種スケジュールはタイトなものになっている。当院の周辺の地域では保健センターなどで行う集団接種から病院で行う個別接種への変更が進んでおり、可能な限りの同時接種を行いスムーズに必要な接種ができるよう支援を行っている。平成 30 年度からワクチンスケジュールリングシステムを導入し、接種の間違いの防止に力を入れている。また、当地域で出生し、他院の NICU で管理された早産児などに対する RS ウイルス抗体接種(シナジス)にも対応している。

■ 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
村元 雅之	副院長 兼 第1診療部長 兼 外科代表部長 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本静脈経腸栄養学会認定医・評議員 愛知臨床外科学会評議員	昭和61年
保里 恵一	地域医療福祉連携部長 兼 乳腺外科部長 兼 篠島診療所長 日本外科学会専門医・指導医 日本乳癌学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会肝臓専門医 消化器がん外科治療認定医 マンモグラフィ読影認定医 日本化学療法学会評議員 日本医師会産業医	昭和56年
杉戸 伸好	中央手術部長 日本外科学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医・指導医 日本がん治療認定医	平成10年
小森 徹也	内視鏡外科医長 日本外科学会専門医	平成19年
林 祐一	日本外科学会専門医 ※平成29年6月末退職	平成20年

◎専門外来とその診察日

血管外科外来：毎週金曜日午後 （非常勤）常滑市民病院・中島正彌医師

褥瘡外来：第1・3金曜日午後 皮膚排泄認定看護師（近藤貴代、荻須昌子）

◎主な取り組み

1. 腹腔鏡手術の適応拡大

現在、進行癌を含めた大腸癌手術のほとんどを腹腔鏡下に行い、みな順調な経過で早期退院が得られています。早期胃癌に対しても腹腔鏡下手術を導入しております。

腹腔鏡手術は、同じ手術を開腹しないで行う方法ですが、術後の炎症反応は非常に軽微で、生体はあたかも小さな手術しか受けていないような反応を示します。これにより術後の筋肉喪失、体重減少、術後合併症（縫合不全や創感染）が発生することなく早期の退院が得られる非常に有用な方法であります。

鼠径ヘルニア手術では、最も理想的な根治的な方法である腹腔鏡下手術(TAPP 法)を積極的に行っております。同術式は全国的に拡大しつつあり、小森内視鏡外科医長は、名古屋大学系列である知多市民病院、東海市民病院（これらは H27.5 に西知多総合病院に合併）、常滑市民病院、碧南市民病院に出向いて技術指導を行い、当院は知多半島における TAPP 手術のリーダー的存在となっております。再発率は 0.3%と、全国でも低い水準を維持しております。その他の良性疾患（胆石症、急性虫垂炎）のほとんどに対しても腹腔鏡手術を行っております。

2. 外来化学療法を積極的に展開

新規抗がん剤の開発・進歩によって、10 年前は約半年であった進行再発大腸癌の予後は約 3 年に至るまで延長されており、奏効例には肝切除・肺切除を追加することで根治される例も現在では珍しくなく、どんな進行癌でも常に根治を視野に入れた集学的治療を行っております。

3. 血管外科手術

平成 27 年 4 月より、常滑市民病院中島正彌医師の協力を得て毎週金曜日午後に血管外科外来を開いており、今後は下肢静脈瘤に対してレーザー治療を行っていく方針であります。

4. 術後早期経腸栄養を含めた栄養管理

消化器を切除することで生じる消化吸収障害と体重減少の軽減をはかり、退院に向けて順調な経口摂取への移行に尽力しております。術後の体重減少が大きいほど抗癌剤は効きにくくなり、予後が短くなるとの研究報告があり、当院でも研究活動を行っています。

5. 胃癌術後の QOL 上昇

術後の体重減少が最も顕著にみられる胃癌患者さまに対し、根治性を損なわない範囲で切除方法や再建方法を工夫し、退院後の QOL を改善できるよう尽力しております。当院の術後体重減少の少なさは全国でもトップクラスの成績で、積極的に学会発表を行っております。

6. 積極的な肝切除、膵切除

大腸癌肝転移を初め、C 型肝硬変などに発生する肝細胞癌は内科と協力しつつ積極的に切除する方針をとっております。

また膵癌に対しても、必要な場合には門脈合併切除を併施することで根治性を上げ、下膵十二指腸動脈先行処理など最新の術式を導入して出血量軽減と安全性向上に努めております。

◎手術件数

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
全手術件数	318	323	281	260	263	290	293	300
全身麻酔	184	180	197	190	187	220	210	229
胃癌（うち腹腔鏡下手術）	15(2)	16(1)	9(0)	12(4)	14(9)	11(1)	15(2)	15(3)
大腸癌（うち腹腔鏡下手術）	24(10)	31(7)	36(18)	34(18)	26(21)	48(41)	43(32)	35(30)
腹腔鏡下胆嚢摘出術	26	14	31	28	24	34	38	32
肝切除術	4	5	3	6	10	11	5	12
脾切除術	1	7	2	4	4	4	4	1
乳癌手術	17	25	22	19	19	21	23	20

【平成29年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例件数364件＞

傷病名	症例数
鼠径ヘルニア	30
胆嚢疾患	19
内痔核	16

手術トップ3

手術名	症例数
腹腔鏡下胆嚢摘出術	32
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	32
痔核手術（PPH）	16

◎施設認定

平成14年1月～日本外科学会外科専門医制度数連施設（指定施設）

平成15年～第1回日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設、教育施設

平成23年11月～日本静脈経腸栄養学会NST委員会NST稼働施設

平成24年1月～日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設（認定施設）

◎学会発表

1. 生活改善支援センターミニレクチャー 知多厚生病院 平成 29 年 8 月 18 日
「サルコペニアの予防 ～筋力アップで活動的に～」 村元雅之
2. 第 20 回 褥瘡と栄養を考える会 知多厚生病院 平成 29 年 10 月 7 日
「高齢者の便秘と下痢について」 村元雅之
「褥瘡診療の実際」 杉戸伸好
3. 第 9 回 知多消化器癌化学療法研究会 セントレアホール 平成 29 年 11 月 17 日
「アバスチン併用化学療法が奏効しコンバートに至った 1 例」
小森徹也、杉戸伸好、村元雅之
4. 第 19 回知多半島栄養サポートフォーラム 借宿ホール 平成 29 年 11 月 18 日
「2 次性サルコペニアによるオーラルフレイルを改善できた 1 例」
渡邊理恵、村元雅之、上原恵子、榊原香代子、沖田英人、茶谷公治
5. 第 1 回 消化器外科共同研究会 ザ・カワブン名古屋 平成 30 年 1 月 13 日
「知多厚生病院外科の紹介」
村元雅之
6. 消防隊勉強会 知多南部消防組合 平成 30 年 3 月 13 日
「胃瘻・腸瘻・栄養剤」
村元雅之

■ 整 形 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
脇田 郷	副院長兼医療安全管理部長兼整形外科代表部長 日本整形外科学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本リウマチ財団登録医	昭和５６年
服部 一希	リハビリテーション科部長 日本整形外科学会専門医	平成１５年
大口 怜央	リハビリテーション科医長 骨粗鬆症学会認定医 日本整形外科学会専門医	平成１７年
酒井 貴央	一般整形外科	平成２７年

◎ 主な取り組み

早期離床

◎ 主な検査

整形外科全般

◎ 主な疾病

整形外科全般

【平成２９年度クリニカルインディケーター掲載指標（ＤＰＣデータより）】

入院数トップ３＜全症例件数281件＞

傷病名	症例数
股関節大腿近位骨折	57
胸椎、腰椎以下骨折損傷	42
膝関節症	12

手術トップ３

手術名	症例数
骨折観血の手術（肩甲骨、上腕、大腿）	40
人工骨頭挿入術（肩、股）	23
人工関節置換術（肩、股、膝）	22

■ 脳 神 経 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
水野 志朗	副院長兼臨床研修部部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳神経血管内治療専門医	昭和 5 6 年
福島 庸行	診療協同部長兼脳神経外科代表部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	昭和 6 0 年
中塚 雅雄	医療情報部長兼脳血管内治療部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳神経血管内治療専門医 ※平成 29 年 9 月末退職	平成 2 年
大島 望	脳神経外科医長	平成 2 0 年

◎ 新規入院数

新規入院数	362 例
うち脳卒中急性期	192 例 (53.0%)
t-PA 実施例	7 例

◎ 主な手術内容 （同時・左右別施行例を含む）

脳動脈瘤クリッピング術	1 例
脳動脈瘤コイル塞栓術	5 例
脳腫瘍生検術	2 例
慢性硬膜下血腫除去術	17 例
頸動脈血管拡張ステント留置術	3 例
開頭頭蓋内血腫除去術（外傷/特発性）	4 例
脳室ドレナージ術	6 例
経皮的脳血栓除去術	1 例
脳血管拡張術	1 例
脳外減圧術	1 例
脳室腹腔シャント術	2 例

腰椎腹腔シャント術 2 例

その他 2 例

合計 47 例

【平成 29 年度クリニカルインディケーター掲載指標（D P C データより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 359 件 >

傷病名	症例数
脳梗塞（エダラボンあり）	63
脳梗塞（リハあり）	27
頭蓋、頭蓋内損傷	20

手術トップ 3

手術名	症例数
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	14
経皮的頸動脈ステント留置術	4
水頭症手術（シャント手術）	4

■ 皮 膚 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
加藤 香澄	一般皮膚科 ※平成 30 年 3 月末退職	平成 2 3 年

【平成 2 9 年度クリニカルインディケーター掲載指標（D P C データより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 12 件 >

傷病名	症例数
急性膿皮症	4
壊死性筋膜炎	2
リンパ節、リンパ管の疾患	1

手術トップ 3

手術名	症例数
皮膚切開術（長径 1 0 センチ未満）	2

■ 泌 尿 器 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
本間 秀樹	泌尿器科代表部長 日本泌尿器科学会専門医	平成 1 年

◎ 主な取り組み

前立腺肥大症、尿失禁に対する薬物療法

【平成 2 9 年度クリニカルインディケーター掲載指標（D P C データより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 31 件 >

傷病名	症例数
前立腺の悪性腫瘍	4
膀胱腫瘍	3
上部尿路感染	2

手術トップ 3

手術名	症例数
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	4
経尿道的尿管ステント留置術	2
経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用）	1

■ 産 婦 人 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
菱田 克己	産婦人科部長 日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 臨床研修指導医	昭和48年

◎ 専門外来とその診察日

産科及び一般婦人科（不妊症・更年期障害・子宮内膜症など）を行っています。午後は手術・母親教室・検査などがあり、また、常勤医師が1名しかいないということもあり、現在のところ専門外来は行っていません。コルポスコピー・子宮卵管造影など特殊な検査は、月曜日から金曜日の可能な午後を選んで行っています。また、病状説明など時間を要する場合も午後の余裕のある時間帯に行っています。

◎ 主な取り組み

悪性腫瘍手術・化学療法など、大学とタイアップしてできるだけ患者さんの希望に応じて便宜を図っています。また、不妊症・更年期障害・子宮内膜症などに積極的に取り組んでいます。その他、子宮頸癌・体部がん検診・超音波検査による卵巣がん検診・妊婦健診などです。

さらに、J A子宮がん検診を担当するなど、地域医療にも協力をしています。

【平成29年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例件数42件＞

傷病名	症例数
分娩の異常	10
流産	7
早産、切迫早産	4

手術トップ3

手術名	症例数
子宮内容除去術（不全流産）	5
吸引娩出術	3
子宮頸部（膣部）切除術	3

■ 眼 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
久保田 文洋	眼科代表部長 日本眼科学会専門医 PDT 認定医 ※平成 30 年 3 月末退職	平成 1 6 年
市田 美夕	一般眼科 ※平成 29 年 9 月末退職	平成 2 5 年

◎ 主な取り組み

白内障手術

緑内障の早期発見及び治療

硝子体手術

網膜光凝固術

【平成 2 9 年度クリニカルインディケーター掲載指標（D P C データより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 206 件 >

傷病名	症例数
白内障、水晶体の疾患	172
硝子体疾患	11
網膜剥離	5

手術トップ 3

手術名	症例数
水晶体再建術（縫着以外の眼内レンズを挿入するもの）	189
硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含む）	15
硝子体茎頭微鏡下離断術（その他）	10

■ 耳鼻いんこう科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
小森 克彦	耳鼻いんこう科代表部長 耳鼻いんこう科一般・頭頸部腫瘍・補聴器 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医	平成 5 年
油井 健宏	耳鼻いんこう科医長 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医	平成 1 9 年

◎ 専門外来とその診察日

慢性疾患外来（アレルギー性鼻炎・滲出性中耳炎など）： 火曜日・木曜日の午後

補聴器外来： 火曜日の午前

【平成 2 9 年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ 3 < 全症例件数 74 件 >

傷病名	症例数
前庭機能障害	30
扁桃、アデノイドの慢性疾患	12
睡眠時無呼吸症候群	10

手術トップ 3

手術名	症例数
口蓋扁桃手術（摘出）	12
アデノイド切除術	4
扁桃周囲膿瘍切開術	2

■ 麻 酔 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
成宮なつみ	麻酔科部長代理 日本麻酔科学会専門医	平成19年

◎主な取り組み

- ・麻酔科診察
- ・救急ファーストタッチ

◎麻酔管理料算定件数（平成29年度）

	件数
麻酔管理料 1 (脊椎麻酔を行った場合または硬膜外麻酔を行った場合)	11 件
麻酔管理料 1 (マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔を行った場合)	175 件

部署別業務実績

【診療協同部】

- 放射線技術科 40
- 臨床検査技術科 44
- リハビリテーション技術科 48
- 臨床工学技術科 51
- 栄養科 54

【薬剤部】 56

【看護部】 62

【医療安全管理部】 67

【感染制御部】 69

【事務部】

- 企画課 71
- 医事課 73
- 総務課 74
- 施設課 75

【医療情報部】 76

【保健事業部】 77

【地域医療福祉連携部】 79

■ 診療協同部（放射線技術科）

1. 平成29年度部門目標

- ・専門知識に裏付けされた質の高い放射線検査の提供
- ・医療安全、感染対策を充実させた安心な医療体制を構築
- ・新システム（HIS,RIS）の安定稼働
- ・経営安定化への寄与
- ・当院にマッチした第15次中期計画の策定
- ・やりがいの持てる魅力ある職場づくり

2. 主な取組み

- ① 専門知識に裏付けされた質の高い放射線検査の提供
 - ・月1回の定期的な部署内勉強会の開催
 - ・スタッフ各自が考えた持ち回りの発表会を実施
 - ・認定技師への支援と、院内・外の研修会への参加を推進
- ② 医療安全、感染対策を充実させた安心な医療体制を構築
 - ・手指消毒の継続的な管理
 - ・医療安全カンファレンスレポートを活用した検証の実施
- ③ 新システム（HIS,RIS）の安定稼働
 - ・新システムの問題点を解決し、安定稼働を実施
 - ・新システムを利用したデータ収集を実施し業務に活用
- ④ 経営安定化への寄与
 - ・DPC患者への後発造影剤の採用
 - ・電子カルテに、CT依頼の付箋を貼り、定期的なフォローを依頼
- ⑤ 当院にマッチした第15次中期計画の策定
 - ・第15次中期計画に向け更新の必要性、必要機種を十分検討し選定した。
- ⑥ やりがいの持てる魅力ある職場づくり
 - ・有給休暇の平均取得11.47日／年（今後は均等取得を目指す）
 - ・残業時間の平均化を実施

3. 人員体制（平成30年3月31日現在）

診療放射線技師	9名（女性3名、男性6名）
放射線（1Bブロック）看護師	4名
SPD（午前）	1名
受付事務員（1Bブロック）	2名（午後1名）
放射線科代務医師（読影）	3名（月：午後、火・木：終日 各1名）

3. 画像診断関連機器一覧 平成29年度

撮影室	装置	メーカー	取得年月日
一般撮影 ⑥	撮影装置	島津 UD150L-40(50KW)	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-50 (臥位リーダー)	2009/7/30
一般撮影 ⑦	撮影装置	島津 UD150L-40(50KW)	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-50 (臥位リーダー)	2009/7/30
マンモ ⑧	撮影装置	SIEMENS MAMMOMAT1000	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
骨塩定量 ⑧	撮影装置	アロカ Dichroma Scan DCS-600EXV	2009/7/30
健診センター (胸部撮影)	撮影装置	島津 RADIOTEX CH-200	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
ポータブル	回診型撮影装置	島津 MobileArtEvolution	2010/6/1
	回診型撮影装置	島津 MobileArtEvolution	2011/4/10
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 110 (カセットリーダー)	2009/7/30
外科用イメージ	OPE 用透視装置	SIEMENS SIREMOBIL Compact L	2007/8/10
T V ②	撮影装置	東芝 ZEXIRA II Version (I.I.)	2009/7/30
	撮影制御装置	東芝 ADR-1000A	2009/7/30
T V ⑨	撮影装置	東芝 ZEXIRA FPD Version (F.P.D.)	2009/7/30
	撮影制御装置	東芝 HDR-1000A	2009/7/30
C T ⑤	撮影装置	東芝 TSX-101A Aquillion64	2007/5/7
	ワークステーション	アミン ZIOSTATION610	2007/5/7
	ワークステーション	アミン ZIOSTATION2Crassic	2012/7/21
	テラステーション	バッファローTerastationPro	2009/7/7
	Xe-CT 測定装置	安西 コールドキセノンガス吸入装置 AZ-725N	1996/11/10

撮影室	装置	メーカー	取得年月日
M R I ④	撮影装置	Pilips Ingenia1.5T	2015/9/25
	ワークステーション	AZE バーチャルプレイス風神 RM-01123791	2015/9/25
	生体情報モニタ	コニカミノルタヘルスケア Invivo Essentil	2015/9/25
アンギオ ③	撮影装置	SIEMENS AXIOM Artis dTA	2009/7/30
	ポリグラフ	日本光電 RMC-4000M	2008/8/4
	ワークステーション	SIEMENS LEONARDO	2009/7/30
デジタイザ	film 読み取り装置	Array AOC Scan1.4	2009/7/30
プリンター	ドライイメジャー	コニカミノルタ ドライプロ 793	2009/7/30
検 像	画像検像装置	インフォコム Ev-stasion	2009/7/30
出張ポータブル	携帯型X線撮影装置	日立 PHT-1003 2011/12/1 機器故障のため修理不能	2002/2/1
篠島診療所	診断用X線装置	島津エクシープロMパック	2011/11/1
	読み取り装置	コニカミノルタ REJIUS 190 (カセットリーダー)	2007/12/1
	現像機	コニカミノルタ ドライイメジャー	2007/12/2

4. 平成29年度 放射線技術科撮影件数

全検査数

項 目	平成29年度	平成28年度	前年比
一般撮影	25,967	26,769	97.0%
マンモ	1,585	1,519	104.3%
TV 検査	3,546	3,246	109.2%
血管検査	61	78	78.2%
CT 検査	8,522	8,694	98.0%
MRI 検査	5,120	4,854	105.5%
骨塩定量	883	888	99.4%
画像処理	1,610	1,505	107.0%
術中透視	11	7	157.1%
合 計	47,305	47,560	99.5%

健診検査件数

項 目	平成29年度	平成28年度	前年比
胸部	2,758	2,553	108.0%
マンモ	1,031	906	113.8%
胃透視	1,100	948	116.0%
胃内視鏡	985	1,006	97.9%
CT 検査	299	295	101.4%
MRI 検査	525	497	105.6%
骨塩定量	237	235	100.9%
合 計	5,950	5,434	109.5%

※健診合計件数には胃内視鏡件数は含まず

5. 発表

○平成29年 9月 21日（木）～24日（日）

第33回 日本診療放射線技師学術大会

「ACL描出を目的としたCT撮像における寝台吸収の影響を低減させる方法」 磯貝征寛

○平成29年 11月 9日（木）

知多地区放射線技師フォーラム

「被ばく低減施設認定取得への取り組み」 高橋健太

■ 診療協同部（臨床検査技術科）

1. 検査科の理念

私たちは、知多南部圏の基幹病院としての機能充実のため、臨床検査部門がいかに診療支援をはたすかを絶えず追求し、信頼される検査室づくりを目指します。

2. 検査科の取組み（基本方針）

- ・人材育成の対策強化
- ・チーム医療への貢献
- ・検査精度の向上
- ・検査コストの削減、収益の増益

3. 具体的な取組み

- ・学会・研修会・の参加、学会発表することによりスキルアップを図る。
- ・院内研修（検査内）による若手指導・勉強会を毎月開催する。
- ・健診部門支援技師（超音波検査担当者）の新たな技師育成。
- ・院内感染対策への支援とレベルアップに努めます。
- ・技師レベル向上に努め、質の高い検査報告に取り組みます。
- ・内部精度管理・外部精度管理の充実を図ります。

4. 学会発表

第 60 回糖尿病学会年次学術集会（愛知県 名古屋国際会議場）

平成 29 年 5 月 18 日（木）～20 日（土）

『当院における 1.5-AG 併用の有用性の検証』

山下 愛

5. 認定技師

梅村 壽男	細胞検査士
	国際細胞検査士
迫 欣二	細胞検査士
	国際細胞検査士
	認定病理技師
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
大岩 れい子	第一種衛生管理者
	超音波検査士（消化器領域）
	超音波検査士（循環器領域）
	超音波検査士（体表臓器領域）
	超音波検査士（健診領域）
	超音波検査士（血管領域）
山本 喜之	緊急臨床検査士
	救急検査認定技師
	輸血認定技師
	上級健康食品管理士
山下 愛	日本糖尿病療養指導士
	超音波検査士（循環器領域）
上田 智子	輸血認定技師
中根 久美子	細胞検査士
	国際細胞検査士
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
	第一種衛生管理者
小出 明奈	緊急臨床検査士
	メンタル心理カウンセラー
植田 祐介	認定心電図検査技師
杉浦 有委美	日本糖尿病療養指導士
竹内 友菜	超音波検査士（循環器領域）

6. 知多厚生病院検査科稼働表

稼働件数		平成28年度		平成29年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
一般検査	尿	51,072	108.3	39,368	77.1
	便	4,323	105.1	4,243	98.1
	体液	488	151.6	488	100.0
血液検査	血液	118,566	100.4	118,162	99.7
輸血検査	輸血	3,011	109.6	2,716	90.2
臨床化学	化学1	836,899	101.1	858,531	102.6
	化学2	32,295	104.2	33,502	103.7
	血液ガス	1,000	112.1	754	75.4
	負荷試験	36	59.0	27	75.0
微生物検査	一般細菌	11,177	97.2	11,240	100.6
	微生物核酸検査	0		0	--
	その他	688	100.7	702	102.0
免疫検査	免疫	52,747	100.0	54,547	103.4
病理	病理組織	1,825	90.6	1,726	94.6
	細胞診	2,953	96.7	2,956	100.1
生理検査	肺機能	3,912	104.9	4,040	103.3
	心電図	7,965	103.3	9,062	113.8
	超音波	4,994	105.8	5,229	104.7
	脳波	181	100.0	146	80.7
	その他	3,609	105.1	3,734	103.5
その他	病理解剖	1	50.0	1	100.0
	採血	30,739	99.8	31,165	101.4
	輸血製剤管理	1,520	126.7	1,178	77.5
	その他(DM指導等)	145	117.9	208	143.4
		1,170,146	101.4	1,183,725	101.2

稼働点数		平成28年度		平成29年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比
一般検査	尿	1,714,150	105.9	1,410,925	82.3
	便	163,605	105.2	159,724	97.6
	体液	5,349	155.9	7,020	131.2
血液検査	血液	3,080,986	102.4	2,985,171	96.9
輸血検査	輸血	167,097	115.4	140,802	84.3
臨床化学	化学1	10,944,452	99.8	11,119,040	101.6
	化学2	4,486,081	102.1	4,621,415	103.0
	血液ガス	146,130	112.2	108,576	74.3
	負荷試験	7,200	59.0	5,400	75.0
微生物検査	一般細菌	1,329,912	103.9	1,300,382	97.8
	微生物核酸検査	0	--	0	--
	その他	0	--	0	--
免疫検査	免疫	2,862,553	100.3	3,045,678	106.4
病理	病理組織	1,939,520	96.1	1,771,810	91.4
	細胞診	476,390	96.2	474,920	99.7
生理検査	肺機能	371,640	104.9	383,800	103.3
	心電図	1,223,720	105.5	1,454,420	118.9
	超音波	2,406,350	106.7	2,515,790	104.5
	脳波	133,420	104.4	103,740	77.8
	その他	594,620	105.0	604,860	101.7
その他	病理解剖	25,000	50.0	25,000	100.0
	採血	768,475	124.7	779,125	101.4
	輸血製剤管理	0	--	0	--
	その他(CGM)	0	--	50,400	--
稼働点数合計		32,846,650	102.0	33,067,998	100.7

判断料 件数		平成28年度		平成29年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
検査判断料	尿・糞便等検査	10,204	100.0	10,174	99.7
	血液学的検査	30,245	99.2	30,801	101.8
	生化学的検査(Ⅰ)	29,853	99.3	30,513	102.2
	生化学的検査(Ⅱ)	9,919	99.7	10,530	106.2
	免疫学的検査	14,989	97.4	16,211	108.2
	微生物学的検査	3,057	81.5	3,644	119.2
	病理学的検査	2,019	88.3	1,037	51.4
	呼吸機能検査	323	102.2	317	98.1
	脳波検査	117	90.7	92	78.6
	神経・筋検査	37	105.7	52	140.5
検査判断総件数		100,763	98.2	103,371	102.6

その他加算 件数		平成28年度		平成29年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
病理診断料		870	77.7	1,267	145.6
細胞診診断料				504	
検体検査管理加算Ⅰ		38,871	98.1	39,742	102.2
検体検査管理加算Ⅱ		289	79.0	314	108.7
パルスドブラ法加算		97	140.6	133	137.1
乳幼児加算		72	64.9	86	119.4
時間外緊急院内検査加算		1,594	94.9	1,654	103.8
生化学入院時初回加算		101	78.9	120	118.8
外来迅速加算		34,965	99.2	35,262	100.8
輸血管理料Ⅰ		277	118.9	279	100.7
輸血適正使用加算Ⅰ		277	118.9	279	100.7
合計 件数		77,413	98.2	79,640	102.9

判断料 点数		平成28年度		平成29年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比
検査判断料	尿・糞便等検査	346,936	100.0	345,916	99.7
	血液学的検査	3,780,625	99.2	3,850,125	101.8
	生化学的検査（Ⅰ）	4,298,832	99.3	4,393,872	102.2
	生化学的検査（Ⅱ）	1,428,336	99.7	1,516,320	106.2
	免疫学的検査	2,158,416	97.4	2,334,384	108.2
	微生物学的検査	458,550	81.5	546,600	119.2
	病理学的検査	302,850	88.3	155,550	51.4
	呼吸機能検査	45,220	102.2	44,380	98.1
	脳波検査	21,060	90.7	16,560	78.6
	神経・筋検査	6,660	105.7	9,360	140.5
検査判断総点数		12,847,485	98.0	13,213,067	102.8

その他加算 点数		平成28年度		平成29年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比
病理診断料		400,950	89.6	570,150	142.2
細胞診診断料				100,800	
検体検査管理加算Ⅰ		1,546,200	97.6	1,589,680	102.8
検体検査管理加算Ⅱ		144,000	78.7	31,400	21.8
パルスドブラ法加算		19,800	143.5	26,600	134.3
乳幼児加算		1,050	100.0	1,204	114.7
時間外緊急院内検査加算		318,800	172.5	330,800	103.8
生化学入院時初回加算		1,940	75.8	2,400	123.7
外来迅速加算		1,549,570	99.3	1,532,270	98.9
輸血管理料Ⅱ		60,060	111.4	61,380	102.2
輸血適正使用加算		32,760	111.4	33,480	102.2
合計 点数		4,075,130	100.3	4,280,164	105.0

検査委託		平成28年度		平成29年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
委託件数	保険収載件数	16,370	116.6	17,931	109.5
	未保険収載件数	914	114.5	792	86.7
	管理料件数	0		0	
総件数		17,284	116.5	18,723	108.3
委託支払額	保険項目支払小計	15,476,098	107.5	16,395,303	105.9
	未保険項目支払計	1,952,666	79.5	2,236,431	114.5
	管理料支払計	0		0	
総支払い額		17,428,764	103.4	18,631,734	106.9
委託検査収入	総保険点数請求額	33,103,470	112.9	37,805,370	114.2
	利益差	15,674,706	125.7	19,173,636	122.3
消費額	薬品費	65,258,321	95.6	63,115,109	96.7
	医療材料費	4,919,558	106.4	4,991,067	101.5
薬品費材料費合計		70,177,879	96.2	68,106,176	97.0

■ 診療協同部（リハビリテーション技術科）

1. 主な取り組み、現状

- 1) 領域毎のスキルアップ
- 2) 教育の再構築
- 3) 急性期チームごとのチーム力の強化

2. 学会発表

1) 平成 29 年 10 月 6 日 沖縄コンベンションセンター(沖縄県)

第 66 回日本農村医学会学術総会

演題名「入退院を繰り返していた慢性心不全患者に対して訪問リハビリテーションを導入し、在宅生活を送っている一症例」

発表者 栗山 碧

共同演者 大橋 朗

演題名「超高齢者が在宅生活を送るのに必要な要素」

発表者 佐野貴洋

共同演者 大橋 朗

2) 平成 29 年 11 月 18 日 半田市雁宿ホール（半田市）

第 13 回知多半島 NST フォーラム

演題名「サルコペニアによりオーラルフレイルとなり摂食・嚥下障害を呈した症例」

発表者 渡邊理恵

3) 平成 30 年 3 月 11 日 ウィンクあいち（愛知県）

第 27 回愛知県理学療法学術大会

演題名「右気胸後、肺炎・左気胸を併発しネーザルハイフローを使用した一症例」

発表者 松本大樹

共同演者 大橋 朗

演題名 「脳卒中片麻痺患者における再入院の要因」

発表者 服部香那子

共同演者 森本和宏

3. 研究会等その他発表

- 1) 平成 29 年 9 月 2 日 オフィスパークプレミアホール（名古屋市）
平成 29 年度厚生連リハビリテーション会
演題名 「当院における認知症への対応について」
発表者 榊原実希

- 2) 平成 30 年 1 月 20 日 豊橋整形外科鷹丘クリニック
愛知県作業療法士協会 生活行為向上マネジメント 実践者研修
演題名 「自分のことは自分でやりたい—床生活から立位中心への変更と家事動作の獲得に向けて—」
発表者 鈴木有菜

- 3) 平成 30 年 2 月 17 日 オフィスパークプレミアホール（名古屋市）
平成 29 年度厚生連リハビリテーション会
演題名 「回復期リハ病棟専従の役割」
発表者 大川あゆみ
共同演者 山口あすか・中嶋怜

4. 平成29年度実施単位数

月	外来診療日数	理学療法 16			作業療法 8.7			言語聴覚療法 4				訪問 2	
		外来	入院	療法士一人当たり/日	外来	入院	療法士一人当たり/日	外来	入院	摂食機能療法	療法士一人当たり/日	訪問件数	療法士一人当たり/日
4	20	550	3,759	13.9	336	2,029	13.9	192	886	107	14.8	159	4.0
5	20	585	4,178	15.4	357	2,201	15.0	202	928	129	15.7	151	3.8
6	22	641	4,587	15.3	340	2,397	14.6	235	904	125	12.9	167	3.8
7	20	624	4,422	16.3	326	2,390	16.0	254	771	129	14.4	150	3.8
8	21	614	4,609	16.0	372	2,851	18.1	244	773	151	12.1	158	3.8
9	20	612	4,550	16.7	335	2,365	15.9	191	916	92	15.0	147	3.7
10	21	652	4,706	15.7	271	2,517	15.6	209	770	180	13.8	164	3.9
11	20	646	4,426	15.7	309	2,278	15.2	214	840	120	14.7	149	3.7
12	20	638	4,879	17.8	302	2,465	16.3	205	868	125	15.0	162	4.1
1	19	584	4,609	17.6	309	2,241	15.8	183	703	158	13.7	145	3.8
2	19	550	4,631	17.6	278	2,157	15.1	195	730	129	13.9	142	3.7
3	23	583	4,538	14.4	325	2,374	13.8	207	619	126	10.3	160	3.5
総数	245	7,279	53,894	18.1	3,860	28,265	17.0	2,531	9,708	1,571	14.1	1,854	3.78
		61,173			32,125			13,810					
前年	242	6,865	46,656	15.9	3,526	27,125	14.6	2,314	9,971	1,409	14.1	1,808	3.83
		53,521			30,651			13,694					
対前年比		114.3%			104.8%			100.8%			102.5%		

退院前訪問リハ指導	47	42		
地域協力事業	30	26	8	

※ 外来診療日数は、土曜日は入院患者のみ訓練を行っているため、病院の外来診療日数より少ない。

平成27年度の外来診療日数は、平成26年度より1日少ない

※ 療法士一日当たり一人当たりの実施単位数は、年毎の比較のため職員の特休・有休は考慮せず、単純に外来診療日数で除した数で表す。（（外来＋入院）÷外来診療日数）

※ 地域協力事業とは、地域介護予防活動支援事業やシルバーヘルス事業等の介護予防事業、障害児の小学校や保育園での生活・学習・就学支援、高校野球メディカルサポートである。

※ 実施単位数に影響するその他の因子は、出張、カンファレンス、時間内会議などであるが、それらは加味していない。

■ 診療協同部（臨床工学技術科）

1. 主な取り組み

- 1) 医療機器の保守・点検・管理を計画的に実施し、安全に医療機器が使用できる環境を整える
(医療機器定期点検の年間予定を作成し、保守・点検・管理を実施する)
- 2) 医療機器の取り扱い方法、トラブル対応方法など医療機器の安全使用に繋がる勉強会を定期的に開催し医療安全向上を図る
(医療機器の安全使用に繋がる勉強会を計画・実施する)
- 3) 医療機器や医療材料の管理・運用方法を検討し業務の効率化やコスト削減に繋げる
(臨床工学技術科で管理している医療材料の安全性・機能性・使いやすさ等を検討し低価格の医療材料への変更を提案する)
(経管経腸栄養ポンプ更新に伴い、医療機器本体の使いやすさや価格だけではなく、消耗品の価格も検討し、ランニングコストを下げるよう検討する)
- 4) 医師・看護師・他職種との連携を図り、臨床支援業務を実施し、安全で円滑な医療を行う
(エンドトキシン吸着、顆粒球吸着療法、持続緩徐式血液濾過透析、腹水濾過濃縮再静注、血漿交換、維持透析などの血液浄化療法を迅速に対応できるよう業務検討する)
(血液透析装置のメンテナンスを常時実施し、定期及び緊急で血液透析が必要な患者への対応を行う)
(医療機器に関する医療安全情報の収集と発信を行う)
- 5) 部署内での臨床支援業務の勉強会を定期開催し、臨床工学技士の知識と技術の向上を図る
(臨床支援業務（循環器関連・人工呼吸器関連・血液浄化療法関連）の部署内研修会を定期開催（1回/月）する)

※ペースメーカー遠隔モニタリングシステムの運用開始

※人工呼吸器用人工鼻を愛知県厚生連推奨品に交換しコスト削減を図る

※シリンジ用エクステンションチューブ変更に伴い、シリンジポンプ閉塞圧レベルを M から L へ変更

2. 学会・院外講習会

- 1) 電気メスの基礎知識と安全な使用方法【参加】
平成 29 年 6 月 16 日 参加：杉浦正生・大倉嗣也
- 2) 医療機器安全講習会【参加】
平成 29 年 8 月 6 日 参加：杉浦正生
- 3) 心臓カテーテル検査講習会（治療コース）
平成 29 年 10 月 22 日 参加：杉浦正生
- 4) 呼吸療法セミナーⅡ～呼吸療法を学ぼう、応用編～【参加】
平成 29 年 10 月 28 日
- 5) ペースメーカーセミナー【参加】
平成 29 年 12 月 16 日 参加：杉浦正生・大倉嗣也
- 6) 内視鏡ハンズオンセミナー【参加】
平成 30 年 1 月 27 日 参加：大倉嗣也

3. 院内研修会

- 1) 新人看護師研修会 輸液ポンプ・シリンジポンプ 講師：臨床工学技士 大倉
平成 29 年 5 月 10 日
- 2) 心電図・ペースメーカー勉強会 講師：臨床工学技士 大倉
平成 29 年 5 月 17 日
- 3) モニタ勉強会 パルスオキシメータ編
平成 29 年 5 月 22 日
- 4) 経管経腸栄養ポンプ デモ機勉強会
平成 29 年 6 月 13 日
- 5) 医療安全全体研修会 講師：臨床工学技士 大倉
平成 29 年 6 月 21・30 日
- 6) 心電図勉強会
平成 29 年 6 月 27 日
- 7) 在宅用人工呼吸器（トリロジー100）勉強会
平成 29 年 7 月 6・13 日
- 8) オートセット CS-A 勉強会
平成 29 年 7 月 14 日
- 9) モニタ勉強会（NIBP・A 圧・ETCO2・呼吸測定） 講師：臨床工学技士 杉浦
平成 29 年 7 月 19 日
- 10) オートセット CS-A 勉強会（新しい医療機器導入時の研修）
平成 29 年 8 月 21 日、9 月 8・21・26 日、10 月 5 日
- 11) 低圧持続吸引器勉強会
平成 29 年 9 月 25 日、10 月 18 日

- 12) モニタ勉強会（新しい医療機器導入時の研修）
平成 29 年 10 月 27 日
- 13) 人工呼吸器勉強会
平成 29 年 10 月 29 日
- 14) BIS 勉強会
平成 29 年 11 月 2 日、12 月 14 日
- 15) 除細動器勉強会 講師：臨床工学技士 大倉・押谷
平成 29 年 11 月 6・28 日
- 16) NPPV（V-60）勉強会
平成 29 年 12 月 18 日
- 17) NIP ネーザル V 勉強会（新しい医療機器導入時の研修）
平成 29 年 12 月 28 日、平成 30 年 3 月 14・15・16・19・23 日
- 18) 医療ガスの取り扱い勉強会
平成 30 年 1 月 11・12・15・16・17・18・25 日
- 19) オートセット CS-A 勉強会
平成 30 年 1 月 16・19・24 日、3 月 19 日
- 20) 人工呼吸器（ニューポート e500）勉強会 講師：臨床工学技士 大倉
平成 30 年 2 月 8 日
- 21) 輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会 講師：臨床工学技士 杉浦・大倉
平成 30 年 2 月 15・19 日
- 22) 生体情報モニタの取り扱い 講師：臨床工学技士 押谷
平成 30 年 2 月 27 日

4. 血液浄化療法関連業務

- ・ GCAP（顆粒球吸着療法）：6 回
- ・ LCAP（白血球除去療法）：0 回
- ・ PMX-DHP（エンドトキシン吸着）：1 回
- ・ CART（腹水濾過濃縮再静注療法）：19 回
- ・ CHDF（緩徐式血液濾過透析）：0 回
- ・ HD（血液透析）：0 回

5. ペースメーカー関連業務

- ・ ペースメーカーチェック：166 回

6. 資格取得・更新

- ・ 3 学会合同呼吸療法認定士資格更新（杉浦）

■ 診療協同部（栄養科）

1. 主な取り組み

1) 献立内容の見直し

- ・喫食率向上にむけ、献立内容の検討を行った。

2) 栄養指導増加

- ・栄養指導件数増加にむけ積極的な取り組みを行った。

3) 地域住民への保健活動

- ・健康保持・増進を目的に、地域住民対象の調理実習を定期的を開催するとともに、ミニレクチャーの内容をまとめた資料を作成し説明を行なった。

2. 実績報告

1) 給食数（患者食・賄食）

患者食

食 種	平成 28 年度		平成 29 年度	
	食 数	比 率 (%)	食 数	比 率 (%)
常 食	35,294	18.2	35,461	18.2
軟 食	58,701	30.2	68,339	35.1
流 動 食	709	0.4	687	0.4
特 別 食 A	59,721	30.7	51,642	26.5
特 別 食 B	39,700	20.5	38,563	19.8
合 計	194,125	100.0	194,692	100.0

賄 食

食 種	平成 28 年度		平成 29 年度	
	食 数	比 率 (%)	食 数	比 率 (%)
職 員 食	50,359	99.5	46,614	97.8
付 添 食	371	0.5	736	2.2
合 計	50,630	100.0	47,350	100.0

2) 栄養指導及び相談件数

単位：件

	栄養指導 及び相談件数	食事指導料 加算件数
外 来 栄 養 食 事 指 導	926	926
入 院 栄 養 食 事 指 導	423	423
集 団 栄 養 食 事 指 導	0	0
糖 尿 病 透 析 予 防 指 導	151	151
そ の 他 の 栄 養 相 談	111	
小 児 科 健 診 相 談	53	
保 健 指 導	45	
生 活 改 善 調 理 実 習	154	

3) その他の加算延べ件数

栄養マネジメント加算（件）	10,912
---------------	--------

■ 薬 剤 部

1. 主な取り組み

- 1) 医薬品、医療材料、臨床試薬等について、更に購入の効率化を図る。
- 2) 多くの学会に参加し最新の情報を収集するとともに、各種認定取得など資質向上に努める。
- 3) 他職種との更なる連携強化を図り、業務改善に努める。
- 4) クリニカルインジケータの補強としての抗生剤使用状況や治療成績の公開に取り組む。
- 5) 病棟業務実施加算の継続（全病棟）と薬剤師の常駐に努める。
- 6) 病棟連携、病診連携、薬薬連携、在宅薬剤指導など地域連携業務の取り組みを充実させる。
- 7) 日本文化連「治験ネットワーク」からの新たな治験の案件取得に取り組む。
- 8) 在宅薬剤管理指導件数の増加を目指す。
- 9) 外来における服薬指導を充実させる。

2. 業績目録

1) 学会発表

【発表】

平成 29 年 5 月 18 日～5 月 20 日 名古屋国際会議場他
第 60 回 日本糖尿病学会 年次学術集会
・肺炎と糖尿病

高松 真衣

【発表】

平成 29 年 6 月 2 日～6 月 4 日 札幌コンベンションセンター
第 11 回 日本緩和医療薬学会年会
・がん患者の終末期せん妄の要因解析と対応の現状

末吉 真樹

【発表】

平成 29 年 10 月 5 日～10 月 6 日 沖縄県コンベンションセンター
第 66 回 日本農村医学会学術総会
・多職種連携による漢方薬の剤形変更と薬剤師の関与

久田 亜紗美

【発表】

平成 29 年 10 月 20 日～10 月 22 日 大阪国際会議場
第 19 回 日本病骨粗鬆症学会
・ステロイド性骨粗鬆症の管理と当院の現状報告

野澤 正徳

【発表】

平成 29 年 10 月 20 日～10 月 22 日 大阪国際会議場

第 19 回 日本病骨粗鬆症学会

- ・地域産業まつりにおける骨密度測定と骨粗鬆症の啓蒙活動について

後藤 恵利佳

【発表】

平成 29 年 11 月 26 日 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2017

- ・牛車腎気丸のオキサリプタチンによる神経毒性に対する有効性の再検討

大平 勇二

2) 研究会等その他発表

【発表】

平成 29 年 11 月 18 日 知多厚生病院

第 3 回 相互啓発研修会

- ・当院における ACP 活動

末吉 真樹

3. 実績報告

(1) 投薬状況の推移

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
外来処方せん枚数	96,969	96,004	98,361	99,851	100,217	81,552	91,028	81,306	72,758	70,767
調剤数	241,813	237,476	241,822	243,145	244,486	198,887	217,380	192,906	177,516	171,692
調剤延数	7,507,096	7,304,497	7,279,995	6,997,358	6,770,070	5,254,885	5,526,954	4,967,381	4,446,303	4,060,841

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
入院処方せん枚数	18,422	18,305	16,983	18,439	18,841	16,112	19,733	22,292	20,427	22,617
調剤数	44,227	44,128	38,390	39,200	42,283	36,674	42,296	48,330	44,216	48,350
調剤延数	365,763	354,203	322,846	331,259	378,361	324,933	362,035	435,202	389,460	409,190

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
院外処方せん枚数	25,532	28,619	32,594	36,503	39,061	34,589	46,472	50,395	53,684	56,257
分業率	20.84%	22.96%	24.89%	27.10%	28.05%	29.78%	34.20%	39.0%	42.5%	46.0%

(2) 付加価値業務

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
薬剤情報提供（外来患者）	74,682	73,352	74,896	74,401	73,522	71,629	64,620	56,695	50,010	48,660
薬剤管理指導（入院患者）	3,495	4,034	4,544	3,511	2,997	3,732	3,801	4,354	4,083	2,998
無菌製剤処理	1,770	1,581	1,393	1,407	1,798	3,053	4,290	4,351	2,996	3,372

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
注射セット(定期・臨時)	22,916	21,338	18,322	-	29,040	63,131	54,299	60,824	17,438	15,980
化学療法注射せん	703	688	1,343	-	1,371	1,280	1,465	1,248	931	947

(3) 診療材料消費・構成比率

※ 平成21年度より構成分類を変更

年度比較	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
	13.1	9.4	8.9	9.6	10.8	9.1	7.8	6.9	6.4
綿花製品	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2
リント・ガーゼ包帯関係	1.0	0.9	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0
絆創膏関係・褥瘡関係	0.9	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	1.1	0.2	0.4
ドレープ関係	1.0	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	0.8
ギブス材料関係	0.4	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4
手術キット製品	1.4	0.8	0.8	0.8	0.9	0.4	0.6	0.5	0.5
絆創膏関係・褥瘡関係（償還有）	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.8	0.6	0.8	0.4
その他・止血用	7.9	4.6	4.1	4.8	5.4	4.6	3.2	2.1	2.4
その他の診療科関連	15.2	20.1	19.5	19.9	18.3	12.6	12.9	12.2	12.6
眼内レンズ	5.1	6.3	6.2	6.6	7.8	3.3	4.5	4.4	3.0
内視鏡関連	6.9	9.0	8.0	8.9	7.2	5.1	4.5	3.0	2.3
フィルム・感光紙	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
組織代用布関連	2.0	2.5	2.2	2.7	2.4	1.9	2.1	3.0	1.7
人工心肺関連	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
消化器・泌尿器・気管ステント	1.2	2.3	3.1	1.7	0.8	2.2	1.7	1.6	2.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
循環器用・脳外科用	9.9	11.8	8.5	13.3	13.2	18.8	17.9	18.0	18.3
イントロデューサー	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6
造影・超音波・診断用カテーテル	0.7	0.6	0.6	0.8	0.6	1.4	1.7	1.7	1.6
治療用カテーテル	0.8	0.7	0.4	0.6	0.7	1.4	1.4	1.1	0.6
PTCAカテーテル	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.5	0.6
ペースメーカー・ICD（部品含む）	2.9	5.4	2.6	2.1	5.0	3.8	3.2	4.2	3.1
ガイドワイヤー（消化器含む）	2.6	2.8	3.2	5.4	3.9	7.9	6.6	5.3	5.5
PTCAガイドディングカテーテル	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5
血管内ステント	1.1	1.1	0.5	0.9	1.1	2.2	2.8	3.0	4.8
その他	1.1	0.6	0.8	1.0	1.2	1.3	1.4	1.0	1.1
注射器・注射針	3.4	3.3	3.2	3.5	3.8	1.0	3.2	3.2	3.3
ディスポ注射器	0.8	0.7	0.7	0.9	1.2	0.6	1.1	1.3	1.3
ディスポ注射針	0.5	0.5	0.6	0.7	0.5	0.9	0.7	0.6	0.6
留置針関係	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	0.2	0.9	0.8	0.8
生検用関係	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1
真空採血管関係	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.2	0.2	0.2	0.3
その他	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	4.1	0.2	0.2	0.1
透析・血液浄化	0.9	0.3	1.2	1.0	2.2	3.4	3.9	3.3	3.1
ダイアライザー・フィルター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
透析用回路	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
血液浄化関連	0.9	0.2	1.2	0.9	2.2	4.0	3.8	3.2	3.1
CAPD関連	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
透析用留置針	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
ビニール・チューブ・カテーテル類	17.7	16.5	16.4	16.8	17.4	17.5	17.9	16.9	15.7
人工血管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
人工弁	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手袋	2.5	2.3	2.1	2.1	2.4	1.9	2.0	0.7	1.7
ビニール・チューブ類（償還有）	4.3	4.4	5.1	5.6	5.0	6.0	6.4	6.8	6.6
ビニール・チューブ類	3.1	2.9	2.4	2.7	2.9	3.0	3.3	2.7	2.1
バルンカテーテル（泌尿器用）	1.4	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
ポリ・固形製品・バック類	2.5	1.8	1.6	1.8	2.1	2.5	2.3	2.1	1.7
その他	3.8	3.6	3.7	3.3	3.7	2.8	2.7	2.3	2.1
整形治療材料	19.4	18.4	21.7	16.7	16.3	15.8	16.8	17.3	21.2
骨ネジ	2.4	1.6	1.9	1.8	1.8	1.7	0.9	1.8	1.9
固定用具	0.3	0.8	0.9	0.2	0.0	0.2	0.1	0.8	0.1
プレート	1.3	1.0	2.0	1.7	1.3	0.7	0.6	0.9	1.7
髄内釘関連	3.2	4.3	4.2	4.3	3.6	3.2	5.1	3.6	4.7
鋼線・ワイヤー類	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0
人工骨頭・関節（部品含む）	10.8	8.5	10.9	7.4	8.7	9.2	9.3	9.2	10.9
脊椎関連	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	1.2
人工骨	0.3	0.4	0.2	0.7	0.6	0.3	0.2	0.6	0.5
その他	1.0	1.8	1.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
縫合針・縫合糸	3.7	4.3	3.6	4.1	4.3	3.8	4.0	4.5	3.3
縫合針・糸	2.1	2.4	1.9	2.2	2.3	1.9	2.3	2.3	1.5
自動吻合縫合器	0.5	1.7	1.6	1.7	1.9	1.7	1.7	2.0	1.6
その他	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
その他	16.8	15.8	17.2	17.3	13.8	15.1	15.7	17.0	16.0
酸素・窒素ガス類	2.6	2.5	2.6	2.9	3.1	3.9	3.0	5.0	6.9
切開関連	1.3	1.8	2.2	2.1	1.7	1.3	1.3	1.5	1.1
記録紙	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4
紙製品	0.5	0.4	0.5	0.6	0.9	0.3	0.2	0.2	0.2
投薬材料	2.0	1.8	1.9	1.9	1.4	1.2	1.3	1.2	1.6
歯科材料	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
検査関連・硝子・陶器製品	1.3	0.7	0.7	0.8	0.7	1.1	1.7	1.6	1.5
その他	8.5	8.2	8.8	8.6	5.7	6.8	6.3	7.7	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 主要薬品薬効別構成比率

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
神経系および感覚器官用医薬品	11.2	11.2	10.6	11.0	10.7	10.7	10.1	9.5	9.3
中枢神経系用薬	7.3	7.0	6.4	6.4	6.6	6.9	6.6	5.9	5.8
末梢神経系用薬	0.3	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4
感覚器官用薬	3.6	3.9	3.8	4.2	3.8	3.4	3.1	3.2	3.1
個々の器官系医薬品	33.0	32.5	31.7	34.1	35.1	32.5	20.2	20.4	21.8
循環器官用薬	13.3	12.4	11.7	12.6	13.2	12.7	12.5	12.7	13.9
呼吸器官用薬	1.5	1.5	1.4	1.3	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5
消化器官用薬	6.4	6.8	6.6	7.3	7.5	6.7	6.2	6.2	6.5
ホルモン剤	5.9	5.5	5.2	6.1	6.0	5.3	4.9	5.2	6.0
泌尿生殖器および肛門用薬	3.1	3.3	3.1	2.9	2.9	2.6	2.4	2.3	2.5
外皮用薬	2.8	3.0	3.7	3.8	4.0	3.8	3.5	3.3	3.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代謝性医薬品	25.1	25.6	23.2	23.6	24.8	24.0	23.9	22.4	20.5
ビタミン剤	1.6	1.6	1.6	1.6	1.9	1.8	1.6	1.7	1.9
滋養強壮変質剤	1.3	1.3	1.4	1.7	2.1	2.3	2.4	2.7	2.3
血液・体液用薬	8.6	9.5	8.4	8.7	8.9	8.4	9.0	7.8	7.3
人工透析用薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他代謝性医薬品	13.6	13.2	11.8	11.6	11.9	11.5	10.9	10.2	9.0
組織細胞機能用医薬品	14.4	15.1	14.1	13.6	11.9	12.4	12.6	12.8	13.7
その他の細胞賦活用薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
腫瘍用薬	12.2	12.8	11.7	10.9	8.8	9.4	9.7	9.7	10.3
アレルギー用薬	2.2	2.3	2.4	2.7	3.1	3.0	2.9	3.1	3.4
生薬および漢方処方に基づく医薬品	2.1	2.1	2.0	2.0	0.0	1.8	1.2	1.0	0.9
生薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
漢方製剤	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1	1.8	1.2	1.0	0.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病原生物に対する医薬品	8.4	9.5	12.3	7.6	8.6	9.6	11.3	12.8	11.4
抗生物質製剤	2.1	2.2	2.1	2.5	3.9	4.6	5.0	5.6	5.6
化学療法剤	4.9	5.4	8.8	3.2	2.4	2.6	2.5	2.8	3.2
生物学的製剤	1.4	1.9	1.4	1.9	2.3	2.4	3.8	4.4	2.6
治療を目的としない医薬品	-0.2	-3.3	-0.6	1.0	-1.2	2.2	2.8	2.9	3.6
調剤用薬	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
診断用薬	1.1	1.3	1.3	1.3	0.6	1.9	2.5	2.6	3.2
その他	-1.4	-4.7	-1.9	-0.4	-1.9	0.2	0.2	0.2	0.3
麻薬	0.6	0.6	0.6	0.9	0.9	0.7	0.6	0.9	0.7
アルカロイド系麻薬	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
非アルカロイド系麻薬	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.6	0.5
その他（試薬等）	5.5	6.5	6.1	6.2	6.2	6.3	6.6	6.5	6.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 年度別消費実績比較

単位：千円

	内服薬	注射薬	外用薬	計
平成 1 2 年度	279, 144	466, 009	60, 545	805, 698
平成 1 3 年度	262, 673	415, 779	46, 964	725, 416
平成 1 4 年度	250, 696	372, 594	51, 841	675, 131
平成 1 5 年度	250, 042	405, 423	51, 057	706, 522
平成 1 6 年度	289, 545	419, 953	66, 728	776, 226
平成 1 7 年度	336, 839	381, 626	72, 236	790, 701
平成 1 8 年度	387, 854	381, 613	79, 548	849, 015
平成 1 9 年度	427, 287	363, 614	81, 551	872, 452
平成 2 0 年度	463, 185	373, 633	84, 766	921, 584
平成 2 1 年度	504, 410	338, 688	90, 589	933, 687
平成 2 2 年度	614, 802	479, 334	115, 090	1, 209, 226
平成 2 3 年度	601, 247	407, 363	106, 579	1, 115, 189
平成 2 4 年度	678, 265	373, 854	118, 918	1, 171, 037
平成 2 5 年度	723, 630	318, 384	128, 436	1, 170, 450
平成 2 6 年度	736, 997	308, 890	129, 901	1, 175, 788
平成 2 7 年度	783, 519	263, 429	125, 458	1, 172, 406
平成 2 8 年度	747, 045	269, 325	116, 060	1, 132, 430
平成 2 9 年度	736, 419	296, 879	110, 429	1, 143, 727

■ 看護部

1. 平成 29 年度看護部目標と評価

1) 対象のニーズに応じた、看護ケアを実践する

具体的行動
①対象のニーズをとらえ対応する ②適切なケアを実践する ③チーム医療の要となり協働する
実践評価
患者急変時の対応力・技術向上 急変時 BLS 研修は対象者全員参加。各部署 ICLS 研修受講は着実に増えている。また告知無しの実地訓練を他部門に協力を得て実施。外来救急で CPA 搬送緊急時対応の OJT 実施を企画。病棟外来の応援機能強化。気管挿管の対応は麻酔科医師の協力を得て手術室で挿管介助を経験する研修企画。 ナースングスキル活用の見える化 部署に必要な看護技術の学習として年間を通じてナースングスキルで課題設定テストを実施、個人の取り組みが分かる一覧を作成した結果、昨年よりさらにナースングスキルの活用が増加。 課長係長合同ラウンド 課長係長の合同ラウンドはそれぞれの立場・経験による気づき視点を共有し業務改善・環境整備など有効であった。 ナースコールの対応強化 患者満足度調査でナースコール対応良い H28 年 50% H29 年 59% と上昇あり意識して継続的する必要がある。 災害発生時の対応強化 各病棟の車椅子・ストレッチャー・担架や消火器の設置場所案内を MAP に作成。アクションカードと共に新人や中途採用者のオリエンテーションに活用。 CST 発足 係長中心に発足し高齢者の排泄ケアのあり方、個別性を尊重した関わりと在宅への連携、継続支援など検討を始めた。高齢患者が多い当院にとっては排泄ケアの質向上は重要であり継続。

2) WLB を実現し働き続けられる職場づくり

具体的行動
①職務満足度を高める ②職場環境の改善に取り組む ③看護業務の効率化を図る
実践評価
多様な勤務形態・チーム編成 2F は業務見直し 2 チームに変更制に変更。21 時以降の時間外が 40%削減できた。5 月より一般病床全てにおいて均等割りと変則勤務の MIX を開始。長日勤が時間で終了できず負担を感じていたスタッフは変則にすることで働きやすくなった。 HC 室廊下の環境整備 4F・6F の HC 室廊下の配置物品を 2 病棟同じにした。外来夜勤者の病棟応援や患者急変時の効率性を考えた。不要物品整理で HC 廊下が広くなり入院時搬送などもしやすくなった。 有給取得目標 10 日以上 全体としては達成できたが、個人差があり均等に取得できるようにしたい。バースデー休暇は定着しほぼ 100%取得。 4 日以上の休暇も昨年度より増加。

3) 病院経営に参画する

具体的行動
①救急医療の連携を強化する ②経営の安定化に向けた管理を行う ③5S 活動を推進する
実践評価
適切な病床運用・機能の検討 分娩維持するには産科当直の必要があり分娩予定がない場合、救急外来や一般病床への応援機能など課題。夜間救急外来を夜勤体制にしたことで、仮眠後に受診患者がいない場合、一般床の応援ができるようになった。(月平均：150 時間程) 患者急変時など外来ベテラン看護師が病棟応援することもあり経験が少ないスタッフの支援となっている。管理当直課長が病棟の依頼に対応できるようになり、夜間看護管理者の機能が果たせる体制は定着した。 入院基本料 7：1 は勤務調整を行いながら維持できた。 夜勤専従は 3F・5F 病棟で行っていたがスタッフの体調など問題はなかった。 節電エコ活動 日勤業務終了後、使用しない PC の電源 OFF。外来は診療終了電気 PC エアコンなど OFF。朝の診察準備をこれまで当直者が 6 時前や早番で準備していた。早番をやめ 7 時過ぎに夜勤者が準備とした。それにより 7 月～9 月の 3 ヶ月で 65,029 円の削減、今後継続する。

2. 看護部研修

1) 新人看護師研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者		
					看護部	他部門	
4	1	8:30～12:20	厚生連新採用者入職オリエンテーション	厚生連	15		
	3～5	8:30～12:20	新入職員病院オリエンテーション研修	研修委員会	15		
	6	8:30～17:00	AM:看護部オリエンテーション PM:部署オリエンテーション	看護部	15	1	
	7	8:30～17:00	看護部オリエンテーション		14	4	
	10	8:30～12:20	安全確保の技術①②③ 医療安全対策		15	3	
		12:50～17:00	標準予防策・清潔操作・針刺し防止		15	3	
	11	8:30～12:20	フィジカルアセスメント		15	3	
		12:50～17:00	心電図モニター管理・12誘導装着		15	3	
	12	9:00～17:00	経管栄養食事援助・口腔ケア		15	6	
	13	9:00～17:00	安全確保の技術①②③ 医療安全対策		15		
		9:00～10:30	経口薬・外用薬・直腸内与薬※処方箋注射箋の見方		15		
		10:30～12:00	①排泄ケア TENA について		15	6	
		13:00～15:00	②排尿便・導尿・Ba カテーテル管理(浣腸摘便)		15		
		15:00～17:00	インスリン製剤の種類用法・血糖測定		15		
	14	9:00～17:00	●演習1. ベッドメイキング・洗髪・部分浴・寝衣交換		15		
	17	9:00～17:00	※配属部署/電子カルテの活用	医療情報室	6		
	18	9:00～17:00	※配属部署/電子カルテの活用		7		
	19	13:00～17:00	"電子カルテの活用・看護過程の展開 患者の情報収集の方法"	看護部	15		
			①看護記録・看護診断 ②必要度		15		
		20	9:00～17:00		褥瘡対策 ●演習2. 看護過程の展開/事例展開	15	3
	5	10	9:00～17:00		静脈血採血・点滴・皮下筋肉皮内注射・輸液ポンプ・シリンジ	15	
		11	9:00～17:00		抗菌剤・輸血準備観察 ●演習3. 看護実践研修	15	
6	1	13:00～15:00	看護部	15			
		15:00～17:00		安楽な体位・リラクゼーション・安楽促進ケア・死後のケア	15		
	29	13:00～17:00		BLS/救急カート管理/人工呼吸器取り扱い	14		
7	6	9:00～15:00		●フォローアップ研修 1.採血・血管確保技術・輸液ポンプ管理	14		
		15:00～17:00		●フォローアップ研修 2. 医療安全KYT	14		
8	3	15:00～17:00	●退院支援について	地域連携課	13		
9	7	15:00～17:00	●RUNRUN会	看護部	13		
11	2	15:00～17:00	●皮下・筋肉注射実践指導		14		
2	28	15:00～17:00	●事例を通して看護を振り返る(発表会) RUNRUN会"		12		
					合計	436	32

2) ラダーレベルⅠ研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者
5	25	10:00～12:00	看護過程	看護部	15
		13:00～15:00	医療安全		15
		15:00～17:00	メンバーシップ		15
6	6	13:00～15:00	感染対策		15
	15	13:00～15:00	コミュニケーション		15
10	26	14:00～16:00	看護倫理とその実践	外部講師	14
2	8	15:00～17:00	事例を通して看護倫理を考える(発表)	看護部	15
				合計	104

3) ラダーレベルⅡ研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者
8	18	10:00～12:00	看護倫理	看護部	11
		13:00～15:00	感染対策		11
		15:00～17:00	リーダーシップ		11
6	8	13:00～15:00	医療安全		11
		13:00～15:00	コミュニケーション		11
7	27	13:00～15:00	看護過程		11
		15:00～17:00	人材育成		11
9	6	14:00～16:00	看護研究具体的方法と文献検索	外部講師	10
				合計	87

4) ラダーレベルⅢ研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者
8	22	13:00～15:00	人材育成	看護部	8
		15:00～17:00	コーチング		8
11	8	14:00～16:00	研究結果のまとめ方とプレゼンテーション	外部講師	7
	24	13:00～17:00	クリティカルシンキング(本部)	外部講師	9
12	5	15:00～17:00	医療安全(発表)	看護部	5
1	25	14:00～17:00	看護管理		8
				合計	45

5) ラダーレベルⅣ研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者
9	27	13:00～17:00	クリティーク(ラダー1年目:本部)	外部講師	2
				合計	2

6) その他の研修

月	日	時間	研修名	講師	研修参加者
7	15	13:00～17:00	看護研究発表会	外部講師	93
7	29	17:30～18:30	看護クリパス学習会	小森医師	13
9	5	17:15～18:30	第1回 固定チーム学習会	看護部	35
	26	16:00～17:00	実施指導者チューター・フォローアップ研修会		14
1	18	16:00～17:00	実施指導者チューター・フォローアップ研修会 「まとめ課題報告」		10
3	5	17:15～18:30	第2回 固定チーム学習会		41
	14	16:00～17:30	課長・係長成果報告会		22
				合計	228

3. 学会・研究会発表

第66回日本農村医学会学術総会

平成29年10月5,6日 沖縄コンベンションセンター

「ワーク・ライフ・バランスを考慮した職場づくり」

田上 ホナミ

第45回厚生連看護師会研修会 看護研究発表会

平成29年11月12日 ウイルあいち

「内科病棟におけるスキンケアの現状把握」

戸嶋 千栄美

固定チームナーシング研究会 第18回中部地方会

平成29年11月11日 ウインクあいち

「多職種と取り組む退院調整」

野田 恵美

■ 医療安全管理部

1. 主な取り組み

- 1) 医療安全報告の分析（量的・質的）
- 2) 医療安全カンファレンスによる PDCA サイクル
- 3) リスクパトロールによる医療安全対策実施後の評価、潜在リスクの把握
- 4) 部署内 KYT の実施

2. 職員への教育研修の実施

- 1) 前期医療安全全体研修会：平成 29 年 6 月 21 日・6 月 30 日 参加者 267 人
当院における事例発表、医薬品安全使用講習、医用機器安全使用講習
- 2) 後期医療安全全体研修会：平成 30 年 1 月 22 日・1 月 31 日 参加者 210 人
職員全員で共有しよう医療安全
- 3) 看護部クリニカルラダー研修：計 5 回

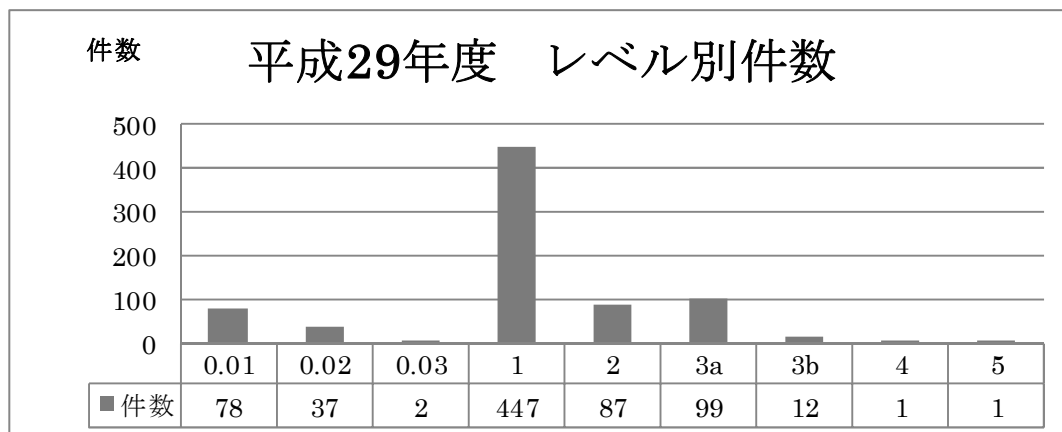
3. 医療安全に関するマニュアル等の改正

- 1) 医療安全管理指針
- 2) 医療安全対策マニュアル
- 3) 医療事故対応マニュアル

4. 医療安全報告書

- ・平成 29 年度の医療安全報告は 764 件であった。
- ・発生場面では、薬剤 224 件で最も多く、次いで転倒転落が 202 件であった。

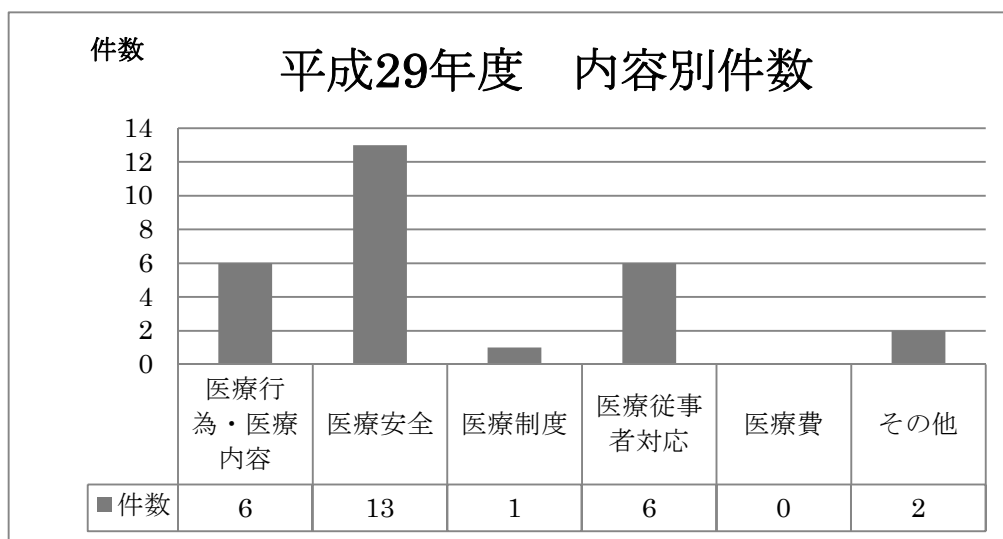
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
平成 29 年度	67	73	57	49	72	53	76	58	60	80	53	66	764
平成 28 年度	67	79	64	66	60	58	71	65	73	79	50	67	799



5. 苦情、相談報告書

- ・平成 29 年度の苦情相談件数は 28 件であった。その内、医療安全管理者による面談は 16 件、電話対応は 1 件であった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
平成 29 年度	3	5	3	1	1	3	2	1	3	5	0	1	28
平成 28 年度	2	3	6	3	8	2	2	4	2	7	2	2	43



6. 重大事故、紛争

- ・損害賠償請求事案 0 件
- ・医療事故調査制度の対象となる報告はなし

■ 感染制御部

主な取り組み

- 1) 関係機関・地域の医療機関との連携の強化
 - 知多半島医療圏感染対策連携会議へ参加
 - 第1回 平成29年5月17日
 - 第2回 平成29年8月16日
 - 第3回 平成29年11月15日
 - 第4回 平成30年2月21日
 - 南知多病院と連携カンファレンスの実施
 - 第1回：平成29年12月1日 場所：みどりの風南知多病院
加算要件の確認
研修会、ラウンド記録、職業感染対策など
院内ラウンド
 - 第2回：平成29年12月22日 場所：知多厚生病院
感染性胃腸炎・インフルエンザについて
院内ラウンド
 - 相互ラウンドの実施
 - 平成29年11月9日 公立西知多総合病院をラウンド
 - 平成29年11月16日 公立西知多総合病院 ICT が当院をラウンド
 - 新型インフルエンザ等模擬患者の引き渡し訓練の実施
 - 平成29年12月15日 中部空港検疫所との合同訓練
- 2) インフルエンザ・感染性胃腸炎予防策の実施
 - 平成29年11月～3月末日 次亜塩素酸清掃、職員トイレに便座消毒薬を設置
 - 平成29年12月22日から 面会制限のポスターの掲示を開始
- 3) 研修会開催
 - 平成29年4月19日、25日 テーマ「インフルエンザについて、感染管理システムについて」参加者257名（参加率63%）
 - 平成29年12月21日 テーマ「公立西知多総合病院の感染対策の取り組みから」参加者160名（参加率47%）
- 4) 患者や市民への啓発活動
 - 平成29年4月19日 日本福祉大学看護学部で感染症学を講義
 - 平成29年6月9日 大地の丘で感染症研修会を実施
 - 平成29年11月21日 大地の丘で感染症研修会を実施
 - 平成29年11月16日 生活改善センターのミニレクチャー
 - 平成30年1月26日 ひだまりの郷で感染症研修会を実施
- 5) 感染管理機能の強化
 - ・ 感染管理支援システムのラウンドチェックシートを活用した環境ラウンドの実施：毎週金曜日
 - ・ 日本看護協会 DiNQL に参画し血流感染サーベランスの実施

- ・ JANIS の SSI、細菌検査部門に参画
 - ・ 手指消毒各サーベランスの実施
- 6) 感染防止物品の見直し
- ・ 単回使用医療機器の適正使用

◎学会発表等

- 平成 29 年 10 月 5 日 第 66 回日本農村医学会学術総会
テーマ「新型インフルエンザに備え受け入れ訓練をおこなって」 仮屋小百合

■ 事務部（企画課）

1. 主な取り組み

1) 次期診療報酬改定への対応に向けた病床再編の実施

- ・平成 30 年度の診療報酬改定により 7 対 1 看護基準の医療看護必要度が厳格化されることが予想され、7 対 1 看護基準の維持に向けて病床運営管理委員会にて病床再編（地域包括ケア病棟の開設）を視野に入れ検討を行った。
- ・平成 30 年 2 月より回復期リハビリテーション病棟を地域包括ケア病棟に転換した。

2) 第十五次中期計画・次年度事業計画の策定

- ・第十五次中期計画（3 ヶ年）策定に向け各部門とヒアリングを行い、情報収集に努めた。また、診療科の収益については各診療科代表部長と上半期実績をもとにヒアリングを行い、次年度収支計画を作成した。

3) 公的医療機関等 2025 プランの策定

- ・2025 年の当院の当該地域における医療提供体制等のあるべき姿について、人口動向や地域保健医療計画などを基に「公的医療機関等 2025 プラン」を平成 29 年 12 月に策定した。

4) 人間ドック健診施設機能評価受審

- ・平成 28 年度より健康管理支援センターと協力し、人間ドック健診施設機能評価受審に向け準備を進め、平成 29 年 4 月に受審、同年 7 月に認定施設となった。

5) 経営改善への取り組み

- ・今年度より業務検討委員会から経営改善委員会へと名称を変更し、これまで実施してきた業務の効率化・合理化だけでなく、「経営改善」を意識して増収案、コスト削減案を広く職員より意見集約し、多くの案を実行に移した。こうした取り組みを通じて数値として現れる結果以外にも職員に対してコスト意識の醸成という効果があった。
- ・今年度も「業務改善報告会」を開催し、各部署の 1 年間の業務の効率化やコスト削減への取り組みに対する活動の成果を報告した。

6) 増加する認知症患者への対応

- ・認知症相談外来（メモリークリニック）を平成 29 年 4 月より開設した。（担当医の退職により平成 29 年 9 月末にて終了）
- ・今年度より DST 委員会を立ち上げ、認知症サポートチームの活動の充実を図り、また委員会が中心となり認知症ケアなどに関する研修会を開催するなど、職員への支援・教育を行った。

7) 産業まつりへの参加

- ・美浜町産業まつりはもとより、平成 26 年度より JA 健康推進活動の一環として参加した武豊町産業まつりへ継続し参加した。
- ・美浜町・武豊町産業まつりでは骨密度測定、血糖測定、健康相談などを催し、地

域住民の健康への意識醸成を図った。

8) その他

- ・広報委員会

病院広報誌「知ったより」を年4回、院内広報誌の「ちっタイムズ」について新入職員を紹介する特別号を含め年3回発刊した。また、平成28年度年報を発刊した。

- ・経営管理

月次ごとに収支分析を行い、運営会議などを通じて職員へ経営状況について情報発信した。

■ 事務部（医事課）

1. 主な取り組み

1) 査定・返戻件数減少への取り組み

- ・入院担当者全員と外来担当者の代表にて、全ての返戻・査定理由を洗い出し情報を共有し対策を提案する取り組みを1年間継続した。お互い任せきりにならず協力し合うことで返戻件数、査定件数の減少に努めた。
- ・アクセスやべてらん君でのチェック方法を見直し、システムチェックを強化した。

2) 診療報酬改定への対応

- ・診療報酬改定説明会へ参加し情報収集を行った。そこから得た情報より当院に関連する新規算定項目を洗い出し、施設基準、算定方法などをまとめた。また他部署との調整を行い、当院に合った運用の構築を提案した。算定漏れが無いように医事課内での勉強会や説明会を開催し、診療報酬改定に備えた。また、全体への周知として全職員向けの診療報酬改定説明会を行った。

3) 案内票の見直し

- ・様々な部署が係わる案内票であるが運用が周知徹底されていなく、各部署の取り決めがあるなど基本となるマニュアルも存在していない現状があった。そこで各部署へアンケートを実施し、アンケートに上がった意見を取り入れ、使いやすい案内票へと見直しを行った。また印刷業者の選定を行い経費削減へと繋げた。

2. 研究会等その他発表

【発表】

平成29年9月16日 愛知県 ナディアパーク

厚生連事務会総会・研修会

演題名 「知多厚生病院と美浜町・南知多町との連携」

～地域包括ケアシステムへの取り組み～

発表者 石黒 英義

■ 事務部（総務課）

1. 主な取り組み

- 1) 各部署とのヒアリング実施により、各部署、各職種における適正な人員を把握するとともに、当該人員に基づき要員計画（中期計画並びに長期計画）を作成した。
- 2) 要員不足が慢性化する職種については、積極的に学校訪問等を行い要員確保に繋げた。
- 3) 職員の安全衛生管理を充実（健診及びストレスチェック受診率の向上、超勤の削減等）させ、より働きやすい環境づくりに努めた。
- 4) 患者満足度の向上を図るため、外来及び入院患者アンケートを実施し、院内環境の改善に努めた。
- 5) 保育所について、保護者へのアンケート結果や諸監査での指導事項等を踏まえ、様々な業務改善に取り組むとともに、各種研修会等へ参加することで、保育の質のより一層の向上に努めた。

■ 事務部（施設課）

1. 主な取り組み

1) 災害拠点体制強化

毎年実施している災害訓練では、美浜町、南知多町と隔年で訓練を実施してきたが、両町に働きかけを行ない美浜町、南知多町、半田保健所、知多南部消防組合消防本部と地域災害拠点病院災害連携訓練を実施した。災害訓練は過去の反省より、詳細な訓練シナリオを廃止し簡易なシナリオに変更しアクションカードを導入して実施した。

訓練の前には、各々の役割を災害時の動きを班ごとに理解するために、机上訓練を外部講師による訓練ではなく、施設課で企画し開催した。

災害訓練だけではなく、災害医療派遣チーム（DMAT）隊員の体制強化を図るため、愛知県医務課と協議し、日本 DMAT 隊員（医師 1 名）の増員を図ることができた。（当院の DMAT 隊員：医師 2 名、看護師 2 名、ロジスティック 3 名）

2) 費用削減

費用削減を前提に清掃委託業者の変更を検討し、平成 30 年 4 月より病棟清掃委託業者を看護部等の他部署の協力を得て変更することとなった。

また、感染性廃棄物容器を各部署の協力を得て、安価な容量サイズに変更するよう働きかけを行ない、費用削減に繋げた。

3) 施設整備計画

平成 29 年度固定資産取得計画に基づき、メーカー間の価格競争を働かす手法を模索するなど、厳しい価格交渉を行ない、21 品目を予算内にて取得した。

新経営制度に基づき、限られた予算の中で効果的な投資を検討し、第十五次中期計画（施設整備計画）および長期計画を作成した。

■ 医療情報部

1. 主な取り組み

1) 医療情報システム安定稼働の維持

医療情報システム更新が平成 29 年 3 月に行われたため、意見・要望等を NEC との連携を密にとることにより解決に努めた。

2) 新規導入した DWH システムの活用

各部署より抽出依頼のあったデータを DWH システムで作成することで、DWH システムの認知度・利用頻度向上に努めた。

3) サーバ監視のサービス体制強化

サーバの異常監視連絡サービスについて業者と相談を行い、監視体制の強化を行った。

4) システム障害訓練の実施・障害時マニュアルの見直し

システム障害訓練を実施し、アンケートでいただいた意見を検討し、障害時マニュアルの改定を行った。

5) ID-LINK の利用拡大

新たな連携先として南知多病院へ訪問し、説明・インストールを行い、7 月に連携を開始した。

2. 主な機能追加

項 目	機 能 詳 細	月
ノート PC 予約	ノート PC の予約を全職員が行えるよう変更した。	9 月
主治医別入院患者一覧表	主治医別入院患者一覧表を印刷できるようシステムを作成し電子カルテメニューへ追加した。	11 月
らくらく看護師さんへの権限追加	らくらく看護師さんへのログイン権限に検査科を追加した。	12 月

■ 保健事業部

1. 主な取り組み

1) 健康管理活動

人間ドック	月～金・土（第1・3）
生活習慣病予防検診	月～金・土（第1・3）
特定健診	月～金・土（第1・3）
各種検診	月～金・土（第1・3）
乳がん・子宮がん 集団検診	5月～ 午前枠実施開始
	8月～ 午前、午後枠開始 2月まで
特定保健指導	月～金・土（第1・3）
胃がん検診（南知多町個別検診）	8月～12月 月～金・土（第1・3）

2) 地域健康推進活動

・JA メンタルヘルス研修講師派遣

11月2日（水）午前、午後

対象：支店長級、中堅職員

保健師1名、産業看護師1名

テーマ：職員のストレス対策など

・JA 共済健康管理集団保養活動派遣

医師 丹村保健事業部長 7回

看護師又は保健師同行

5月9日、6月27日、9月12日、10月31日

12月19日、平成30年1月23日、2月20日

・美浜産業祭り出展（JA あいち知多美浜事業部 支援事業）3名参加協力

美浜町産業まつり 【平成29年11月12日（日）】

- ・骨密度測定 1台 （121名／日）
- ・血糖測定 （135名／日）
- ・医師による健康相談（20名／日）
- ・栄養士による生活習慣相談 （34名／日）
- ・認知症チェック（80名／日）
- ・座位ステッピングテスト（名古屋市立大学病院学生）（47名／日）
- ・乳腺触診体験 、パネル展示「乳がんについて」

・武豊町産業祭り 【平成 29 年 11 月 11（土）、12 日（日）】

- ・骨密度測定（354 名／2 日）
- ・血糖測定（299 名／2 日）
- ・医師による健康相談 医師（86 名／2 日）
- ・眼圧測定（103 名／1 日）
- ・栄養士による生活習慣病相談（49 名／1 日）
- ・乳がん触診体験、パネル展示「乳がんについて」

2. 受診者数と収入

単位：人・千円

	受診者数（通計）			収入（通計）		
	平成 29 年度	平成 28 年度	対比	平成 29 年度	平成 28 年度	対比
JA 関連	2,156	2,409	89%	28,543	29,943	95%
協会健保	793	690	115%	13,772	11,521	120%
市町村	1,083	683	159%	10,804	8,251	131%
その他 （企業・個人等）	3,563	3,306	108%	34,407	30,151	114%
予防接種	527	737	72%	2,306	3,136	74%
総合計	8,122	7,825	104%	89,834	83,005	108%

■ 地域医療福祉連携部

1. 概要

平成 26 年 4 月に地域医療部門（病診連携室・医療福祉相談室）と老人福祉事業部門（居宅介護支援事業所・南部知多訪問看護ステーション）が統合され、地域医療福祉連携部（地域連携課・介護管理課・医療福祉相談課・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション）となった。

2. 主な取り組み

- 1) 副院長・地域医療福祉連携部長・医療情報部長と美浜町・南知多町・武豊町の医療機関と施設に延べ 16 件（医療機関 10 箇所、施設 1 箇所）の訪問を行い、連携強化に努めた。
- 2) 紹介患者の報告書を早期に返書することの継続と、内科から外科へ転科した際の報告書作成への取り組みで開業医との連携強化を図った。
- 3) 病棟配置 MSW による退院困難患者抽出の仕組みの運用を定着した。
- 4) 病棟配置 MSW と退院調整担当者が各病棟の退院検討会に参加し、病床運営に貢献した。
- 5) 丁寧な相談支援により、患者家族の不安が最小限となるような転棟・退院支援に努めた。
- 6) 関係職種とのカンファレンスによりケース、在宅療養へのシームレスな連携を図った。
- 7) 総合相談窓口担当者を充足し、総合相談窓口体制を充実した。
- 8) ケアマネジャー向けの医療講座を企画し、年 3 回開催した。
 - ・ 第 1 回：平成 29 年 6 月 23 日（金）13 時 30 分～15 時・・・講義と実技
テーマ：『フットケア ～巻き爪・水虫対策～』
講師：福永絵美子 参加者：28 名
 - ・ 第 2 回：平成 29 年 10 月 27 日（金）13 時 30 分～15 時・・・講義とグループワーク
テーマ：『地域で取り組む意思決定支援（ACP）
～病床機能による入院期間を踏まえて～』
講師：藤田牧子 参加者：45 名
 - ・ 第 3 回：平成 30 年 2 月 23 日（金）13 時 30 分～15 時・・・講義
テーマ：『知多厚生病院の地域包括ケア病棟のご利用方法について』
グループワーク：『入退院時の連携でモヤッとしたケース』
講師：榊原慎二 参加者：38 名
- 9) 住民教育を目的に住民公開講座を 2 回開催した。
 - ・ 第 10 回 平成 29 年 7 月 1 日（土）14 時～15 時
テーマ：「アルコールと肝疾患」
講師：高橋佳嗣 参加者：31 名
 - ・ 第 11 回 平成 30 年 3 月 17 日（土）14 時～15 時
テーマ：「古典落語から、日本人の死生観を考える」
講師：今井宗憲 参加者：27 件
- 10) 美浜町と南知多町の地域包括ケアシステム推進協議会に参加し、地域包括ケアシステム構築に必要な連携課題について検討した。

3. 地域連携課

1) 職員配置

- ・事務 3 名（うち 1 名兼務）、看護師 2 名(兼務)

2) 主な業務内容

- ・紹介患者の診察・各種検査依頼の予約調整
- ・報告書・診療情報提供書の管理
- ・医療機関・事業所からの各種照会の管理
- ・一般床への転院相談

4. 介護管理課

1) 職員配置

- ・事務 1 名（兼務）

2) 主な業務内容

- ・介護事業所の請求業務
- ・介護事業所の届出管理

5. 医療福祉相談課

1) 職員配置(ソーシャルワーカー)

- ・社会福祉士 4 月～6 月・・・7 名
7 月～3 月・・・6 名

2) 平成 29 年度 患者サポート体制相談窓口 相談件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
H29	8	7	12	5	7	4	4	3	6	3	6	15	80
H28	9	8	9	7	6	9	4	11	4	11	7	8	88

3) 相談支援延べ件数（退院支援カンファレンス含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
H29	956	959	943	794	913	835	855	874	682	823	789	774	10,197
H28	658	924	1,144	997	1,163	1,080	1,058	1,043	985	887	963	1,073	12,275

4) 退院支援加算算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	27	40	43	26	39	28	40	44	31	40	39	51	448
H28	15	11	14	20	27	30	33	30	44	17	26	45	312

5) 介護支援連携指導料算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H29	32	20	23	18	30	34	22	29	21	37	25	29	320
H28	23	13	29	26	21	18	25	31	22	25	28	31	292

6) 国土交通省短期入院利用人数

・実人数：1名（延べ人数：5名）

7) 実習生・学生受け入れ

内容	大学・学年・人数	日程
病院見学・座学	愛知県 MSW 協会 大学生 5名	平成 29 年 9 月 16 日
医療福祉実習	日本福祉大学 社会福祉学部 4 年生 1 名	平成 29 年 8 月 17 日 ～8 月 31 日
見学実習	愛知淑徳大学 福祉貢献学部 4 年生 1 名	平成 29 年 6 月 19 日
病院見学・座学	日本福祉大学 フィールドワーク演習 2 年生 5 名	平成 29 年 6 月 22 日

8) 会義・出張等の件数

会議・出張など	件数
委員会	50
院内会議・ミーティング	90
退院検討会（一般床・回復期・療養病床）	230
診療科・リハビリ・ケアプランカンファレンス	91
総合相談カンファレンス	34
ソーシャルワーカーミーティング	44
回復期病棟転入判定・地域包括ケア病棟受入れ前カンファレンス	70
療養病床入退所判定会	39
医療機関・福祉施設 訪問	5
院外会議（知多半島病床運営会・知多半島の ACP/EOLD を推進する会 等）	32
院内・院外研修会	51

6. 知多厚生病院介護保険センター（居宅介護支援事業所）

1) 職員配置(介護支援専門員)

平成 29 年 4 月～12 月まで

看護師 3 名：主任介護支援専門員 2 名・訪問看護師と兼務 1 名

社会福祉士 1 名：管理者および主任介護支援専門員

平成 30 年 1 月～3 月

看護師 3 名：主任介護支援専門員 2 名(うち 1 名管理者と兼務)・訪問看護師と兼務 1 名

社会福祉士 1 名：ソーシャルワーカーと兼務

※平成 30 年 1 月より人員基準を満たさなくなったため、特定事業所加算を取り下げ

2) ケアプラン作成件数（予防含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
H29	114	114	115	114	112	110	110	109	110	106	103	102	1,319
H28	108	110	112	116	115	122	123	119	116	115	113	113	1,382

3) 一人当たり担当件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
H29	38.0	38.0	38.3	38.0	37.3	36.6	36.3	36.3	36.7	35.3	34.3	34.0	36.6
H28	32.0	32.6	33.2	34.4	34.1	36.1	36.4	36.4	35.5	35.2	34.8	34.2	34.3

4) 訪問調査件数（美浜町委託事業）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
H29	5	10	8	6	7	0	2	0	0	0	0	0	38
H28	1	4	4	3	3	4	2	5	0	0	5	8	39

7. 訪問看護ステーション

1) 職員配置

看護師 常勤：6 名 パート：3 名 （常勤換算：7 名）

理学療法士 4 月～12 月・・・専従 1 名、兼務 2 名

1 月～3 月・・・専従 1 名、兼務 1 名

作業療法士 4 月～12 月・・・兼務 1 名

1 月～3 月・・・兼務 2 名

事務 1 名

8. 病診連携紹介実績

単位:件

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	合計
美浜町	榑原医院	7	1		1						2	11
	(医)辻医院	3										3
	新美医院	1			1	7				47	1	57
	(医)浜田整形外科・内科クリニック	59	1	11	22	24	9	6	4	3	21	160
	前田医院	71		5	14	24	3	1	2	3	1	124
	(医)美浜クリニック	101		2	5	5	1	3	1		1	119
	渡辺病院	12		2	9	2	3	6	2	3	4	43
	さかい接骨院				3							3
	にわ接骨院				4							4
	かわむら歯科	2				1						3
	つづきファミリア歯科										1	1
	ときしグリーン歯科	7				1						8
南知多町	(医)上床医院	22	1	2	1	5	1			1	1	34
	大岩医院<内海>	27			2	4				1		34
	(医)大岩医院<豊浜>	59		14	8	13	9	3	1	1	5	113
	かっぱのお家クリニック	5				3						8
	篠島診療所	15		1	1	3	1	1				22
	白井医院	22		2	1	14	1				2	42
	夏目医院	6		2	2	2						12
	日間賀島診療所	5			1	2						8
	水野医院	1										1
	みどりの風 南知多病院	64	2	23	27	10	59	13		3	10	211
	大地の丘	18									1	19
	特別養護老人ホーム あい寿の丘	12		1								13
	特別養護老人ホーム ひだまり	5										5
	日間賀島接骨院	3		2					1		1	7
	柳接骨院				5							5
	アルファクリニック歯科	1							1			2
	竹内歯科医院										3	3
	富歯科医院	1									2	3
武豊町	旭硝子愛知工場 健康管理センター	1										1
	石川医院	9	1	2		1					1	14
	石川眼科									5		5
	石川病院	1		1	2	3	1	1				9
	奥村医院	1										1
	おどり内科	1										1
	くめクリニック	1										1
	(医)榑原整形外科	2										2
	じこう医院	7		1		1					2	11
	耳鼻咽喉科武豊醫院					1					7	8
	杉石病院	2			1	2	1	2			2	10
	すこやかクリニック	5			3						1	9

8. 病診連携紹介実績

単位:件

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	合計
武豊町	ちゅうや整形外科				4							4
	内科・外科 渡辺医院	3		1								4
	なかしまキッズクリニック		1									1
	なしの木眼科									1		1
	毛受医院	2									1	3
	よしかねクリニック	1		2								3
	わたなべ小児科				1		1					2
	介護老人保健施設 榊原	7		2	4	4	4		1		1	23
半田市	あいクリニック	1		1		1						3
	クリニック・パパ		1									1
	斎藤眼科					2						2
	酒井内科・皮フ科	2					1					3
	耳鼻咽喉科 ニツ坂クリニック										2	2
	たけうち耳鼻咽喉科										3	3
	知多リハビリテーション病院					1						1
	中野整形外科				1							1
	新美眼科医院									1		1
	花井クリニック	2		1				1				4
	春田内科	8						2				10
	半田市立半田病院	58	2	4	15	15		11	4	7	10	126
	半田眼科クリニック					10	1					11
	藤田病院								2			2
	ふたばクリニック		1	1					1			3
	結生クリニック	1										1
	介護老人保健施設 結生					1						1
	上記以外	3			2	2			1		1	9
常滑市	伊紀医院									1		1
	内田眼科										1	1
	さかきばら整形外科クリニック				2							2
	瀧田医院	1									1	2
	瀧田医院分院										1	1
	常滑いきいきクリニック	2				1						3
	常滑市民病院	4		10	6	2		2				24
	とこなめ整形外科				1							1
	西知多こころのクリニック		1									1
	ひだ小児科医院										2	2
	上記以外	1							1			2
阿久比町	眼科富田クリニック									6		6
	竹内整形外科・内科クリニック				1	1						2
	ちた整形外科クリニック				4							4
	メディコ阿久比	4			2	1			1		1	9
	上記以外	1			1				1			3
東浦町	あいち健康の森健康科学総合センター				1							1

8. 病診連携紹介実績

単位:件

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	合計
知多市	おのうち皮フ科		1				1					2
	ナガイセントラル歯科	5										5
	上記以外	1						1	1			3
東海市	公立西知多総合病院	6		1		2	1	1				11
	小嶋病院				3							3
	内科外科 日比野クリニック			1								1
大府市	あいち小児保健医療総合センター		4		1						1	6
	国立長寿医療研究センター	6			2	3	1			1	1	14
	上記以外	1			1	1			1			4
名古屋市中区	愛知県がんセンター中央病院	5		1	3			1			3	13
	アイ・レディスクリニック						2		2			4
	大隈病院					2						2
	大菅病院					1	1					2
	金山ペインクリニック	1					1					2
	金山レディースクリニック								3			3
	だいどうクリニック	1	1		1	1						4
	大同病院	1			1							2
	中京病院	1			2	1						4
	中部ろうさい病院				1			1				2
	トラストクリニック	1				1						2
	名古屋医療センター				1	1					1	3
	名古屋記念病院	4			4							8
	名古屋市立大学病院	36	1	3	11	2	15	2	4	4	1	79
	名古屋市立東部医療センター	2										2
	名古屋第一赤十字病院	1	2						1			4
	名古屋大学医学部附属病院	2			1		1			1		5
	名古屋第二赤十字病院	1			2	1						4
	名古屋ハートセンター	2										2
	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院	3			1							4
	レディースクリニック セントソフィア								2			2
	上記以外	10		5	6	1		2	1	3	2	30
その他の県内	愛知医科大学病院				1			1		1		3
	旭労災病院	2										2
	安城更生病院	2			1	1						4
	岡崎市民病院	2										2
	海南病院	2			5		2			2		11
	蒲郡市民病院	1				1				1		3
	刈谷豊田総合病院	5			1	1	1					8
	トヨタ自動車 衣浦健康管理室	2										2
	豊田厚生病院	2										2
	豊橋ハートセンター	3										3
	藤田保健衛生大学病院	13		2	2	2		1	1	7	1	29
	上記以外	12	2	2		2	1		3			22
	愛知県外	10	1	7	5	8			10	1	3	45
	合 計	806	24	115	214	201	123	62	53	104	106	1,808

9. 平成29年度 訪問看護ステーション訪問実績

1) 月別利用状況

1) 月別利用状況 (介護予防を含む)		平成29年												平成30年			合計	月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
医療	実人数	19	16	18	15	15	16	17	15	17	16	15	15	194	16.2			
	延件数	102	102	119	99	84	91	97	95	118	88	82	111	1,188	99.0			
	平均訪問回数	5.4	6.4	6.6	6.6	5.6	5.7	5.7	6.3	6.9	5.5	5.5	7.4	6.1	6.1			
介護	実人数	82	80	86	84	85	83	82	83	91	86	89	85	1,016	84.7			
	延件数	543	532	583	551	566	518	553	542	587	543	525	553	6,596	549.7			
	平均訪問回数	6.6	6.7	6.8	6.6	6.7	6.2	6.7	6.5	6.5	6.3	5.9	6.5	6.5	6.5			
総人数		101	96	104	99	100	99	99	98	108	102	104	100	1,210	100.8			
総件数		645	634	702	650	650	609	650	637	705	631	607	664	7,784	648.7			

		平成29年												平成30年			合計	月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
新規	自宅	医療	3	2	1	0	2	2	1	0	1	1	1	15	1.3			
		介護	1	3	3	2	1	3	1	1	3	3	2	26	2.2			
	医療機関	医療	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	2	7	0.6		
		介護	3	0	4	2	2	1	1	2	3	1	2	1	22	1.8		
	老人保健施設	医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
		介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
終了	軽快	合計	8	5	8	4	6	6	3	4	8	5	7	6	70	5.8		
		医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	死亡	介護	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	2	8	0.7		
		自宅	2	1	4	0	1	0	1	0	0	0	1	1	11	0.9		
	施設	医療施設	1	4	2	0	1	3	1	2	4	4	2	1	25	2.1		
		施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	入院・入所		12	8	6	9	13	16	10	2	9	5	10	9	109	9.1		
		合計	15	14	13	10	16	19	12	4	13	10	14	13	153	12.8		

2) 住民登録地別利用者数

2) 住民登録地別利用者数 (介護予防を含む)		平成29年												平成30年			合計	月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
医療	南知多町	8	6	7	4	7	7	8	8	9	8	8	7	87	7.3			
	美浜町	10	9	11	11	8	9	9	7	8	8	7	8	105	8.8			
	武豊町	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2			
	合 計	19	16	18	15	15	16	17	15	17	16	15	15	194	16.2			
介護	南知多町	44	40	42	39	40	39	37	36	40	33	38	39	467	38.9			
	美浜町	35	37	41	43	42	41	43	45	49	51	49	44	520	43.3			
	武豊町	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	0.5			
	常滑市	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	23	1.9			
合 計		82	80	86	84	85	83	82	83	91	86	89	85	1,016	84.7			
総人数		101	96	104	99	100	99	99	98	108	102	104	100	1,210	100.8			

各委員会活動

篠島診療所運営委員会	90
手術部運営委員会	91
放射線運営委員会	94
救急・診療委員会	95
健康管理支援センター運営委員会	97
臨床検査技術科運営委員会	99
栄養管理委員会	100
保育所運営委員会	101
生活改善支援センター運営委員会	102
母子支援センター運営委員会	103
地域医療福祉連携センター運営委員会	104
リハビリテーション科運営委員会	106
資材委員会	107
治験審査委員会	110
購買委員会	111
医療安全対策委員会	112
安全衛生委員会	116
防災対策委員会	117
院内感染対策委員会	118
廃棄物管理委員会	121
輸血療法委員会	122
医療ガス安全管理委員会	124
広報委員会	125

教育研修委員会	127
臨床研修管理委員会	128
臨床研修委員会	129
患者サービス向上委員会	130
医療情報システム委員会	131
コンプライアンス委員会	134
在宅療養支援委員会	135
人事考課制度推進委員会	137
クリニカルパス委員会	138
栄養・スキンケア委員会	140
糖尿病教育委員会	146
肝臓病教育委員会	149
摂食・嚥下障害委員会	151
緩和ケア委員会	152
化学療法委員会	154
アグリス・ヘルスネット検討委員会	155
虐待対策委員会	156
医師業務軽減検討委員会	157
保険診療委員会	159
D P C コーディング部会	163
D S T 委員会	164
経営改善委員会	166
病床運営管理委員会	168

■ 篠島診療所運営委員会

1. 目的

篠島診療所の運営に関する事項について協議し、離島における病院附属診療所としての円滑な運営を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年8月14日	・篠島診療所収支状況について ・篠島診療所の診療体制について
2	平成30年3月5日	・篠島診療所収支状況について ・平成30年度へき地医療研修について ・平成30年4月以降の篠島診療所の体制について

3. 平成29年度の活動要約

篠島診療所の円滑な運営を目指し、収支状況や運営状況を確認するとともに、平成30年4月以降の診療体制について検討した。

■ 手術部運営委員会

1. 目的

- 1) 手術患者の安全・安心な管理ができる
- 2) 手術部・滅菌センターの安全・安心な運営ができる

2. 平成29年度の活動内容

＊毎月第1金曜日 16：30～開催

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 1 日	・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・用紙の変更・麻酔科医師業務内容の報告 ・手術室問診について
2	平成 29 年 5 月 8 日 (文書開催)	・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告
3	平成 29 年 6 月 2 日	・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・平成 29 年 4 月手術点数と麻酔点数について ・医療安全報告 ・手術室看護目標確認 ・手術時における誤刺について ・手術問診について ・マーキングについて ・ヨード禁患者の消毒について ・遊休在庫について
4	平成 29 年 7 月 7 日	・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・手術時における誤刺時の感染症検査について ・手術室問診について ・マーキングについて ・平成 30 年度固定資産購入について ・手術安全チェックリスト強化月間内容確認
5	平成 29 年 8 月 4 日	・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・マーキングについて

6	平成 29 年 9 月 1 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・長期間使用されていない医療機器について
7	平成 29 年 10 月 6 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・自己血の運用について ・再滅菌物について ・手術時における中心静脈ルート確保の同意書について ・麻酔科医呼び出しについて
8	平成 29 年 11 月 2 日 (文書開催)	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告
9	平成 29 年 12 月 1 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・KYT 実施について ・麻酔科医呼び出しについて ・ラテックスフリー対応について
10	平成 30 年 1 月 5 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・ガーゼカウントについて ・術前の ABR 製剤中止について ・麻酔科診察用紙の記入期限について
11	平成 30 年 2 月 2 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・ガーゼカウントについて ・術前の ABR 製剤中止について ・単回使用物品について ・手術用手袋について ・ヨード禁患者の消毒薬について

12	平成 30 年 3 月 2 日	・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告 ・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告 ・医療安全報告 ・長期使用されていない医療機器処分について ・平成 31 年度固定資産について ・麻薬処方箋の記入について ・ヨード禁患者の消毒薬（オラネジン）について ・診療報酬改定に伴う手術手技（術式）について
----	-----------------	--

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・麻酔科に関わること
- ・手術器械・材料の検討
- ・単回使用の医療材料について
- ・遊休在庫の定数管理について
- ・リスクレポートの共有、対策について
- ・手術時の誤刺について
- ・手術安全チェックリスト強化月間
- ・マーキングについて

■ 放射線運営委員会

1. 目的

- ・ 病院長の諮問に答えて答申を行なう。
- ・ 病院長に対し放射線部門のあり方に対し提言を行なう。
- ・ 放射線部門に関わる検査、診療及び、放射線施設・医療機器に関する各種事項を協議する事で、適正な運営を図る事を目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年6月5日	・ 第15次中期計画で申請する高額医療機器について ・ 造影剤投与マニュアルについて ・ 平成28年度放射線技術化業務報告 ・ 平成28年度ガラスバッチ利用者名簿の変更 ・ 平成28年度個人被ばく歴の有無および評価 ・ 放射線検査担当看護師の頭部用ガラスバッチの着用について ・ 日本放射線技師会「医療被ばく低減施設」認定取得報告
2	平成30年2月5日	・ 造影剤投与マニュアルの改訂について ・ MRI検査における止血用消化管クリップの対応について ・ CT依頼の付箋添付について ・ 入院患者への後発造影剤の使用について ・ 保健所監査報告

3. 平成29年度の活動要約

- 1) 第15次中期計画で申請する高額放射線機器についての検討
- 2) 個人被ばく線量管理とその評価
 - ・ ガラスバッチ利用者の被ばく線量管理の評価
 - ・ 放射線検査担当看護師の頭部用ガラスバッチ着用を決定
- 3) 造影剤投与マニュアルの作成と周知・改訂
- 4) MRI検査における止血クリップ対策として、問診票の変更を実施
- 5) CT検査の増加を目指し、カルテにCT依頼の付箋の添付を実施
- 6) 入院患者への後発造影剤の使用を決定

■ 救急・診療委員会

1. 目的

- ・ 外来及び救急の適切な体制の確立とその運営に努める
- ・ 診療の質の向上を目指し、必要な教育・研修についてもその任を負う

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 11 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 平日救急外来の対応について検討
2	平成 29 年 5 月 8 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 転覆事故の際の受入体制について検討
3	平成 29 年 6 月 13 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ エピペン管理について ・ 合同症例検討会（知多南部救急隊） 「低体温について」講義 講師：麻酔科西田医師
4	平成 29 年 7 月 11 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 救急カート内の薬剤整理について検討
5	平成 29 年 8 月 8 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ アナフィラキシー時の対応について掲示及び周知 ・ 平日午後救急の対応について検討
6	平成 29 年 9 月 12 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 待機医師の対応について周知
7	平成 29 年 10 月 10 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 局地災害発生時の対応フローについて検討 ・ 合同症例検討会（知多南部救急隊）
8	平成 29 年 11 月 14 日	・ 救急車件数報告 ・ BLS 部会報告 ・ 救急ホットラインの取り扱いについて周知

9	平成 29 年 12 月 12 日	・救急車件数報告 ・BLS 部会報告 ・外国人受診者の対応について検討
10	平成 30 年 1 月 9 日	・救急車件数報告 ・BLS 部会報告 ・年末年始の問題、課題について検討 ・超緊急帝王切開訓練の予定報告
11	平成 30 年 2 月 13 日	・救急車件数報告 ・BLS 部会報告 ・事例報告 ・外国人受診者への通訳運用について検討 ・BLS 部会全体演習 「夜勤帯での病棟患者急変時の対応訓練」
12	平成 30 年 3 月 13 日	・救急車件数報告 ・BLS 部会報告 ・死亡確認依頼時の対応について検討

3. 平成 29 年度の活動要約

1) 救急受け入れ状況

救急車受け入れ件数： 1,508 件

救急車断り事例件数： 73 件

搬送率： 95.3%

・知多南部消防組合と救急搬送に係る情報交換会を開催し、情報共有を行った

2) BLS 部会活動

BLS 手技確認： 全職員実施

BLS 部会全体演習： 部会メンバー参加 15 名

演習参加者 10 名

■ 健康管理支援センター運営委員会

1. 目的

地域における医療・保健・福祉との連携による健康管理活動を基に、地域住民の健康保持増進・疾病予防・疾病の早期発見を目的とし、啓蒙、指導、経年管理を通じ、永年的な健康管理を担う“健康管理支援センター”の構築・運営を目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月26日	・H29年度午後の健診活動について（受入れ人数、受付時間他） ・人間ドック機能評価訪問調査総評報告 ・4月新規パンフレット、料金表、報告書確認 ・委員会規定確認（変更事項なし）
2	平成29年7月21日	・次年度のドックコース、オプション、各検査内容、料金 ・内科ドック専用枠7月から運用開始 ・人間ドック実施施設機能評価の認定について ・胃部X線撮影時の発泡剤の服用方法の変更および発泡剤に混入していた下剤中止について ・南知多町脳ドック入札参加について ・ドックMRI枠2枠→3枠について
3	平成29年10月18日	・子宮がん検診セット価格設定について ・職員人間ドックについて（受付時期、価格ほか） ・人間ドック・健診二次健診専用枠の現状
4	平成30年1月29日	・ドック胃カメラ、脳MRI枠変更、増枠について（放射線科との話し合い報告） ・平成30年度特定健診、特定保健指導見直しについて ・人間ドック、健診二次健診専用枠活用実績について報告 ・ご意見箱の声について

3. 平成29年度の活動要約

平成30年度9月からの消費税増税を視野に入れ、次年度のドック、健診の検査内容、価格設定について検討した。

人間ドック実施施設機能評価では、条件付きの認定を受けることができたため、追加資料提出に向け、受診勧奨方法等の運用を見直した。

脳MRIの希望者対応として、8月より2枠から3枠へ増枠することができた。

また、胃透視検査の発泡剤服用時の意識喪失事例を受け発泡剤の服用方法や下剤の服用方法について検討した。

JA関連では、やすらぎセンターの新規受託により協会けんぽでは12月通計で121.5%

の伸びとなった。

行政では、南知多町特定健診、美浜町乳・子宮がん個別検診が新たに始まり、収益の伸びにつながっている。

しかし、南知多町特定健診については、受診期間が短いため、南知多町ドック受診者の一部の人々が補助を受けられるなどが生じた。今後は、期間の延長などを提案し更なる連携を深めたい。

■ 臨床検査技術科運営委員会

1. 目的

臨床検査の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し病院の発展に寄与することにある。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年8月9日 (第40回)	・平成28年度の臨床検査技術科経営分析の評価報告 1) 施設内検査コスト分析 2) 血液製剤在庫数変更 ・平成28年度インシデント・アクシデント件数と分析資料の説明 ・要員計画報告 ・転勤について ・健康管理支援センター機能評価受審について ・その他
2	平成30年3月 (第41回) 文書開催	・平成28年度の臨床検査技術科経営分析の評価報告 1) 施設内検査コスト分析 2) 血液製剤廃棄率 ・要員計画 ・日本医師会精度管理結果について ・検査科増収案について ・その他

3. 平成29年度活動要約

- ・院内検査で赤字項目のカンジダ抗原検査を中止し外部委託検査（βーグルカン）に変更することにより、試薬コストの削減を行った。
 - ・血液凝固系検査自動分析器の試薬納入価を試薬メーカーとの交渉により削減した。
 - ・臨床検査科増収対策として、ABI検査の依頼増加ため内科医カンファレンスにて検査のメリット・保険点数等説明を行った。
 - ・CGMの検査技師取り付けを医師の負担軽減と病院の増益のため提案、診療共同部長に協力をしていただき、平成30年2月より、本格的に検査技師によるCGMの取り付けを始めた。来年度軌道に乗ればかなりの増収を見込める。
- 以上検査変更及び試薬コスト削減の努力により28年度と比較し約210万円の検査試薬の消費額削減と臨床の負担軽減に努めた。

■ 栄養管理委員会

1. 目的

患者給食の改善並びに院内における栄養管理業務の円滑な運営と、その質の向上を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月25日	・栄養管理計画書の運用見直し ・栄養指導件数増加にむけた取り組み
2	平成29年7月24日	・喫食・嗜好調査の集計結果について ・付き添い食の払い戻しについて
3	平成29年10月23日	・元旦のお餅の提供について ・ターミナルのかき氷の運用変更
4	平成30年1月22日	・喫食・嗜好調査の集計結果について ・患者自己負担増加にむけた対応

3. 平成29年度の活動要約

① 栄養管理計画書の運用見直し

多職種で関わる必要があるため、他部門への協力を依頼した。

② 喫食・嗜好調査結果から調理業務の修正

患者の意見を踏まえ、食事の改善点を検討し調理業務の修正を行った。

③ 平成30年4月の患者自己負担金増加に向け、食事内容の検討を行った。

■ 保育所運営委員会

1. 目的

院内保育所『かもめ園』の管理運営に関する事項について協議し、円滑な管理運営を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月21日	・年間行事について
2	平成29年7月21日	・お楽しみ会について ・七夕会報告
3	平成29年10月20日	・お楽しみ会について ・園児の健康診断について ・アンケート実施について
4	平成30年1月19日	・平成29年度第2回総合防災訓練について ・アンケート集計結果について

3. 平成29年度の活動要約

保護者へのアンケート調査を継続実施し、保護者の満足度を測るとともに、意見集約を行うことで、さらなるニーズの把握に努めた。

当該調査結果や諸監査での指導事項等を踏まえ、保育の質をより一層高めるべく、様々な業務改善に取り組んだ。

■ 生活改善支援センター運営委員会

1. 目的

- 1) 予防、治療、介護という医療、保健、福祉のすべての分野での支援活動に関係し「世界健康半島」の理念に基づき知多半島全域のJA組合員ならびに地域住民を対象にした健康づくりに貢献する。
- 2) JA 組合員ならびに地域住民への主体的な参加を支援するための活動に関して検討する。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年6月5日	・活動報告 ・アンケート報告
2	平成29年12月4日	・活動報告 ・次年度活動計画
3	平成30年3月5日	・活動報告 ・次年度活動計画

3. 平成29年度の活動要約

調理実習の充実

- ・健康保持・増進を目的に、ミニレクチャーの内容を資料にまとめて説明を行った。

■ 母子支援センター運営委員会

1. 目的

母子支援センター運営に関する事項について協議し、その効果的な運営を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月1日	・平成28年度母子支援センター利用数報告 ・母子支援センター利用状況推移 ・平成29年4月より産後ケア入院受入開始
2	平成29年6月19日	・4月、5月セミナー室利用状況報告 ・美浜町よりケース検討会議（特定妊婦 T 氏）の依頼報告 ・美浜町・南知多町・武豊町の出生数の推移確認
3	平成29年9月11日 ＊文書開催	・6月、7月、8月セミナー室利用状況報告 ・知たより掲載内容確認「産後ケア入院」
4	平成29年11月14日	・9月、10月セミナー室利用状況報告 ・産後ケア入院広報について (美浜町・南知多町・武豊町保健センター)
5	平成30年1月9日 ＊文書開催	・11月、12月セミナー室利用状況報告
6	平成30年3月30日 ＊文書開催	・1月、2月セミナー室利用状況報告 ・当院の産後ケア入院の報告 ・平成29年度半田保健所管内母子保健医療等連携促進会議より八千代病院の母子支援の現状報告

3. 平成29年度の活動要約

分娩受入を制限や助産師が減少している中、助産師が中心となり妊娠から育児期における母子支援活動（母親教室・マタニティーヨーガ・ベビーマッサージ・母乳育児相談）を継続している。

4月より産後ケア入院の受入を開始。知たより掲載や地域の保健センターへ広報活動行なったが利用者は1名のみであった。ニーズは少ないが地域における産後の支援体制を整えることができた。

■ 地域医療福祉連携センター運営委員会

1. 目的

- 1) 地域医療福祉連携センターの運営に関する事項について協議をし、円滑な運営を図る。
- 2) 地域における医療と介護の連携課題を院内で共有することで、連携の大切さを職員に認識してもらう。
- 3) 2)のような連携課題を改善するための具体的な対策を検討していくことで、より良い医療が提供できるようにする。
- 4) 地域医療福祉連携センターの活動を院内に周知する。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	主な内容
1	平成29年5月17日	・委員会名簿 年報 ・各部署実績報告 ・総合相談窓口相談実績報告 ・短期入院事業受け入れ状況報告 ・利用者に活かす医療講座年間計画 ・住民公開講座（7月予定について）
2	平成29年8月16日	・各部署実績報告 ・総合相談窓口相談実績報告 ・短期入院事業受け入れ状況報告 ・第1回利用者に活かす医療講座アンケート結果 ・住民公開講座アンケート結果 ・病院及び施設訪問中間報告
3	平成29年11月15日	・各部署実績報告 ・総合相談窓口相談実績報告 ・短期入院事業受け入れ状況報告 ・医療講座アンケート結果 ・住民公開講座（3月予定について） ・第2回利用者に活かす医療講座アンケート結果
4	平成30年2月21日	・各部署実績報告 ・総合相談窓口相談実績報告 ・短期入院事業受け入れ状況報告 ・利用者に活かす医療講座（2月）について ・住民公開講座（3月予定について）

3. 平成29年度の活動要約

- ・ケアマネジャー向けの医療講座を参加型に変更した（年3回）。
- ・住民公開講座を定期開催した（年2回）。
- ・病院及び施設の訪問により紹介患者の獲得に取り組んだ。

■ リハビリテーション科運営委員会

1. 目的

リハビリテーションに関わる診療の適正な活用と質の向上、および適正な運営を図ること

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1 (第19回)	平成29年4月19日	・平成28年度事業総括 ・平成29年度部署目標 ・平成30年度要員計画 ・第15次中期計画
2 (第20回)	平成29年8月10日	・平成29年度事業進捗状況 ・人事関係 ・地域包括ケア病棟に伴う体制等の準備を継続

3. 平成29年度の活動要約

- ・地域包括ケア病棟に伴う体制等の準備をし、2月より従事者を変更した。

■ 資材委員会

1. 目的

- 1) 新規医薬品、検査用試薬、診療材料の採否の決定
- 2) 医薬品、検査用試薬、診療材料の効率的利用の検討
- 3) 医薬品、診療材料、及び医療情報の伝達
- 4) 保険査定

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	主な内容
1	平成29年4月14日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・新医薬品の投与制限解除のお知らせ ・効能・効果の追加について ・添付文書改訂情報 ・Drug Information No.281 ・リスクニュース ・保険査定報告
2	平成29年5月12日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・新医薬品の投与制限解除のお知らせ ・効能・効果の追加について ・添付文書改訂情報 ・Drug Information No.282 ・リスクニュース ・保険査定報告
3	平成29年6月9日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・適応及び用法・用量の追加、変更 ・添付文書改訂情報 ・強心配糖体製剤「ラニラピッド錠 0.1mg」出荷停止について ・Drug Information No.283 ・リスクニュース ・保険査定報告
4	平成29年7月14日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・適応及び用法・用量の追加 ・後発品薬剤への変更決定薬剤 ・院外処方箋に対する一包化調剤許可依頼書に対する対応について ・Drug Information No.284 ・リスクニュース ・保険査定報告

5	平成 29 年 8 月 ＜文書開催＞	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・新医薬品の投与制限解除のお知らせ ・添付文書改訂情報 ・Drug Information No.285 ・リスクニュース ・保険査定報告
6	平成 29 年 9 月 8 日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・効能・効果および一部変更 ・Drug Information No.286 ・リスクニュース ・保険査定報告
7	平成 29 年 10 月 13 日	・新規医薬品、診療材料の採否について ・用法・用量、効能・効果の追加および一部変更について ・添付文書改訂情報 ・Drug Information No.287 ・リスクニュース ・保険査定報告
8	平成 29 年 11 月 10 日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・新医薬品の投与制限解除について ・用法・用量、効能・効果の追加および一部変更について ・添付文書改訂情報 ・Drug Information No.288 ・リスクニュース
9	平成 29 年 12 月 8 日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・添付文書改訂情報 ・現在検討中の後発品薬剤 ・「エピペン注射液 0.15mg、同 0.3mg」製造販売承認承継に伴う登録医情報の移管について ・オイラックススクリームの製造販売承認承継及び販売移管について ・Drug Information No.289 ・リスクニュース ・保険査定報告
10	平成 30 年 1 月 12 日	・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について ・効能・効果の追加および一部変更について ・後発薬品への変更決定薬品 ・Drug Information No.290 ・リスクニュース ・保険査定報告

11	平成 30 年 2 月 9 日	・新規診療材料、検査試薬の採否について ・新医薬品の投与制限解除について ・用法・用量の追加について ・添付文書改訂情報 ・ラジレス錠 150mg の製造販売会社変更について ・三種混合ワクチン「トリビック」の製造再開について ・Drug Information No.291 ・リスクニュース ・保険査定報告
12	平成 30 年 3 月 9 日	・新規医薬品、診療材料の採否について ・効能・効果の追加について ・添付文書改訂情報 ・製造販売承認の承継と移管について ・「エピペン注射液 0.15mg/0.3mg」一時的な供給不足について ・Drug Information No.292 ・リスクニュース ・保険査定報告

3. 平成 29 年度の活動要約

- 1) 新規仮採用医薬品は 35 品目を承認した。
規格追加・採用復活・変更、製薬メーカー及び剤型変更は 22 品目を承認した。
また新規採用または規格追加・採用復活・変更、製薬メーカー及び剤型変更等に伴う中止医薬品 33 品目を採用中止とした。
- 2) 新規申請診療材料は 44 品目を承認し、規格追加・変更等は 42 品目を承認した。
新規採用または規格追加・変更等に伴う中止診療材料 41 品目を採用中止とした。
- 3) 新規申請検査試薬は 8 品目を承認し、規格追加・変更等は 15 品目を承認した。
新規採用または規格追加・変更等に伴う中止診療材料 15 品目を採用中止とした。
- 4) 後発医薬品への切り替えは 5 品目を承認した。

■ 治験審査委員会

1. 目的

「医薬品の臨床試験の実施基準に関する省令（GCP省令）」に基づき、医薬品の製造承認、及び一部変更申請時に提出すべき資料の収集、また製造販売後の臨床試験などに関する計画・実施・モニタリング・監査・記録・解析・報告などに関する遵守事項を定めて、被験者の人権・安全及び福祉を保護し、かつ臨床試験の科学的な質と成績の信頼性を確保することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
12	厚生連病院共同 治験審査委員会 (IRB)	「糖尿病性腎症 対象疾患 A R B 又は A C E 阻害剤の投与を受けている 2 型糖尿病性腎症患者」
	平成 29 年 4 月 20 日	治験薬 選択的 E T A (endothelin-A) 受容体拮抗剤
	平成 29 年 5 月 18 日	(内分泌代謝科 丹村敏則)
	平成 29 年 6 月 22 日	※実績
	平成 29 年 7 月 20 日	・原契約例数：4例
	平成 29 年 8 月 24 日	・追加契約例数：1例
	平成 29 年 9 月 21 日	・総同意取得例数：6例
	平成 29 年 10 月 19 日	・原契約実施例数：5例(うち、観察期脱落例数：1例、治療期例数：3例→4例、完了例数：0例、中止例数：0→1例 ※
	平成 29 年 11 月 16 日	治験継続について同意撤回)
	平成 29 年 12 月 21 日	・追加契約実施例数：1例(うち、観察期脱落例数：1例、治療期例数：0例、完了例数：0例、中止例数：0例)
	平成 30 年 1 月 18 日	・依頼者側の理由にて治験中止 (2018年5月31日)
	平成 30 年 2 月 22 日	(中止例数：1例)
	平成 30 年 3 月 15 日	「心房細動 対象疾患 既存の経口抗凝固薬の投与が困難な80歳以上の非弁膜症性心房細動患者」
		治験薬 エドキサバン (循環器内科 富本茂裕)
		※実績
		・契約例数：4例
		・追加契約例数：2例
		・同意取得例数：6例
		・治療期移行例数：4例 (平成28年8月4日契約締結・試験開始、現在組入れ中)

(西暦 2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

3. 平成29年度の活動要約

平成 29 年度の活動内容に示した件について、審査して了承された。

■ 購買委員会

1. 目的

事業年度における固定資産（器械・備品・車輛）取得要望品を適正に審議し、効率的に固定資産取得を行うことを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成30年1月20日	・平成29年度固定資産取得結果について ・平成30年度固定資産取得について ・その他

3. 平成29年度の活動要約

平成29年度固定資産取得状況一覧表に基づき取得結果を報告した。平成30年度固定資産予算枠に対し、各部署申請者より申請理由を説明後、固定資産取得品の選定を委員会として行った。

■ 医療安全対策委員会

1. 目的

患者の安全を守り、医療事故・紛争の予防対策等の推進を図る

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月26日	●医療安全報告分析表について（3月分、平成28年度分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(3月分、前月迄の追加分) ●Good job ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成29年度 委員会目標 委員会活動計画 ●平成29年度 医療安全対策委員巡回予定 ●平成29年度 事前検討部会担当予定 ●研修会案内 ●ポンプ定期点検 ●医療機器の安全な取り扱い勉強会日程 ●放射線科における医療安全報告
2	平成29年5月24日	●医療安全報告分析表について（4月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告（4月分、前月迄の追加報告） ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成29年度 委員会活動計画 前期医療安全全体研修会実施要項 ●医療事故調査制度 ●研修会案内 ●医療安全に関するマニュアルの改訂 ●麻薬事故 ●読影結果の説明
3	平成29年6月28日	●医療安全報告分析表について（5月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(5月分、前月迄の追加分) 患者確認協力依頼ポスター掲示（救急外来待合） ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告

		●平成 29 年度 委員会活動計画 ●医療安全管理室長会議（6 月）報告 ●研修会案内 ●他院の検体取り違い事故
4	平成 29 年 7 月 26 日	●医療安全報告分析表について（6 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(6 月分、前月迄の追加分) ●Good job ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 前期全体研修会参加者数、アンケート結果 ●研修会案内
5	平成 29 年 8 月 23 日	●医療安全報告分析表について（7 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(7 月分、前月迄の追加分) 患者誤認防止策について ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 前期全体研修会欠席者への周知 ●研修会案内
6	平成 29 年 9 月 27 日	●医療安全報告分析表について（8 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(8 月分) ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 ●医療安全管理室長会議（9 月）報告 ●研修会案内 ●医療安全に関するマニュアルの改訂の周知
7	平成 29 年 10 月 25 日	●医療安全報告分析表について（9 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(9 月分、前月迄の追加分) ●Good job ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●H29 年度 委員会活動計画（部署内 KYT 強化月間テーマ）

		●研修会案内
8	平成 29 年 11 月 22 日	●医療安全報告分析表について（10 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(10 月分、前月迄の追加分) ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 後期医療安全全体研修会実施要項 ●研修会案内
9	平成 29 年 12 月 27 日	●医療安全報告分析表について（11 月分、4 月～9 月） ●医療安全報告事前検討部会の報告(11 月分) ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 部署内 KYT 強化月間の実施結果 ●医療安全管理室長会議（12 月）報告 ●研修会案内 ●パルスオキシメーターの不具合
10	平成 30 年 1 月 24 日 (文書開催)	●医療安全報告分析表について（12 月分） ●Good job ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 ●研修会案内
11	平成 30 年 2 月 22 日	●医療安全報告分析表について（1 月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(12 月分、1 月分) ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成 29 年度 委員会活動計画 後期医療安全全体研修会アンケート結果 欠席者への周知状況 ●平成 29 年度年度末定期監査報告 ●平成 29 年度委員会活動評価

		●研修会案内 ●日本医療安全調査機構より、医療事故の再発防止に向けた提言第3号（注射剤によるアナフィラキシーに係わる死亡事例の分析）配布
12	平成30年3月28日	●医療安全報告分析表について（2月分） ●医療安全報告事前検討部会の報告(2月分、前月迄の追加分) ●Good job ●医療安全対策委員巡視報告 ●医療安全情報 ●医療事故調査制度の現状報告 ●平成29年度 委員会活動計画 後期医療安全全体研修会欠席者への周知状況 ●医療安全管理室長会議（3月）報告 ●平成30年度 委員会目標 委員会活動計画 ●研修会案内

3. 平成29年度の活動要約

- 1) 医療安全報告書提出数は764件。その内、医療事故報告件数は14件であった。
- 2) 医療安全カンファレンス報告書を活用し、医療安全のPDCAサイクルを機能させた。カンファレンス実施件数31件（H29年12月末時点）であった。
- 3) 全体研修2回実施した。研修会参加率は、前期研修71.3%、後期研修58%。研修会欠席者に対しては、各部署の委員が、資料配付と共に説明した。
- 4) 体験型医療安全研修は、MEが計画的に実施し、述べ参加者数は489名（平成30年3月19日時点）であった。
- 5) マニュアルの改正を行い、委員を通して部署内で周知を図った。

■ 安全衛生委員会

1. 目的

職員の業務上の災害防止及び健康増進を図ること。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月24日	・平成29年度定期健康診断について
2	平成29年5月22日	・メンタルヘルス研修会の開催（案）について
3	平成29年6月26日	・メンタルヘルス研修会の開催について
4	平成29年7月24日	・平成29年度のストレスチェック実施について ・定期健康診断の受診状況について
5	平成29年8月28日	・B型肝炎ワクチン接種（1・2回目）について
6	平成29年9月25日	・インフルエンザ予防接種について ・平成29年度ストレスチェック実施状況について
7	平成29年10月23日	・平成29年度特定業務従事者健診について
8	平成29年11月27日	・インフルエンザ予防接種状況について
9	平成29年12月25日	・B型肝炎ワクチン接種（3回目）について
10	平成30年1月22日	・平成30年度メンタルヘルスケア研修会（案）について
11	平成30年2月26日	・平成30年度メンタルヘルスケア研修会について
12	平成30年3月26日	・平成30年度年間スケジュールについて ・平成30年度定期健康診断について

3. 平成29年度の活動要約

平成28年度より開始されたストレスチェック制度について、対象者の一覧表を配布してチェックを依頼するなど、受検率向上に向けた取り組みを行い、結果として10%程受検率が向上した。

■ 防災対策委員会

1. 目的

知多厚生病院における火災、震災その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年8月7日	・地域災害拠点病院災害連携訓練について ・今後の予定について ・関係機関合同災害対策訓練（緊急患者搬送訓練）について（訓練主催：半田警察署） ・厚生連災害訓練（安否確認システム訓練）について
2	平成30年3月19日	・平成29年度第2回総合防災訓練について ・平成30年度消防計画改正（案）、防災マニュアル改正（案）について ・防災に関する年間計画（平成30年度）（案）について

3. 平成29年度の活動要約

災害時の各班における個々の役割を理解するために、班ごとにテーマを設定し机上訓練を実施し、職員の啓発に努めた。

また、災害時にどの役割になっても行動ができるようアクションカードを使用した地域災害拠点病院災害連係訓練を行ない、検証を行なった。また災害訓練実施後に検証結果を報告し、次年度に向けた課題を確認した。

■ 院内感染対策委員会

1. 目的

院内感染の予防と感染症発生時に迅速かつ適切なる対応を積極的に行い、院内衛生の万全を期すること。

2. 平成29年度の活動内容

院内感染対策委員会（毎月第1木曜日 16：45～）

定例報告事項

1. 院内感染症報告について
2. 院内感染対策リンクナース委員会報告
3. 抗菌剤使用報告
4. 手指消毒剤の使用量について
5. 部署別検出菌出現頻度報告
6. 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業の新着情報について
7. ICT ラウンドについて
8. 針刺し・切創事故報告について
9. 知多半島医療圏感染対策連携会議について
10. マニュアルの変更について
11. 抗菌薬と消毒薬の採用・削除について
12. 研修会のお知らせ

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 6 日	委員の交代について
2	平成 29 年 5 月 10 日	6 月からの委員会開催時間を 16：00～に変更 委員の交代あり名簿を修正 3 連痰（結核疑い）を依頼する方法について 血液培養 2 セット分を依頼する方法について
3	平成 29 年 6 月 1 日	非定型抗酸菌の報告について、陽性は、医師に報告する際に 同定検査の有無を確認することとした。
4	平成 29 年 7 月 6 日	ノンアルコールの手指消毒剤について検討することとした 抗微生物薬適正使用の手引き 第一版を医局会で情報提供 した 狂犬病ワクチンの暴露後接種等に関するアンケート調査に ついて 感染症指定医療機関等に関する調査について
5	平成 29 年 8 月 4 日	薬物血中濃度解析（TDM）依頼書の変更について ノンアルコール手指消毒剤「ノアテクト」の新規採用依頼に ついて

6	平成 29 年 9 月 7 日	疥癬について「入院患者の疥癬対応マニュアル」を追加した 中等呼吸器症候群（MERS）の国内発生時の対応について 平成 29 年度新型インフルエンザ等対策総合訓練について 鳥インフルエンザ A(H7N9)に関するリスクアセスメントについて
7	平成 29 年 10 月 5 日	袖なしエプロンの採用変更について 平成 29 年度新型インフルエンザ等対策総合訓練について 保健所立入検査実施予定について 冬期流行の感染性胃腸炎対策について
8	平成 29 年 11 月 2 日	冬期の感染性胃腸炎（ノロウイルス）対策マニュアルを変更 プロフェッショナルマスクの変更について 平成 29 年度新型インフルエンザ等対策総合訓練について 保健所立入検査について ノロウイルスによる感染性胃腸炎のアウトブレイク予防のため、11 月から 3 月の流行期は 0.1%次亜塩素酸ナトリウムで環境消毒を実施 抗微生物薬適正使用の手引きダイジェスト版と啓発ポスター・リーフレットについて 「単回使用医療機器の取扱いの再周知」について 季節性インフルエンザワクチンが安定供給が見込めないことについて 中部国際空港保健衛生管理運営協議会担当者会議について マダニが媒介する新しい感染症 梅毒感染症について 委員会の開催時間について再周知
9	平成 29 年 12 月 7 日	平成 29 年度検疫感染症総合措置訓練を 12 月 15 日に開催 鳥インフルエンザ A(H7N9)ウイルスによる感染事例関すり クアセメントと対応について 集団かぜ等による学級閉鎖等の措置について 今冬のインフルエンザ総合対策の推進について
10	平成 30 年 1 月 11 日	ICT ラウンドについてマニュアル変更 平成 29 年度検疫感染症総合措置訓練後の今後の課題について 感染症の届出の基準等の一部改正について 集団かぜ等による学級閉鎖等の措置について DPC・JANIS データを用いた抗菌薬使用状況と耐性菌発現状況の関連性評価研究ご協力のお願について

11	平成 30 年 2 月 1 日	愛知県感染症予防計画の一部改正について 抗菌薬適正使用支援加算の施設基準について 愛知県新型インフルエンザ等対策実務者会議情報交換会参加報告 平成 29 年度結核対策研修会参加報告
12	平成 30 年 3 月 1 日	知多感染情報について、A S T ラウンドについて 抗菌薬ガイドラインの全面改定 平成 29 年度愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練（実働）の実施 第二種感染症指定医療機関の指定要件に係る適合調査について 長袖ビニールエプロンの採用について

3. 研修会等

回数	開催日	院内研修
1	平成 29 年 4 月 3 日	新採用職員研修 講師：仮屋小百合
2	平成 29 年 4 月 19 日 平成 29 年 4 月 25 日	全体研修会「インフルエンザの結果と手指衛生について」 講師：仮屋小百合 参加人数：227 人（参加率 63%）
3	平成 29 年 12 月 21 日	全体研修会「感染対策の取り組みについて」 講師：公立西知多総合病院 感染対策室 山田看護師 参加人数：160 人（参加率 63%）
回数	開催日	ランチミーティング
1	平成 29 年 5 月 10 日	肺炎球菌ワクチンについて
2	平成 29 年 6 月 14 日	抗 HIV 薬：アイセントレス
3	平成 29 年 6 月 28 日	抗 HIV 薬：ツルバダ配合錠
4	平成 29 年 7 月 12 日	抗真菌薬について：アムビゾーム
5	平成 29 年 8 月 23 日	MRSA 感染症の治療ガイドラインの変更点について
6	平成 29 年 12 月 13 日	血液培養について
7	平成 30 年 1 月 10 日	発熱への対応と鑑別について
8	平成 30 年 2 月 14 日	高齢者感染症の特徴について
9	平成 30 年 2 月 19 日	救命のための予防、肺炎球菌ワクチン
10	平成 30 年 3 月 7 日	尿路感染対策と尿道カテーテル抜去パス

4. 平成 29 年度の活動要約

- 1) 中部国際空港検疫所と患者搬送・受入訓練を行った。
- 2) 季節性インフルエンザ、感染性胃腸炎による入院患者のアウトブレイク、職員間のアウトブレイクはなかった。
- 3) 感染管理支援システムを活用し環境ラウンド、監視菌検出患者ラウンド、特定抗菌薬使用者ラウンドを毎週金曜日におこなった。

■ 廃棄物管理委員会

1. 目的

廃棄物処理及び清掃に関する法律に従って、適正に管理及び処理することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成30年2月5日	・産業廃棄物排出量について ・産業廃棄物処理実績・処理計画について ・産業廃棄物処理マニュアル変更について ・感染性廃棄物容器（ペール缶）の変更による費用削減結果について ・その他

3. 平成29年度の活動要約

昨年度の委員会にて検討を行なった費用削減のために運用見直しを行なった感染性廃棄物容器の変更について費用削減となったことについて確認を行なった。

環境省より公表された廃棄物処理マニュアルに基づいて当院の産業廃棄物処理マニュアルの見直しの協議を行なった。

費用削減のために機密文書の処理業者の変更案について、安全性、環境面の確認を行ない、平成30年度より業者変更を行なうこととなった。

■ 輸血療法委員会

1. 目的

輸血療法の適応、血液製剤の選択、輸血・検査項目・輸血実施時の手続き、血液製剤の保管管理、院内での血液製剤の使用状況、適正使用の徹底、輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策等について検討し、適正な輸血療法を推進すること。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月27日	・平成28年8月から平成29年3月における輸血製剤・血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審結果報告、輸血時副作用発生報告 ・輸血マニュアル（自己血）改訂について ・輸血用製剤における除却資材について ・止血剤フロシールについて
2	平成29年6月29日	・平成29年4月から平成29年5月における輸血製剤・血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審結果報告、輸血時副作用発生報告 ・緊急度の再周知について ・血漿分画製剤在庫数について
3	平成29年8月31日	・平成29年6月から平成29年7月における輸血製剤・血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審結果報告、輸血時副作用発生報告 ・リスク事例報告と対応策について
4	平成29年10月26日	・平成29年8月から平成29年9月における輸血製剤・血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審結果報告、輸血時副作用発生報告 ・リスク事例報告と対応策について ・輸血マニュアル（実施手順）改訂について ・輸血用血液製剤のベッドサイドでのダブルチェック体制について
5	平成29年12月28日	・平成29年10月から平成29年11月における輸血製剤・血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審

		結果報告、輸血時副作用発生報告 ・リスク事例報告と対応策について ・搬送バックについて
6	平成 30 年 3 月 29 日	・平成 29 年 12 月から平成 30 年 1 月における輸血製剤・ 血漿分画製剤の使用報告、輸血感染症の実施状況、廃棄 血の本数及び廃棄金額の報告、輸血用製剤の査定・再審 結果報告、輸血時副作用発生報告 ・PCC 製剤のケイセントラについて ・搬送用バックについて ・輸血を拒否する患者への同意書について ・血漿分画製剤使用時の輸血看護記録について ・システムトラブル時報告書について

3. 平成 29 年度の活動要約

- 1) 輸血療法の適応、院内での血液製剤の使用状況、適正使用の徹底
- 2) 「輸血管理料Ⅰ」施設基準維持に向けたデータの抽出および検討
- 3) 輸血用製剤の査定、再審結果報告
- 4) 輸血療法におけるリスク事例報告と対応策の検証
- 5) 輸血用血液製剤搬送容器の経年劣化に伴う新規購入
- 6) 輸血療法マニュアルの自己血と実施手順の改定
- 7) 輸血療法委員会からのお知らせ回覧

輸血ニュース No.14「緊急度」再周知

輸血ニュース No.15 観察記録

■ 医療ガス安全管理委員会

1. 目的

医療ガス（診療の用に供する酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療用圧縮空気・窒素等）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成30年1月25日	・平成29年度医療ガス設備保守点検結果報告について ・平成30年度医療ガスに関する年間計画について ・医療ガス啓蒙教育 ・その他

3. 平成29年度の活動要約

医療ガス設備保守点検結果の報告および翌年度の年間計画について協議を行った。医療ガスに関する啓蒙教育として「ヒヤリハット事事故事例」について職員教育を実施した。

■ 広報委員会

1. 目的

地域住民に向けた病院の広報活動に関する事項について提案・協議し、円滑な病院運営に役立てること。

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 21 日	・委員会規程・委員会名簿について ・広報委員会年間スケジュールについて ・「ちっタイムズ」について ・「知ったより」7月号について ・年報の依頼について
2	平成 29 年 5 月 19 日 (文書開催)	・「知ったより」7月号の報告について
3	平成 29 年 6 月 16 日	・「知ったより」10月号の内容検討について ・「ちっタイムズ」の内容検討について
4	平成 29 年 7 月 21 日 (文書開催)	・「知ったより」10月号の掲載内容の報告について ・「ちっタイムズ」の取材内容の確認について
5	平成 29 年 8 月 18 日	・「知ったより」について(10月の報告) ・「ちっタイムズ」内容確認について
6	平成 29 年 9 月 15 日 (文書開催)	・「知ったより」1月号の掲載内容について ・「ちっタイムズ」内容確認について
7	平成 29 年 10 月 20 日 (文書開催)	・委員変更について
8	平成 29 年 11 月 17 日	・「知ったより」1月号の内容確認について ・「ちっタイムズ」の内容検討について
9	平成 29 年 12 月 15 日	・「知ったより」4月号の内容検討について ・「ちっタイムズ」の取材内容の確認について
10	平成 30 年 1 月 20 日	・「知ったより」4月号の表紙検討について ・「ちっタイムズ」の内容確認について ・ホームページの内容確認の依頼について
11	平成 30 年 2 月 16 日	・「知ったより」4月号の内容確認について ・「ちっタイムズ」の内容確認について
12	平成 30 年 3 月 16 日	・「知ったより」7月号の内容検討について ・平成 30 年度「こうせい」の掲載依頼について ・来年度の委員会について

3. 平成29年度の活動要約

病院広報誌「知ったより」を年4回、院内広報誌「ちっタイムズ」は年3回発刊した。
今後も病院のPRに繋がるような広報誌・ホームページを意識して取り組んでいきたい。

■ 教育研修委員会

1. 目的

- 1) 全職員に共通して必要を考えられる教育・研修について、その体制・計画立案・実施・結果評価・評価フィードバックをすることで、より高度なチーム医療の構築を目指すこと。
- 2) 患者自身の医療への主体的な参加を支援するための活動（講演会・健康教室開催等）に関して検討すること。
- 3) 図書室運営に関する事項について協議し、円滑な運営を図ること。
- 4) 図書の購入・貸し出しについて必要な手続きを定め、遂行すること。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年5月29日	・平成29年度新規採用者オリエンテーションの報告について ・新入職員メッセージの送付について ・インターンシップの受入れ（予定）について ・診療サポートコンテンツの一部変更について
2	平成29年11月21日	・平成30年度新規採用者オリエンテーションについて ・平成29年度日本農村医学会報告会について

3. 平成29年度の活動要約

- ・4月に新規採用者オリエンテーションを実施した。
- ・7月から8月にかけて地元中学生、高校生を対象とした職場体験実習の受け入れを行うとともに、12月には日本農村医学会報告会を開催した。

■ 臨床研修管理委員会

1. 目的

知多厚生病院及び関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理することを目的とする。

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 30 年 3 月 30 日	・平成 30 年度初期研修医採用者について ・平成 31 年度臨床研修プログラムについて

3. 平成 29 年度の活動要約

平成 30 年度について初期研修医 1 名を確保したことを報告した。

■ 臨床研修委員会

1. 目的

研修医が初期の目的を達成するために、臨床研修プログラム、部署間・職種間との連携、研修医の処遇等を充実させることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成30年3月30日	・平成30年度初期研修医採用者について ・知多厚生病院臨床研修指導医について ・各診療科の初期研修プログラムの見直しについて ・平成30年度へき地医療臨床研修受入れ予定について ・平成30年度海南病院研修医受入れ（篠島診療所）予定について ・平成30年度初期研修医マッチング予定について

3. 平成29年度の活動要約

初期研修医確保に向けて、各種説明会等へ積極的に参加したところ、初期研修医1名を確保することが出来た。また、へき地医療臨床研修等の受入れを積極的に行った。

■ 患者サービス向上委員会

1. 目的

『患者さんから選ばれる病院』を目指し、より良い患者サービスを提供し、患者満足度の向上を図ること。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月13日	・平成29年度委員会年間活動について
2	平成29年5月11日	・外来患者アンケート（案）について ・外来患者アンケート実施要領（案）について
3	平成29年6月8日	・外来患者アンケート（案）について ・平成29年度接遇研修会開催について
4	平成29年8月10日	・外来患者アンケート結果について ・平成29年度待ち時間調査結果について
5	平成29年9月14日	・外来患者アンケート結果について ・入院患者アンケート実施について
6	平成29年10月24日	・入院患者アンケート用紙について
7	平成29年11月9日	・入院患者アンケート結果について
8	平成29年12月14日	・平成30年度CS委員会年間目標について ・厚生連本部主催患者サービス向上研修会について
9	平成30年1月12日	・平成30年度CS委員会年間目標について ・中央受付モニターのテレビ切り替えについて
10	平成30年3月8日	・身だしなみラウンド集計結果 ・マナーブック改定について

3. 平成29年度の活動要約

- ・外来患者及び入院患者に対してアンケートを実施し、結果を広報誌「知ったより」に掲載した。
- ・患者接遇向上のために外部講師を招き、新人職員、全職種を対象とした接遇研修会を実施した。
- ・各部署を回り、身だしなみラウンドを実施した。

■ 医療情報システム委員会

1. 目的

医療情報の管理・運営の向上を目指し、医療情報システムが円滑かつ安定稼動することにより、病院の発展に寄与することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日・出席者数	内容
1	平成29年4月10日 出席者：14名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報システム障害時緊急連絡網の変更について ・ 医療情報システム委員会規定の変更について ・ 医療情報システム委員会名簿の変更について ・ 医療情報システムマスタ担当者一覧の変更について
2	平成29年5月15日 出席者：11名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ スターオフィスで保存に失敗したファイルの復旧方法について ・ 更新後医療情報室に「連絡する前に」マニュアルについて
3	平成29年6月12日 出席者：12名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 平成29年5月25日発覚システム障害報告について ・ DWH システムの活用について
4	平成29年7月10日 出席者：13名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 診察待ち表示板の設定変更案について ・ 対応注意患者のカルテ対応について ・ 医療情報システム委員会名簿の変更について ・ 医療情報システムマスタ担当者の変更について ・ 医療情報システム障害時緊急連絡網の変更について
5	平成29年8月14日 出席者：12名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 診察待ち表示板の設定変更案について ・ 電子カルテシステム定期点検について

回数	開催日	内容
6	平成 29 年 9 月 11 日 出席者：12 名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 診察待ち表示板の設定変更案について ・ 貸出ノート PC の予約について
7	平成 29 年 10 月 16 日 出席者：10 名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 医療情報システム委員会名簿の変更について ・ 医療情報システム障害時緊急連絡網の修正について ・ 画像・生理オーダーの予約について ・ 電気設備年次点検時（11/12、23）の医療情報システムの対応について
8	平成 29 年 11 月 13 日 出席者：12 名	・ 前回議事内容について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 電子カルテシステム障害訓練について ・ 医療情報システム障害時マニュアルの改定（案）について ・ 指示医選択画面の並びについて ・ 主治医別入院患者一覧表印刷システムの作成について
9	平成 29 年 12 月 11 日 出席者：13 名	・ 前回議事内容確認について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 電子カルテ障害訓練アンケート集計結果について ・ 医療情報システム障害時マニュアルの改定（案）について ・ 医療情報システム規程の変更について ・ 年末年始における電子カルテシステム関連運用について
10	平成 30 年 1 月 15 日 出席者：13 名	・ 前回議事内容確認について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 同一患者に ID を二重に作成した場合の対応・診療情報を誤った患者に登録した場合の対応について ・ 電子カルテシステム定期点検実施について ・ 平成 29 年 11 月 15 日実施 障害時訓練アンケート回答について

回数	開催日	内容
11	平成 30 年 2 月 20 日 文書開催	・ 前回議事内容確認について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について
12	平成 30 年 3 月 12 日 出席者：14 名	・ 前回議事内容確認について ・ NEC システム定例会からの報告について ・ 医療情報室からの報告について ・ 委員の変更確認

3. 平成 29 年度の活動要約

電子カルテシステム更新により各部署から発生した意見・対応について随時報告を行った。スターオフィスのファイル復旧手順や DWH システムの活用等、電子カルテシステム更新の時期から行えるようになった新たな機能についても周知を行った。

また、システム障害時マニュアルについても見直しを行い、アンケート内容および委員会の中で意見を募り、作成を進めた。

■ コンプライアンス委員会

1. 目的

法令、道徳、社会規範、倫理、内部規定について公正かつ公平な業務遂行を行うために、全職員がコンプライアンスに関する認識を深め、共通に遵守することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年7月18日	・個人情報取扱台帳の提出について ・行動規範の自己点検に使用する「自己点検シート」について ・個人情報の漏えい事案の発生について ・コンプライアンス関連報告事例について ・不当要求防止責任者講習会の受講について
2	平成29年10月30日	・平成29年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について ・個人情報漏えい事案の発生報告について ・コンプライアンス関連報告事例について ・「個人情報パソコン抽出確認書」・「個人情報持ち出し許可願い」の提出可否確認フローについて
3	平成29年12月28日	・個人情報保護法の改正とその対応について ・自己点検シートによる行動規範の自己点検結果について ・職員に関する懲戒の決定について ・コンプライアンス関連報告事例について
4	平成30年3月29日	・平成30年度コンプライアンス・プログラムについて ・平成29年度コンプライアンスに関する取り組み状況について

3. 平成29年度の活動要約

コンプライアンスに係る「自己点検シート」の活用により、職員自身の振り返りを促すとともに、「個人情報パソコン抽出確認書」と「個人情報持ち出し許可願い」の提出に係る確認フロー及び「ソーシャルメディアの私的利用に当たっての留意点」について繰り返しとなる職員周知を実施し、法令遵守に向けての意識醸成を図った。

本会内で発生したコンプライアンス事案について情報共有を図るとともに、注意喚起を行うことで再発防止に努めた。

■ 在宅療養支援委員会

1. 目的

患者とその家族が安心して在宅療養に移行できるシステムを検討する。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月28日	・平成29年度委員会規程改訂 ・平成29年度委員会名簿・目標・開催予定・活動計画提示 ・平成28年度年報提示 ・定例報告 ・退院困難リスク評価用紙修正
2	平成29年5月26日	・定例報告 ・個人目標の確認 ・WEBセミナー「退院支援は人生の再構築を支援すること」 ・「退院調整の流れ」マニュアル見直し修正
3	平成29年6月23日	・定例報告 ・在宅療養支援委員会マニュアル差し替え ・第1回利用者に活かす医療講座「フットケア」
4	平成29年7月28日	・定例報告 ・訪問看護利用のマニュアル確認
5	平成29年8月25日	・定例報告 ・ビギナー研修「退院支援」 ・退院指導パンフレットの評価修正
6	平成29年9月29日	・定例報告 ・個人目標中間評価提出 ・美浜町と南知多町の地域包括ケアシステムの状況報告
7	平成29年10月27日	・定例報告 ・第2回利用者に活かす医療講座「地域で取り組む意思決定支援（ACP）～病床機能により入院期間を踏まえて～」
8	平成29年11月27日	・定例報告 ・「薬剤部在宅療養支援マニュアル」確認 ・入院時情報連携シートの運用と連携方法について検討 ・退院指導パンフレット「胃瘻の取り扱い～半固形の栄養剤～」検討 ・「療養病床入所の流れ」マニュアルの確認
9	平成29年12月22日	・文書開催による定例報告
10	平成30年1月26日	・定例報告 ・個人目標最終評価提出

回数	開催日	内容
11	平成 30 年 2 月 23 日	・ 定例報告 ・ 第 3 回利用者に活かす医療講座「知多厚生病院の地域包括ケア病棟のご利用方法について」「入退院時の連携でモヤッとしたケース」
12	平成 30 年 3 月 23 日	・ 定例報告 ・ 平成 29 年度委員会目標評価 ・ 平成 30 年度目標・開催予定・活動計画の検討 ・ 診療報酬改定に伴う入退院支援の流れの変更事項周知

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・ 定例報告事項として、毎月訪問看護（リハビリ）・居宅からの退院後の経過報告により連携で良かったことや不足していたことを共有することと、退院支援の各病棟状況を退院支援カンファレンスの実施数で報告することを行った。
- ・ MSW から退院困難事例が提供され、支援のあり方を振り返った。

■ 人事考課制度推進委員会

1. 目的

人事考課制度の運用面に関する課題・問題点を協議・検討し、制度の円滑な運用を図ることを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年7月18日	・平成29年度人事考課者・被考課者について ・平成28年度人事考課結果について
2	平成29年10月30日	・平成29年度人事考課者・被考課者について ・当院における人事考課制度の運用課題について
3	平成30年2月19日	・平成29年度人事考課・平成30年度目標課題設定スケジュールについて ・医師人事考課制度の試行開始について

3. 平成29年度の活動要約

- ・人事考課及び目標課題の設定を円滑に行えるよう、制度周知を行った。また、さらなる制度運用の徹底に向け、他職種による評価の困難性について意見を出し合い、対応策を打ち出すとともに実行した。

■ クリニカルパス委員会

1. 目的

- 1) クリニカルパスの運用方式を統一し、本来のクリニカルパスの利点である医療の効率化・均質化をより一層高める。
- 2) クリニカルパスの適応疾患を拡大し、普及に努める事で病院全体の医療レベルの向上を図る。

2. 平成29年度の活動内容（毎月第3木曜日 16：30～）

回数	開催日	内容
1	平成29年4月27日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・パス内の薬剤変更方法について ・委員会規定の見直し
2	平成29年5月25日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・指示コメント記載について
3	平成29年6月22日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・指示コメント記載について ・新人看護師対象クリパス勉強会開催について
4	平成29年7月20日 （文書開催）	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・新人看護師対象クリパス勉強会について 参加人数13人（新人以外看護師8名、他職種3名）
5	平成29年8月24日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・ジェネリックに変わった時の対応について確認 ・NECV・DWHの活用について ・PDCAサイクル実践日程について
6	平成29年9月28日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・PDCAサイクル実践日程について
7	平成29年10月26日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・PDCAサイクル実践日程について
8	平成29年11月21日 （文書開催）	・パスデータ管理について ・パス公開中件数
9	平成28年12月28日 （文書開催）	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・PDCAサイクル実践日程、内容について

1 0	平成 30 年 1 月 25 日 (文書開催)	・パスデータ管理について ・パス公開中件数
1 1	平成 30 年 2 月 22 日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・PDCA サイクル実践日程、内容について
1 2	平成 30 年 3 月 22 日	・パスデータ管理について ・パス公開中件数 ・PDCA サイクル実践内容について ・H30 年度委員変更について ・委員会開催方法について

2. 平成 29 年度の活動要約

- ・平成 29 年 6 月 22 日 新人看護師対象にクリニカルパスの概要（外科小森医師）、実際の入力方法について（看護師樹神氏）開催をした。
- ・平成 28 年度システム変更に伴い、NECV、DWH が導入され、PDCA サイクルに活用できるよう勉強会を開催した。パス内の薬剤置換や、バリエーション記録からケア項目の引用、テンプレート作成等、システム機能の活用方法を最大限に発揮し、今後の PDCA サイクルにも結びつけていきたい。
- ・パスの使用率については、前年度と比較し減少した。医師の退職と入院患者減少および OP 件数減少の影響が大きい。（下表参照）
- ・パス公開中の件数については、抗生剤を短くしたり、検査の修正を行ったり、新規パスの作成を行い、合計 141 件から 146 件に増加した。
- ・今年度は当院クリニカルパスがまた一歩進んだ年となった。

3. パス使用率（前年度との比較）

	平成 28 年度	平成 29 年度	対前年差
内科	73.2%	72.6%	Δ0.6
小児科	17.4%	22.8%	5.4
外科	70.9%	67.8%	Δ3.1
整形外科	14.7%	0.3%	Δ14.4
脳神経外科	6%	3.7%	Δ2.3
皮膚科	0%	75.0%	75.0
泌尿器科	28.6%	20.7%	Δ7.9
産婦人科	82.2%	78.3%	Δ3.9
眼科	99.2%	89.9%	Δ9.3
耳鼻いんこう科	1.3%	7.2%	5.9
計	59.5%	54.5%	Δ5.0

■ 栄養・スキンケア委員会

1. 目的

知多厚生病院に関わるすべての患者を対象として、栄養障害のある患者を抽出し、統一した基準にて栄養管理を行なう。また、褥瘡発生の予防およびスキントラブルにおける創部の処置方法と栄養管理について検討を行う。

2. 平成29年度の活動内容 【定期開催】偶数月第3木曜日 16:30～17:30

回数	開催日	内容
1	平成29年4月20日	・委員交代について ・専任研修について ・委員会規程について ・知多厚生病院栄養スキンケアマニュアルについて ・来年度の勉強会について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料の報告 ・褥瘡発生率の報告 ・平成28年度手術室スキンケア集計報告
2	平成29年6月15日	・褥瘡対策について（褥瘡リスクアセスメント） ・体圧分散寝具交換について ・当院採用の褥瘡関連 薬剤・ドレッシング剤について ・NST 介入検討患者について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料報告 ・褥瘡発生率の報告
3	平成29年8月17日	・委員の変更について ・高齢者の褥瘡と栄養を考える会について ・知多半島摂食・嚥下連絡票改訂について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料報告 ・褥瘡発生率の報告
4	平成29年10月19日	・第20回褥瘡と栄養を考える会アンケート集計結果について ・NST 介入件数について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料報告 ・褥瘡発生率の報告

5	平成 29 年 12 月 21 日	・看護ケア中のスキンケア発生について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料報告 ・褥瘡発生率の報告
6	平成 30 年 2 月 15 日	・来年度以降の NST 加算における専従配置について ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算における専従配置について ・来年度以降のランチミーティングについて ・来年度の褥瘡外来について ・NST 加算、INBODY 算定状況の報告 ・在宅ねたきり患者処置指導管理料報告 ・褥瘡発生率の報告

3. 平成 29 年度の活動要約

今年度より NST 委員会とスキンケア委員会を合併し、栄養スキンケア委員会を発足した。定期委員会、院内勉強会、ランチミーティングは上記の通り開催し、院内全体の栄養とスキンケアに関する知識の向上を図った。NST 介入患者選定については、以下の手順により委員メンバーが栄養不良患者および褥瘡患者を抽出し、チーム全体で栄養管理を行なった。

また、学会参加や発表、研究会世話人等を積極的に行い、院内だけでなく院外へも栄養に関する新たな情報を発信し貢献できるよう努めている。

- 1) 栄養スクリーニング
- 2) 栄養アセスメント、身体計測(INBODY 体組成測定)
- 3) 病棟回診
- 4) 栄養治療提案
- 5) 栄養治療計画書兼報告書の作成、患者または家族への説明

4. その他活動

1) 院内勉強会 【奇数月 第 3 木曜日 17:30~18:30】

回数	開催日	内容	人数
1	平成 29 年 5 月 18 日	NST ハンドブック活用術 栄養科深見・薬剤師神谷 飢餓反応について Dr.村元	23
2	平成 29 年 7 月 20 日	栄養関連検査項目について 検査科植田 車椅子の正しい座り方 PT 佐野 嚥下のしくみ ST 茶谷	26
3	平成 29 年 9 月 21 日	誤嚥性肺炎 6F 川上 大腿骨骨折 3F 吉田	18

4	平成 29 年 11 月 16 日	皮膚の見方 Dr.加藤 創傷治癒について Dr.杉戸 創傷・褥瘡最近の話題 WOC 近藤	18
5	平成 30 年 1 月 18 日	COPD の栄養管理 2F 佐久間・佐野 超高齢者の周術期栄養管理 4F 中山・靱山	25
6	平成 30 年 3 月 15 日	終末期の栄養管理 5F 山田・千賀 化学療法患者の栄養管理 外来 丹羽	20

2) ランチミーティング(勉強会)【毎月第 1・3 木曜日 12:30~13:15】

回数	開催日	内容	人数
1	平成 29 年 4 月 20 日	口内フローラについて【中北薬品】	17
2	平成 29 年 6 月 1 日	グルセルナ REX について【アボット】	20
3	平成 29 年 6 月 15 日	肝硬変について【大塚製薬】	30
4	平成 29 年 7 月 6 日	PICC カテーテルについて【メディコン】	29
5	平成 29 年 7 月 20 日	認知症と食事【エーザイ】	27
6	平成 29 年 8 月 3 日	胃瘻の基礎知識について【ボストンサイエンティフィック】	13
7	平成 29 年 8 月 17 日	発泡ウレタントレッシング剤とココロール【共和薬品】	17
8	平成 29 年 9 月 7 日	ノベルジン(亜鉛欠乏適応薬)【ノベルファーマ】	21
9	平成 29 年 10 月 5 日	消化態栄養剤について【ネスレ】	17
10	平成 29 年 10 月 19 日	スキントエアとコラーゲン【ニュートリー】	13
11	平成 29 年 11 月 2 日	アクアセル A g シリーズ【コンバテック】	36
12	平成 29 年 11 月 16 日	グルタミン F と EPA【アイドゥ】	15
13	平成 29 年 12 月 7 日	エルカルチンについて【大塚製薬】	23
14	平成 29 年 12 月 21 日	リハデイズ【大塚製薬工場】	21
15	平成 30 年 1 月 18 日	褥瘡ケアとオルセノン軟膏【POLA】	23
16	平成 30 年 2 月 1 日	脂漏性湿疹 コーゼジュフルフル【持田製薬】	21
17	平成 30 年 3 月 15 日	スキントラブル ヘパリン類似物質【日本臓器製薬】	22

3) 病棟回診

- ・NST ラウンド：毎週木曜日 13:30~(療養型は毎月 1 回第 2 木曜日)
- ・スキンケアラウンド：毎週火曜日(第 3 週を除く)
- ・NST スキンケア合同ラウンド：第 3 木曜日 13:30~

4) 褥瘡外来

- ・毎月第 1・第 3 金曜日 13:30~

5) 地域に向けた勉強会

- ・平成 29 年 10 月 7 日（土） 第 20 回 褥瘡と栄養を考える会を主催

6) 学会発表

平成 29 年 11 月 18 日（土） 第 19 回 知多半島栄養サポートフォーラム

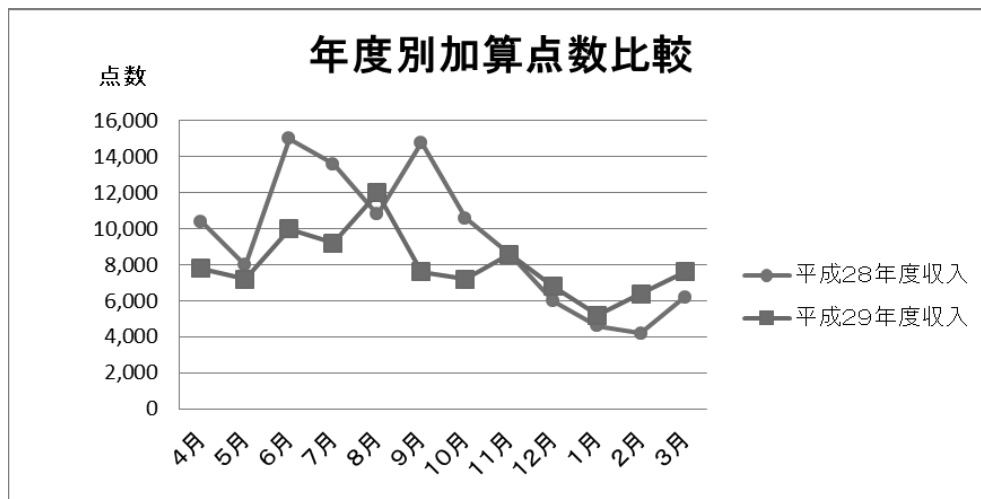
「2 次性サルコペニアによるオーラルフレイルを改善できた 1 例」 演者；渡邊理恵

5. 各種統計資料

1) 栄養サポートチーム加算の算定状況

	全病棟			回復期病棟		一般病棟+療養病棟	
	実患者数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
年度合計	201 人	478 件	95,600 点	103 人	20,600 点	375 件	75,000 点

※1 回＝200 点、1 点＝10 円



2) 体組成測定（INBODY）による加算算定状況

	年度合計
人数	72 人
総件数（件）	75 件
総点数（点）	4,482 点
総金額	44,820 円
包括金額	16,080 円
出来高件数（件）	48 件
出来高点数（点）	2,874 点
出来高金額（円）	28,740 円

※点数：体液量測定 2 回目より 90／100 に減算

※1 回＝60 点、2 回目以降＝54 点

3) 在宅ねたきり患者処置指導管理料の算定状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	9	11	10	12	10	8	10	10	9	7	8	9	113

※1件=1,050点（10,500円）／月1回

4) 褥瘡対策結果

① 褥瘡発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実入院患者	470	492	440	420	498	484	482	445	416	440	498	517	5602
褥瘡有病者	13	17	16	12	17	14	14	16	12	14	17	11	173
新規褥瘡患者	7	8	11	3	10	5	9	11	5	8	11	5	93
新規院内発生	5	6	6	1	3	2	2	7	2	3	2	3	42
褥瘡有病者	2.77%	3.46%	3.64%	2.86%	3.41%	2.89%	2.90%	3.60%	2.88%	3.18%	3.41%	2.13%	3.09%
新規褥瘡患者	1.49%	1.63%	2.50%	0.71%	2.01%	1.03%	1.87%	2.47%	1.20%	1.82%	2.21%	0.97%	1.66%
新規院内発生	1.06%	1.22%	1.36%	0.24%	0.60%	0.41%	0.41%	1.57%	0.48%	0.68%	0.40%	0.58%	0.75%
	院内発生		持込		合計								
場所	42		51		93								

② 褥瘡深達度

	院内発生	持込	合計
D1	2	3	5
D3	36	33	69
D3	0	9	9
D4	0	2	2
DU	4	4	8
合計	42	51	93

③ 病棟別褥瘡状況

	院内発生	持込	合計
2F	8	17	25
3F	2	3	5
4F	9	5	14
5F	12	4	16
6F	11	22	33
合計	42	51	93

④ 褥瘡発生部位

院内発生褥瘡の主な部位は仙骨部 10 件、尾骨部 7 件、踵部 5 件であった。

持込褥瘡の主な部位は仙骨 16 件、大転子 8 件、腸骨 5 件であった。

⑤ 院内発生褥瘡深達度

	D1	D2	D3	D4	DU
2F	1	6	0	0	1
3F	0	1	0	0	1
4F	0	8	0	0	1
5F	1	11	0	0	0
6F	0	10	0	0	1
合計	2	36	0	0	4

⑥ 褥瘡転帰

	治癒	退院後継続	転院	死亡
院内発生	37	1	1	3
持込	31	4	4	12
合計	68	5	5	15

⑦ 結果

- ・エアマット使用状況については、毎月第 1 火曜日 ONE DAY 調査で一般病床 80.3%、療養病床 94.2%であった。
- ・院内発生率は前年度（0.97%56 件）より 0.22%（0.75%42 件）低下させることができたが、褥瘡好発部位である仙骨部の発生率が高く、入院時の褥瘡リスクアセスメントだけでなく、患者の状態変化に合わせたタイムリーな褥瘡予防、適切な体圧分散ケア・ポジショニングの実施が必要である。
- ・入院患者の多くは高齢で、持ち込みの重度褥瘡件数が多い。患者退院時の褥瘡予防に対する指導と、地域へ向けた勉強会を継続し実施する必要がある。

⑧ 今後の課題

- ・体圧分散寝具の適性使用、エアマットの稼働率を上げ、除圧減圧ケアを重視し仙骨部の褥瘡予防に努める。
- ・褥瘡リスクアセスメントの中間評価の実施を徹底する。
- ・地域へ向けた勉強会の継続。

■ 糖尿病教育委員会

1. 目的

糖尿病教室および糖尿病教育入院など、患者への糖尿病教育の検討、糖尿病治療に関する業務全般の検討および定期制な運営の推進を任務とする。

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 15 日	・第 144 回糖尿病教室 参加者 37 名 - 糖尿病について① 丹村医師 - 検査について 杉浦検査技師 - 食事療法について① 片岡管理栄養士
2	平成 29 年 5 月 15 日	・第 144 回糖尿病教室についての報告 ・第 145 回糖尿病教室開催の打ち合わせ * CGM 加算の登録医師の変更について（ * DM カンファレンスのテンプレートについて * GAD 抗体測定法変更について * 定型文書（血糖測定手技のテンプレート）について * 自己血糖測定器貸し出し規約について * 糖尿病透析予防加算・フットケアについて - 平成 28・29 年度 4 月分報告 * 病棟の血糖測定について * 検査科教育入院指導日について * 規約と委員会名簿作成について * 「糖尿病栄養指導」改訂について * 第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会 発表者の予演会
3	平成 29 年 6 月 17 日	・第 145 回糖尿病教室 参加者 42 名 - 食事会「血糖コントロールを良好にするために」
4	平成 29 年 7 月 24 日	・第 145 回糖尿病教室についての報告 ・第 146 回糖尿病教室開催の打ち合わせ * メーカー勉強会「CSII の説明と注意点」 * CGM について * 糖尿病透析予防加算・フットケアについて - 平成 29 年度 5～6 月分報告 * 産業まつりについて * 血糖測定器について * 定型文書（血糖測定技術のテンプレート）について

回数	開催日	内容
5	平成 29 年 8 月 19 日	・第 146 回糖尿病教室 参加者 26 名 - 歯科について みはま歯科クリニック 榊原歯科医 - 合併症について 市田医師 - 食事療法について 山本管理栄養士
6	平成 29 年 9 月 11 日	・第 146 回糖尿病教室についての報告 ・第 147 回糖尿病教室開催の打ち合わせ * メーカー勉強会 - カナリア（第一三共/田辺三菱） - GA 紹介（積水） * 産業祭りについて * 定型文書について * 糖尿病透析予防加算・フットケアについて - 平成 29 年度 7～8 月分報告 * SGLT2 阻害薬について
7	平成 29 年 10 月 7 日	・第 147 回糖尿病教室 参加者 32 名 - 糖尿病について② 丹村医師 - 運動療法について 大橋リハビリ技士
8	平成 29 年 11 月 14 日	・第 147 回糖尿病教室についての報告 ・第 148 回糖尿病教室開催の打ち合わせ * メーカー勉強会 ・ Freestyle リブレ（Abott） ・ イニシング配合錠：武田薬品 * 病棟の血糖測定器について * 糖尿病教室の血糖測定器について * DPP-4 阻害薬とメトホルミン合剤について * 糖尿病透析予防加算・フットケアについて - 平成 29 年度 9～10 月分報告
9	平成 29 年 12 月 17 日	・第 148 回糖尿病教室 参加者 38 名 - 食事会「噛むことは〇〇によい！」
10	平成 30 年 1 月 15 日	・第 148 回糖尿病教室について報告 ・第 149 回糖尿病教室開催の打ち合わせ * CGM について * 糖尿病教育入院前セット提案について * 平成 30 年度糖尿病教師室日程表について * 糖尿病透析予防加算・フットケアについて - 平成 29 年度 11～12 月分報告

回数	開催日	内容
11	平成 30 年 2 月 17 日	・ 第 1 回糖尿病教室 参加者 25 名 - 糖尿病について③ 丹村医師 - フットケアについて 吉田看護師 - 薬物療法について 末吉薬剤師
12	平成 30 年 3 月 12 日	・ 第 149 回糖尿病教室について報告 ・ 第 150 回糖尿病教室打ち合わせ *SU 剤について *委員交代について *グルテスト NEO ミントに変更して 1 年経過して *糖尿病透析予防加算・フットケアについて 平成 30 年度 12 月分告

3. 平成 29 年度の活動要約

- 1) 糖尿病教室の企画・運営について
- 2) 委員や職員への糖尿病に対する知識向上
- 3) 学会や外部への研修会参加
- 4) システム更新後のグルテスト NEO 活用使用とシステム管理の準備(患者・職員)、啓蒙活動の実施
- 5) 委員会主催の院内勉強会：インスリン・内服薬について
- 6) 教育入院・コントロール入院患者のテンプレート作成 (DWH) 活用

4. 次年度の課題

- 1) 糖尿病教室の参加人数が、減少してきている現状がある
再度多くの方に参加して頂けるような、内容を検討していく
- 2) 昨年度よりさらにインスリン製剤や GLP-1 製剤、内服薬の後発品など、さまざまな薬品が使用されている。リスク回避のため委員会主催で中心に勉強会を計画して行っていく
- 3) 今年度、多職種で教育入院・コントロール入院患者のテンプレート作成を行った次年度は、DWH を活用し患者のデータ分析を行い教育指導と病院経営の一助としていく

■ 肝臓病委員会

1. 目的

慢性疾患である肝臓病（慢性肝炎、肝硬変など）の知識の啓蒙活動を通して地域の患者様の肝臓病の療養に寄与することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月20日	・平成29年度の日程及び目標の確認 ・第80回肝臓病教室開催の打ち合わせ
2	平成29年5月20日	・第80回肝臓病教室 1) 日常生活の注意点 稲村英明 2) 慢性肝炎について 高橋佳嗣
3	平成29年6月15日	・第80回肝臓病教室の報告 ・平成29年度住民講座対応について ・平成29年度 活動承認
4	平成29年7月1日	・第10回住民講座（第81回肝臓病教室） 1) アルコールと肝疾患慢 高橋佳嗣
5	平成29年8月17日	・第10回住民講座（第81回肝臓病教室） ・第82回肝臓病教室開催の打ち合わせ
6	平成29年9月16日	・第82回肝臓病教室 1) 肝臓病のお薬について 佐藤友世・鈴木咲芳 2) 慢性肝炎の治療について 高橋佳嗣
7	平成29年10月19日	・第82回肝臓病教室の報告 ・第83回肝臓病教室開催の打ち合わせ
8	平成29年11月18日	・第83回肝臓病教室 1) 肝臓病の食事療法について 山本来夢 2) 肝硬変について 高橋佳嗣
9	平成29年12月21日	・第83回肝臓病教室の報告 ・第84回肝臓病教室開催の打ち合わせ
10	平成30年1月16日	・第84回肝臓病教室 1) 血液検査の結果の読み方 小出明奈
11	平成30年2月15日	・第84回肝臓病教室の報告 ・第85回肝臓病教室開催の打ち合わせ
12	平成30年3月17日	・第85回肝臓病教室 1) 肝臓癌について 高橋佳嗣

3. 平成29年度の活動要約

- ・近年、教室への参加人数が減少していたが、広報活動に重点を置く取り組みを実施した。
- ・薬剤部窓口や中央処置室でのパンフレットの配布、教室当日のアナウンスの変更など実施し、初めて参加する方が増えてきた。

■ 摂食・嚥下障害委員会

1. 目的

摂食・嚥下障害に対して各職種がそれぞれの専門性を活かし、正しい知識・技術を持って質の高いチームアプローチを行なうことを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月4日	平成29年度メンバー紹介、昼食ラウンド報告 (場所：多目的ルーム 書記：4階病棟)
2	平成29年5月2日	食事ラウンド報告、今年度の活動について (場所：多目的ルーム 書記：5階病棟)
3	平成29年6月6日	食事ラウンド報告、4F患者口腔ケア実践 (場所：多目的ルーム 書記：6階病棟)
4	平成29年7月4日	食事ラウンド報告 (場所：多目的ルーム 書記：2階病棟)
5	平成29年8月1日	食事ラウンド報告、2F患者嚥下評価 (場所：多目的ルーム 書記：3階病棟)
6	平成29年9月5日	食事ラウンド報告、4F患者口腔ケア実践 (場所：多目的ルーム 書記：4階病棟)
7	平成29年10月3日	食事ラウンド報告 (場所：多目的ルーム 書記：5階病棟)
8	平成29年11月2日	食事ラウンド報告 (場所：多目的ルーム 書記：6階病棟)
9	平成29年12月	書面開催 議題、報告事項無し
10	平成30年1月9日	食事ラウンド報告、分粥・ソフト食試食 (場所：セーター室1 書記：外来)
11	平成30年2月6日	食事ラウンド報告 (場所：多目的ルーム 書記：2階病棟)
12	平成30年3月6日	食事ラウンド報告、平成29年度反省 (場所：多目的ルーム 書記：4階病棟)

3. 平成29年度の活動要約

- ・摂食機能療法算定：2,808回 5,194,800円
- ・病棟内における口腔ケア困難患者のケア実践や、ベッドサイドでの摂食・嚥下評価を行った。
- ・委員会内で嚥下食の試食を行い嚥下食の改善に取り組んだ。

■ 緩和ケア委員会

1. 目的

がんの初期段階から関わり、診断、治療、在宅医療などあらゆる場面で標準化した、かつ最適と思われる緩和ケアを提供し、主治医・その他の医療スタッフをサポートしていく。また院内の緩和ケア普及に努めるとともに全体の医療レベルの向上を図る。

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 24 日	・緩和ケアチーム回診（4 回/月） ・緩和ケア委員会開催 *平成 29 年度緩和ケア委員会目標・規程、活動内容について ・緩和ケアチームに関する依頼方法について
	平成 29 年 5 月	・緩和ケアチーム回診（5 回/月）
2	平成 29 年 6 月 26 日	・緩和ケアチーム回診（4 回/月） ・緩和ケア委員会開催 *緩和ケア委員会内での薬剤勉強会 「スインプロイック錠について」 シオノギ製薬株式会社 長谷川氏 *麻薬に関するリスク報告 *緩和ケアチーム主催 院内研修会について ・日本緩和医療薬学会参加報告（末吉薬剤師）
	平成 29 年 7 月	・緩和ケアチーム回診（4 回/月）
3	平成 29 年 8 月 28 日	・緩和ケアチーム回診（4 回/月） ・緩和ケア委員会開催 *麻薬に関するリスク報告 *緩和ケア研修会内容検討について
	平成 29 年 9 月	・緩和ケアチーム回診（3 回/月）
4	平成 29 年 10 月 23 日	・緩和ケアチーム回診（4 回/月） ・緩和ケア委員会開催 *麻薬に関するリスク報告 *緩和ケア主催 院内勉強会 〈内容〉 非がん患者の疼痛管理：田中理奈（5 階病棟） がん患者の疼痛管理：大井初江（CN） 呼吸困難感の緩和ケアとがん疼痛治療：末吉真樹（薬剤師） 参加人数：18 名

	平成 29 年 11 月	・緩和ケアチーム回診（4 回/月）
5	平成 29 年 12 月 25 日	・緩和ケアチーム回診（4 回/月） ・緩和ケア委員会は文書開催 ＊麻薬に関するリスク報告 ＊緩和ケア研修会アンケート報告
	平成 30 年 1 月	・緩和ケアチーム回診（3 回/月）
6	平成 30 年 2 月 26 日	・緩和ケアチーム回診（3 回/月） ・緩和ケア委員会開催 ＊麻薬に関するリスク報告 ＊緩和ケアチームによるラウンド方法の再検討 ＊緩和ケアチーム介入の依頼方法の再検討 ・2/10 AGPAL 研究会（安城更生病院） 1 名参加
	平成 30 年 3 月	・緩和ケアチーム回診（4 回/月）

※緩和ケア委員会は偶数月のみ開催

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・緩和ケアチームの回診は医師、薬剤師、がん性疼痛看護認定看護師が毎週月曜日の 13 時 30 分から実施している。平成 29 年度の緩和ケアチームへの依頼は、のべ 146 名で主な疾患は消化管系がん、乳がん、肺癌、膵がん、骨転移などであった。緩和ケアチームへの依頼は疼痛管理が主であった。
- ・がん性痛看護認定看護師→日本緩和医療学会と AGPAL 研究会に参加
- ・薬剤師→日本緩和医療薬学会に参加
- ・緩和ケア委員看護師や他看護師を対象に、緩和ケアに関する勉強会を 4 回開催した。
- *平成 29 年 7 月 24 日（月）初回のオピオイド、何を使う？
- *平成 29 年 9 月 25 日（月）呼吸困難にモルヒネ？
- *平成 30 年 1 月 15 日（月）「迷惑をかけてつらい」と言われたら...
- *平成 30 年 3 月 19 日（月）予後をどうやって予測するか

■ 化学療法委員会

1. 目的

- 1) 化学療法のレジメンの妥当性を検証・承認して、登録する
- 2) 化学療法に関する院内取り決め事項を検討する
- 3) 化学療法注射せんの取り扱い方法の検討
- 4) 化学療法で取り扱う医薬品情報の伝達

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月4日	・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件） ・代務医師によるレジメン申請の規定について ・レジメン確定指示の運用方法について
2	平成29年6月6日	・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件） ・化療にまつわるインシデント(2件) ・看護師による血管確保について
3	平成29年8月1日	・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件） ・携帯型ディスポーザブルポンプ不具合報告及び代換え品の採用方針決定
4	平成29年10月3日	・新規申請レジメンの検証、及び承認（5件） ・化療にまつわるインシデント(1件)
5	平成29年12月5日	・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件） ・外来化学療法カンファレンス運用規定 ・化療にまつわるインシデント(1件)
6	平成30年2月6日	・エルプラット含有レジメンに対する牛車腎気丸の取り扱いについて

3. 平成29年度の活動要約

- 1) 新規申請レジメンは9件あり、その検証及び承認を実施した。
また登録済レジメンの処方内容などの検証及び変更も行った。
- 2) レジメン確定指示の運用方法作成
- 3) 外来化学療法カンファレンス運用規定決定

■ アグリス・ヘルスネット検討委員会

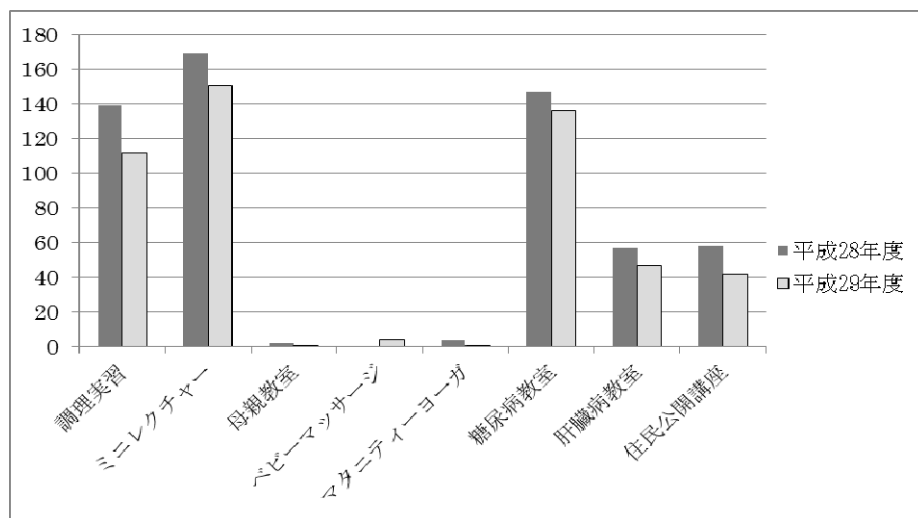
1. 目的

JA あいち知多組合員およびその家族の健康を守り、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容（JA あいち知多ポイントカード ポイント付与件数）

単位: 件

月 ポイント付与項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調理実習	8	8	14	12	7	9	9	8	11	6	10	10	112
ミニレクチャー	14	13	13	14	14	19	9	13	12	10	10	10	151
母親教室											1		1
ベビーマッサージ							1	1			1	1	4
マタニティーヨーガ												1	1
糖尿病教室	24		28		20		22		22		20		136
肝臓病教室		8				11		7		13		8	47
住民公開講座				15								27	42
計	46	29	55	41	41	39	41	29	45	29	42	57	494



3. 平成29年度の活動要約

- ・当院で行う各種健康教室などでのポイント付与を継続し、JA あいち知多組合員の支援を行った。年間のポイント付与総件数は494件となり、前年比 $\Delta 85.8\%$ ($\Delta 82$ 件)となった。

また、人間ドック受診時にJAポイントカードを持参した方への割引件数は471件と、こちらも前年と比べ増加 ($\Delta 45$ 件) となった。

- ・地域への貢献の点では、美浜町と武豊町産業まつりへJA あいち知多健康づくりの一環として参加し、血糖、骨密度測定や認知症診断などを実施し、地域住民の健康への意識醸成に寄与した。

■ 虐待対策委員会

1. 目的

この委員会は、児童・DV・高齢者・障害者等の虐待の早期発見と被虐待者の救済を目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年10月3日	・事例報告（7歳男児） ・虐待事例報告書提出方法と事務局への報告の方法について（周知）
2	平成30年3月23日	・電子カルテ上に虐待疑いありと判別できる仕組みについて（検討事項） ・支援経過等の情報の共有方法（検討事項） ・事例経過報告（7歳男児）

3. 平成29年度の活動要約

- ・虐待が疑われるケースであることが、ひと目で判別できるようにするための仕組みの検討を行った
- ・対象者への対応経過が職種間で共有できる仕組みについて検討を行った

■ 医師業務軽減検討委員会

1. 目的

医師の代行・補助業務をすることにより、医師の業務負担軽減に繋がり、診療業務に専念できる環境をつくる。また、それに伴い勤務医負担軽減計画（見直し）を作成・確認することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月18日	・医師業務軽減検討委員会規程・委員会名簿変更について ・勤務医負担軽減計画（平成28年度）について ・勤務医負担軽減計画（案）について ・3月依頼文書統計について
2	平成29年5月16日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・医師業務軽減検討委員会名簿変更について ・医師（新採用医師）へアンケート調査（案） ・4月依頼文書統計について
3	平成29年6月20日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・5月依頼文書統計について
4	平成29年7月18日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・6月依頼文書統計について ・医師（新採用医師）へアンケート調査
5	平成29年8月15日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・7月依頼文書統計について
6	平成29年9月19日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・8月依頼文書統計について
7	平成29年10月17日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・9月依頼文書統計について ・医師（新採用医師）アンケート集計
8	平成29年11月21日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・10月依頼文書統計について
9	平成29年12月19日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・11月依頼文書統計について
10	平成30年1月16日	・勤務医負担軽減計画進捗確認 ・12月依頼文書統計について
11	平成30年2月20日	・勤務医負担軽減計画（中間達成状況報告） ・1月依頼文書統計について

12	平成 30 年 3 月 20 日	・ 医師事務作業補助体制加算の見直しについて ・ 勤務医負担軽減計画進捗確認 ・ 勤務医負担軽減計画（平成 30 年度案）について ・ 2 月依頼文書統計について
----	------------------	--

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・ 昨年と同様に勤務医負担軽減計画を中心に活動し、達成状況としてはほぼ 100% 確保した。

■ 保険診療委員会

1. 目的

保険診療の適正化かつ円滑な運営を図る。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内 容
1	平成 29 年 4 月 25 日	・ 平成 29 年 2 月診療分の査定について ・ 病院別査定について ・ 収入調（平成 29 年 3 月） ・ 医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・ 平成 28 年度 DPC データ 3 月分、通計について ・ ジェネリック率推移 ・ 委員会規程、名簿の改正について
2	平成 29 年 5 月 23 日	・ 平成 29 年 3 月診療分の査定について ・ 病院別査定について ・ 収入調（平成 29 年 4 月） ・ 医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・ 平成 29 年度 DPC データ 4 月分、通計について ・ ジェネリック率推移 ・ F D P 及び D ダイマーの併施について
3	平成 29 年 6 月 23 日	・ 平成 29 年 4 月診療分の査定について ・ 病院別査定について ・ 収入調（平成 29 年 5 月） ・ 医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・ 平成 29 年度 DPC データ 5 月分、通計について ・ ジェネリック率推移
4	平成 29 年 7 月 25 日	・ 平成 29 年 5 月診療分の査定について ・ 病院別査定について ・ 収入調（平成 29 年 6 月） ・ 医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・ 平成 29 年度 DPC データ 6 月分、通計について ・ ジェネリック率推移

5	平成 29 年 8 月 22 日	・平成 29 年 6 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 7 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 7 月分、通計について ・ジェネリック率推移 ・高血圧治療薬『ARB（アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬）』の同効薬複数使用について
6	平成 29 年 9 月 26 日	・平成 29 年 7 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 8 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 8 月分、通計について ・ジェネリック率推移
7	平成 29 年 10 月 24 日	・平成 29 年 8 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 9 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 9 月分、通計について ・ジェネリック率推移 ・後発品薬剤への変更決定薬剤
8	平成 29 年 11 月 28 日	・平成 29 年 9 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 10 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 10 月分、通計について ・ジェネリック率推移 ・後発品変更検討薬剤について ・事務局変更のお知らせ
9	平成 29 年 12 月 26 日	・平成 29 年 10 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 11 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 11 月分、通計について ・ジェネリック率推移

10	平成 30 年 1 月 23 日	・平成 29 年 11 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 29 年 12 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 12 月分、通計について ・ジェネリック率推移 ・後発品薬剤への変更決定薬品について
11	平成 30 年 2 月 27 日	・平成 29 年 12 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 30 年 1 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 1 月分、通計について ・ジェネリック率推移 ・「診療報酬改訂説明会」実施の予定 ・検査の保険査定について
12	平成 30 年 3 月 27 日	・平成 30 年 1 月診療分の査定について ・病院別査定について ・収入調（平成 30 年 2 月） ・医事関係統計資料（返戻・査定減等） ・平成 29 年度 DPC データ 2 月分、通計について ・ジェネリック率推移

3. 平成 29 年度活動要約

- ・アクセスによる機械的チェックを行い、査定・返戻件数減少に努めた。
- ・査定に対して医師と協議し、積極的に再審査請求をかけた。
結果、復活額も多く、査定率減少に繋がった。
- ・前年度と比べ、通計の査定率が減少した。
- ・同規模病院や病院合計と査定率を比較しても、一番低い数値となった。
- ・支払基金、国保連合会からの通知文書の周知
委員会で周知し、内容について協議を行い、対策を立てていくことで査定・返戻の減少に繋がった。

4. 年間病院別査定（渥美・稲沢・病院計）比較結果

1) 【平成 29 年度】

当 院	社保 0.66%	国保 0.12%	通計 0.23%
渥 美	社保 1.20%	国保 0.20%	通計 0.37%
稲 沢	社保 0.27%	国保 0.22%	通計 0.23%
病院計	社保 0.31%	国保 0.35%	通計 0.34%

2) 【平成 28 年度】

当 院	社保 0.26%	国保 0.28%	通計 0.29%
渥 美	社保 0.29%	国保 0.32%	通計 0.32%
稲 沢	社保 0.15%	国保 0.16%	通計 0.16%
病院計	社保 0.34%	国保 0.40%	通計 0.40%

5. 年間別 DPC 出来高差比較

平成 28 年度 DPC 出来高差	3.3%	
平成 29 年度 DPC 出来高差	3.1%	前年度と比較し 0.2%低下

■ DPCコーディング部会

1. 目的

適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう）を行う体制を確保する。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内 容
1	平成29年4月25日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について ・部会細則・名簿の報告
2	平成29年5月23日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について ・診療報酬改定に伴う診断群分類の変更について
3	平成29年6月23日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
4	平成29年7月25日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
5	平成29年8月22日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
6	平成29年9月26日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
7	平成29年10月24日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
8	平成29年11月28日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
9	平成29年12月26日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
10	平成30年1月23日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
11	平成30年2月27日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・DPC 出来高差▲10万円以上の症例について
12	平成30年3月27日	・医療資源を最も投与した病名変更例 ・部会細則・名簿の見直し

3. 平成29年度活動要約

- ・医療資源を最も投与した病名変更例の資料を作成し、ICD コードの正しい選択、手術・処置等のありとなる症例等をお知らせした。
- ・「DPC 出来高差マイナス 10万円以上」をヒラソルで抽出し、正しいコーディングが選択されていたか、協議・確認をした。

■ D S T 委員会

1. 目的

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供に関する事項を検討し、病院における認知症対応力の向上、認知症サポートチームの活動の充実を図ることを目的とする。

2. 平成 29 年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成 29 年 4 月 25 日	・ 規程、委員および平成 29 年度事業計画について ・ 委員会での検討事項について ・ 事例報告について ・ 研修会のアンケート結果について ・ 認知症ケア加算該当研修会について
2	平成 29 年 5 月 23 日	・ DST 登録画面について ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ マニュアルの見直しについて
3	平成 29 年 6 月 27 日	・ 全体研修会の開催に向けて ・ DST カルテ（案）について ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ DST 登録画面について ・ 研修会のご案内 ・ 委員の追加について
4	平成 29 年 7 月 25 日	・ 全体研修会の開催について ・ DST カルテ（案）について ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 認知症相談外来（メモリークリニック）勉強会の報告 ・ マニュアルの修正について
5	平成 29 年 8 月 22 日	・ 認知症マニュアルの修正について （地域医療福祉連携部編） ・ 全体研修会の開催について ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ DST カルテについて
6	平成 29 年 10 月 24 日	・ 規程・委員の変更について ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 全体研修会の開催について （アンケート結果と今後の予定）

回数	開催日	内容
7	平成 29 年 11 月 27 日	・ 認知症マニュアルの修正について（作業療法士編） ・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 全体研修会アンケート結果について
8	平成 29 年 12 月 26 日 （文書開催）	・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 全体研修会アンケート結果について ・ 第 5 回ちたんちゅ（知多人）フォーラムについて
10	平成 30 年 1 月 23 日	・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 全体研修会アンケート結果について ・ 第 13 回大府センター認知症フォーラムについて ・ 認知症の研修を受けた看護師について ・ 平成 30 年度の院内研修について
11	平成 30 年 2 月 27 日	・ 認知症ケア加算の算定状況について ・ 全体研修会アンケート結果について ・ 平成 30 年度診療報酬改定について ・ 認知症対応病院実地指導企画支援会議について
12	平成 30 年 3 月 27 日 （文書開催）	・ 認知症ケア加算の算定状況について

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・ 今年度より新たに立ち上げた委員会である。
- ・ 当院は平成 26 年度より愛知県の「認知症対応力向上事業」に参画し、院内にて認知症サポートチームを立ち上げ、サポートチームによるラウンドなどを実施してきた。平成 28 年度の診療報酬改定で「認知症ケア加算」が新設され、平成 28 年 11 月より加算 2 を取得している。
- ・ 平成 29 年度はこうした活動のさらなる質の向上を目指し、委員会が中心となり認知症ケアなどの研修会を開催するなど職員に対して支援・教育の充実を図った。

■ 経営改善委員会

1. 目的

- 1) 患者の安心・満足が得られる病院を目指し、医療の質を継続的に向上させる。
- 2) 業務を遂行する上で、各職種、各部署との組織横断的連携を密にし、協力・連携体制をとるための調整。
- 3) 新たな業務、部署を立ち上げる場合、円滑に立ち上げるための検討。
- 4) 病院経営をより安定的なものとするため、増収策、経費削減策を検討し各職種、各部署がその具体的方策を実行するための提案。
- 5) 各職種、各部署間で改善・調整の必要な事項が発生した場合の業務改善・調整。
- 6) 事業計画の進捗状況の確認。

2. 平成29年度の活動内容

<定例報告>

- ・経営状況の報告
- ・院内巡視報告

回数	開催日	内容
1	平成29年5月19日	・規程、名簿の変更について ・事業計画進捗管理シートについて ・委員会年間スケジュールについて ・業務改善報告会のテーマ選定について ・経営改善案のアンケート依頼について
2	平成29年6月16日	・病院機能評価の自己評価の報告について ・経営改善案のアンケート報告について
3	平成29年7月20日	・事業計画進捗管理シートについて ・業務改善テーマの報告について ・経営改善について
4	平成29年8月18日	・業務改善報告会の発表部署について ・経営改善について
5	平成29年9月15日	・業務改善報告会について ・経営改善について
6	平成29年10月20日	・委員変更について ・事業計画進捗管理シートについて ・業務改善報告会について ・経営改善について
7	平成29年11月17日	・業務改善報告会について ・経営改善について

8	平成 29 年 12 月 15 日	・業務改善報告会について ・経営改善について
9	平成 30 年 1 月 19 日 (文書開催)	・事業計画進捗管理シートについて ・業務改善報告会について ・経営改善について
10	平成 30 年 2 月 19 日	・業務改善報告会について ・経営改善について
11	平成 30 年 3 月 16 日	・業務改善報告会について (アンケートの報告) ・経営改善について

3. 平成 29 年度の活動要約

1) 経営改善について

- ・今年度より委員会名が変更となり、経営改善が委員会の重要事項となった。具体的な方法として、各委員より改善案のアンケートをとり、その内容から検討・改善を実施した。

2) 業務改善報告会について

- ・今年度も例年通り報告会を開催した。来年度で全ての部署が発表を終えるため、今後の開催方法について検討を行う予定である。

■ 病床運営管理委員会

1. 目的

急性期から慢性期までシームレスな医療を提供していくために各病棟の効率的な運用方法の検討や課題を解決する。又、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保するために当院の病床機能の方向性を検討し時代に適応できる病院の構築に寄与することを目的とする。

2. 平成29年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年4月18日	・ 規程および名簿について ・ 3月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
2	平成29年5月16日	・ 4月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
3	平成29年6月20日	・ 5月診療状況、各種指標・基準について ・ 平成28年度年報について ・ 病床再編について
4	平成29年7月4日	・ 病床再編（2F病棟の運用について）
5	平成29年7月18日	・ 6月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
6	平成29年8月1日	・ 病床再編について
7	平成29年8月25日	・ 7月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
8	平成29年9月19日	・ 8月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
9	平成29年10月3日	・ 病床再編について
10	平成29年10月17日	・ 9月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編について
11	平成29年11月14日	・ 10月診療状況、各種指標・基準について ・ 病床再編に向けて 病床再編後の運用について 地域包括ケアワーキンググループ報告

回数	開催日	内容
1 2	平成 29 年 12 月 19 日	・ 11 月診療状況、各種指標・基準について ・ 療養型病棟の入退院状況について ・ 病床再編に向けて ・ CS（下部内視鏡検査）患者の入院病棟について
1 3	平成 30 年 1 月 16 日 (文書開催)	・ 12 月診療状況、各種指標・基準について
1 4	平成 30 年 2 月 20 日	・ 1 月診療状況、各種指標・基準について ・ 療養型病棟の入退院状況について ・ 地域包括ケア病棟の状況について
1 5	平成 30 年 3 月 22 日	・ 2 月診療状況、各種指標・基準について ・ 療養型病棟の入退院状況について ・ 地域包括ケア病棟におけるレスパイト入院の運用変更について ・ 地域包括ケア病棟での課題報告 ・ 平成 30 年 4 月以降の急性期病棟について

3. 平成 29 年度の活動要約

- ・ 平成 30 年度診療報酬改定により 7 対 1 看護基準の厳格化が予想され、7 対 1 看護基準維持に向け、病床再編について検討し平成 30 年 2 月より回復期リハ病棟を地域包括ケア病棟へ転換した。
- ・ 医療療養型・介護療養型病棟の利用率向上への取り組みを行った。また、介護療養型の今後の方向性について情報収集を行った。

